292
82

工 5M 24

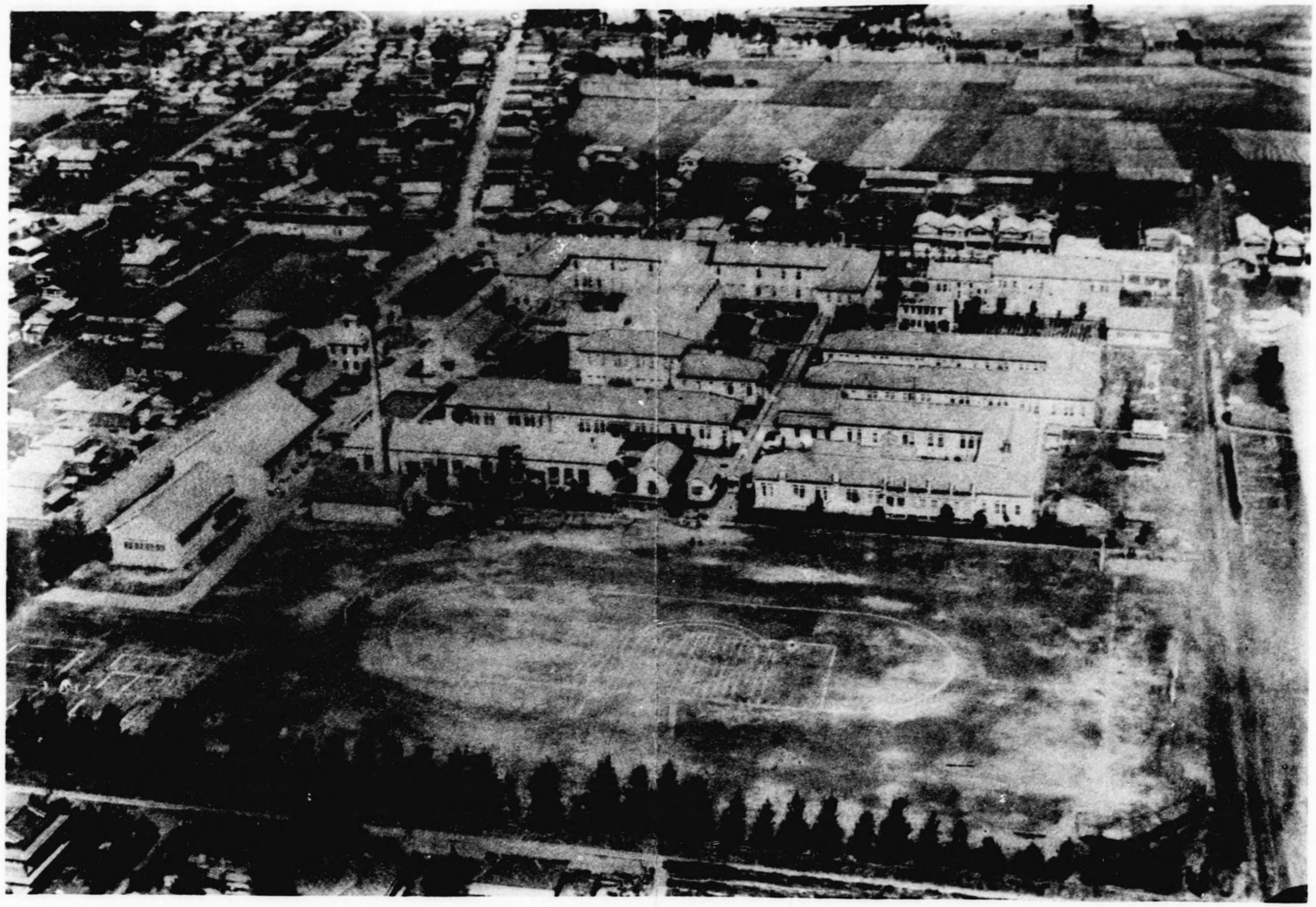
長岡高等工業學校一覽

自昭和九年
至昭和十年

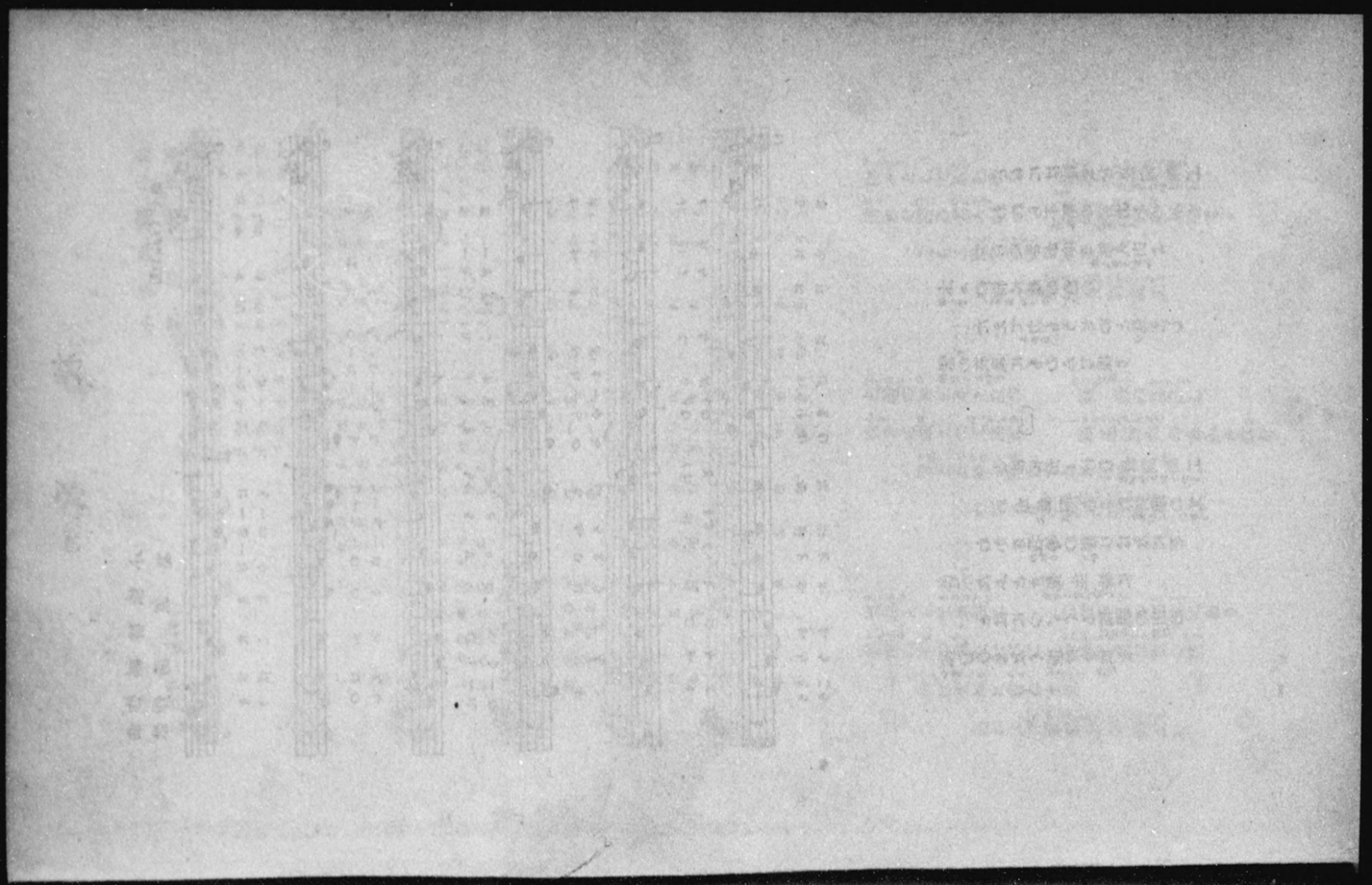
長岡高等工業學校一覽

自昭和九年
至昭和十年

發行所寄贈本

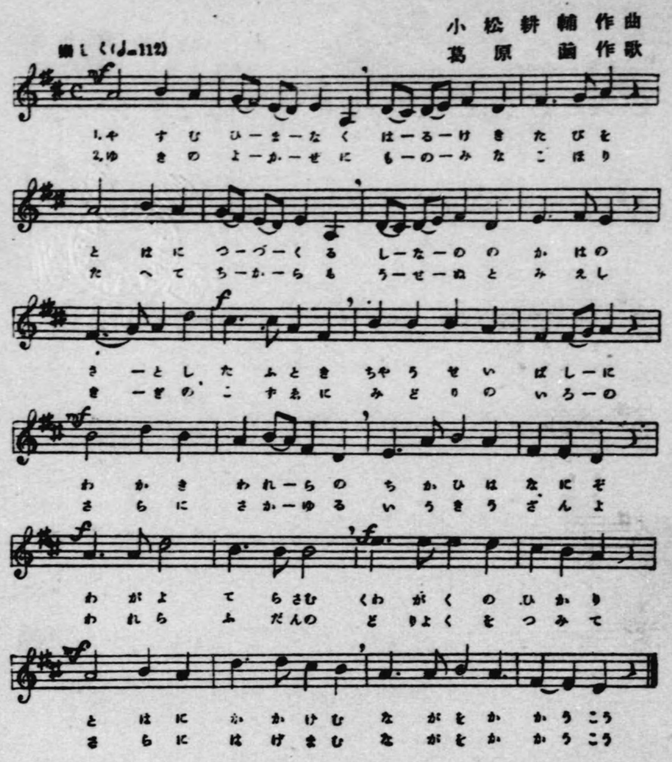


長 岡 高 等 工 業 學 校 全 景



校歌（甲）

小松耕輔作曲
葛原　繭作歌



（一）

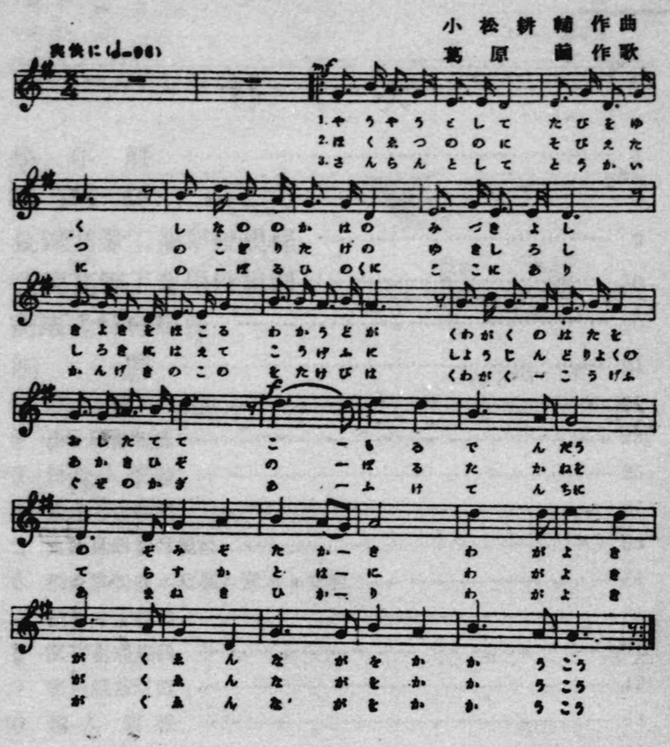
休むひまなく遙けき旅を
とはにつゞくる信濃の川の
啓示たふとき長生橋に
わかき我等の誓ひはなにぞ
わが世照らさむ科學の光
とはにかゝげむ長岡高工

（二）

雪の夜風にものみな凍り
たえて力もうせぬと見えし
木々の梢に綠の色の
さらにさかゆる悠久山よ
われら不斷の努力をつみて
さらにはげまむ長岡高工

校歌（乙）

小松耕輔作曲
葛原　繭作歌



（一）

洋々として旅をゆく　信濃の川の水清し
清きを誇る若人が　科學の旗を押したて
こもる殿堂希望ぞ高き
わがよき學園長岡高工

（二）

北越の野に聳え立つ　鋸嶽の雪白し
白きに映えて工業に　精進努力のあかき灯ぞ
登る高峰を照らすかとはに
わがよき學園長岡高工

（三）

燦爛として東海に　のぼる日の國玆にあり
感激の子の雄たけびは　科學工業救世の鍵
仰げ天地に普ねき光
わがよき學園長岡高工

292-82

目　次

Ⅰ 學 年 曆 …… 1
Ⅱ 沿 革 略 …… 2
Ⅲ 長岡高等工業學校規程 …… 9
Ⅲ 長岡高等工業學校規則 …… 10
Ⅴ 商議委員會規程 …… 20
Ⅵ 細　　則 …… 21
1 學生ニ關スル規程 …… 21
2 學生服裝規程 …… 23
3 保證人規程 …… 25
4 成績考査細則 …… 27
5 定期見學旅行規程 …… 33
6 校外實習並ニ見學ニ關スル規程 …… 34
7 校務分掌規程 …… 35
8 文書處理規程 …… 41
9 職員服務規程 …… 42
10 傭 人 規 程 …… 43
11 科學工業博物館職員規程 …… 49
12 物品會計細則 …… 50
13 試驗、分析、鑑定及加工規程 …… 54
14 圖書館規程 …… 55
15 非 常 心 得 …… 59
16 宿 直 程 程 …… 61
17 校友會規則 …… 63
Ⅶ 職　　員 …… 65
1 商議員氏名 …… 65
2 現職員氏名 …… 65
3 舊職員氏名 …… 72

Ⅷ 學　　生 …… 74
1 學生氏名 …… 74
2 卒業者・修業者氏名 …… 86
3 除籍者氏名（退學、死亡、其他） …… 114
4 學級人員一覽表 …… 117
5 入學志願者及入學許可者數 …… 117
6 昭和3年度入學者諸調（出身學校別、卒業年度別、本籍別） 118-2
7 學生出身校別 …… 121
8 學生出身道府縣別 …… 122-2
9 學生年齡別 …… 123
10 卒業者修業者數 …… 123
11 卒業者資格 …… 124
Ⅸ 關係法令 …… 125
1 文部省直轄諸學校一覽進達方 …… 125
2 文部省直轄諸學校官制 …… 125
3 文部省直轄諸學校職員定員令 …… 128
4 文部省直轄諸學校長職務規程 …… 128
5 專門學校令 …… 129
6 實業學校令 …… 129
7 實業學校教員養成規程 …… 130
8 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程 …… 132
9 臺灣人並朝鮮人ノ特別入學ニ關スル件 …… 133
10 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無效ニ關スル件 …… 133
11 文官分限令 …… 133
12 官吏服務紀律 …… 133
13 文官懲戒令 …… 133
14 各官廳執務時間 …… 133
15 官吏職務外ノ演說及敘述許可並其取締方 …… 134

16 四大節ニ賀表及言上書奉呈方 …… 134
17 教員免許令 …… 134
18 文部省直轄諸學校修身教育ニ關スル注意 …… 134
19 文部省直轄諸學校生徒修學旅行ニ關スル手續 …… 134
20 學生生徒兒童身體檢查規程 …… 134
21 學校清潔方法 …… 134
22 學校傳染病豫防規程 …… 135
23 學校生徒喫煙禁止 …… 135
24 文部省直轄諸學校學生生徒喫煙取締ニ關スル注意 …… 135
25 學校生徒飲酒取締ニ關スル注意 …… 136
26 教育上時弊矯正ニ關スル心得 …… 136
27 文部省直轄諸學校講演會記念會運動會等監督方 …… 137
28 文部省直轄諸學校學生時弊矯正ニ關スル心得 …… 138
29 學校ノ給仕ニ關係シタル職員及生徒處分方 …… 138
30 陸軍現役將校配屬令 …… 138
31 兵役法ニ依ル在學徵集延期ニ關スル件 …… 139
32 陸軍補充令ニ依ル幹部候補者ノ資格ニ關スル件 …… 139
33 勤務演習召集演習召集及簡閱點呼ノ免除ニ付餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ニ關スル件 …… 139

附　　錄

學校日誌 …… 141
設備ノ大要 …… 146
主ナル機械、器具類 …… 155
圖書冊數及購入費調 …… 166
建物配置圖、敷地並建物明細調 …… 166
長岡高等工業學校校友會會則 …… 167
長岡高工會會則 …… 169
悠久會規約 …… 170
氏名索引（職員、學生、卒業生、修業生、中途退學者等） …… 173

I 學年曆

（詳細ハ別冊年中行事參照）

前學期（自四月一日 至十月十五日）

四月一日	學年始、前學期始、春季休業始
四月三日	神武天皇祭
四月七日	春季休業終
四月廿九日	天長節
七月十一日	夏季休業始
八月卅一日	夏季休業終
秋分日	秋季皇靈祭
十月上旬	定期試驗
十月十日	本校創立記念日
十月十五日	前學期終

後學期（自十月十六日 至三月三十一日）

十月十六日	後學期始
十月十七日	神嘗祭
十一月三日	明治節
十一月廿三日	新嘗祭
十二月廿五日	大正天皇祭、冬季休業始
一月一日	四方拜
一月三日	元始祭
一月七日	冬季休業終
二月十一日	紀元節
春分日	春季皇靈祭
三月	定期試驗、入學試驗
三月卅一日	後學期終、學年終

Ⅰ 沿　革　略

大正十二年（紀元2583年）

十二月 十 日　勅令第五〇一號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制ヲ改正シ本校ノ設置ヲ公布セラル

十二月 十 日　勅令第五〇二號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正シ本校職員ヲ次ノ通リ加フル旨公布セラル

校　長	一　人
教　授	五　人
助教授	一　人
書　記	四　人

十二月十一日　東京高等工業學校教授福田爲造校長ニ任命セラル

十二月十四日　文部省告示第四五五號ヲ以テ本校ノ事務所ヲ文部省假事務所内ニ設置ノ旨公示セラル

大正十三年（紀元2584年）

一月 九 日　文部省告示第一號ヲ以テ本校ノ位置ヲ新潟縣長岡市四郎丸ニ定メ大正十三年四月ヨリ授業開始ノ旨公示セラル

二月廿三日　文部省令第七號ヲ以テ本校規則ヲ公示セラレ同日本校規則制定ノ件許可セラル

二月廿三日　文部省告示第六二號ヲ以テ本校事務所ヲ三月十日新潟縣長岡市四郎丸ニ移轉ノ旨公示セラル

三月十八日　ヨリ第一回入學者選拔試驗ヲ本校及東京物理學校ニ於テ行フ

三月廿六日　電氣工學科四〇名、機械工學科三七名、應用化學科三六名入學許可ヲ發表ス

四月十二日　第一回入學宣誓式ヲ擧行ス

五月十六日　勅令第一二號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「五人」ヲ「九人」ニ助教授「一人」ヲ「五人」ニ改正ノ

旨公布セラル

九月 一 日　本校々舍第一、第二期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク

十一月十一日　本校規則中一部改正ノ件許可セラル（入學資格ニ關スル件）

大正十四年（紀元2585年）

三月十八日　ヨリ第二回入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、岡山縣立工業學校ニ於テ行フ

三月十九日　本校規則中一部改正ノ件許可セラル（授業料ニ關スル件）

三月廿四日　電氣工學科、機械工學科ニ各三五名、應用化學科ニ三〇名入學許可ヲ發表ス

四月 一 日　勅令第八一號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項助教授「五人」ヲ「四人」ニ改正ノ旨公布セラル

四月十一日　第二回入學宣誓式ヲ擧行ス

六月 三 日　勅令第二一六號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「九人」ヲ「十六人」ニ助教授「四人」ヲ「七人」ニ書記「四人」ヲ「五人」ニ改正ノ旨公布セラル

九月 三 日　本校規則中一部改正ノ件許可セラル（學科課程中時間割變更ニ關スル件）

九月十二日　海軍省令第一一號ヲ以テ海軍造船造機造兵生徒規則第一條ノ指定學校中ニ本校ヲ加ヘラル

十二月廿五日　遞信省告示第二〇三三號ヲ以テ「電氣事業主任技術者資格檢定規則第四條第四項ノ學校及其ノ卒業者ノ資格」ニ本校ヲ追加セラル

大正十五年（紀元2586年）

一月十四日　本校々舍第三、第四期工事完成ニ付文部省ヨリ引

繼ヲ受ク

三月廿三日　ヨリ第三回入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、北海道帝國大學ニ於テ行フ

三月三十日　電氣工學科三八名、機械工學科三九名、應用化學科三五名入學許可ヲ發表ス

四月　十　日　第三回入學宣誓式ヲ擧行ス

七月　五　日　勅令第二四九號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項教授「十六人」ヲ「二十人」ニ助教授「七人」ヲ「九人」ニ書記「五人」ヲ「六人」ニ改正ノ旨公布セラル

九月廿二日　本校商議員會規程制定セラル

十一月　一　日　教育ニ關スル勅語謄本ヲ拜戴ス

十一月二十日　新築校舍落成ニツキ開校式ヲ擧行ス當日文部大臣代理トシテ木村書記官來校セラル翌廿一、廿二兩日學校ヲ開放シテ一般公衆ニ觀覽ヲ許ス

十一月廿九日　試驗分析、鑑定及加工規程制定ノ件許可セラル

十二月廿一日　科學工業博物館職員規程制定ス

十二月廿五日　大正天皇崩御昭和ト改元

昭　和　二　年（紀元2587年）

一月廿六日　本校々舍第五期工事完成ニ付文部省ヨリ引繼ヲ受ク

三月十五日　第一回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科三四名機械工學科二二名、應用化學科二五名ニ卒業證書ヲ授與ス

三月廿三日　ヨリ第四回入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、大阪高等工業學校、北海道帝國大學ニ於テ行フ

三月三十日　電氣工學科四〇名、機械工學科三八名、應用化學科三七名入學許可ヲ發表ス

四月　八　日　文部省告示第一八四號ヲ以テ教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名中ニ本校ヲ加ヘラル

四月　九　日　第四回入學宣誓式ヲ擧行ス

四月二十日　本校規則一部改正ノ件許可セラル（前學期後學期ノ區分休業日中ニ記念日設置ノ件）

十二月廿七日　勅令第三六二號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中職員定員令改正セラレ本校ニ助手二名ヲ加ヘラル

昭　和　三　年（紀元2588年）

三月十五日　第二回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科二八名機械工學科二八名、應用化學科三三名（電氣一名、化學一名ハ三月三十一日付）卒業證書授與ス

三月廿五日　ヨリ第五回入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、京都高等工藝學校、北海道帝國大學ニ於テ行フ

三月卅一日　電氣工學科四〇名、機械工學科三九名、應用化學科三七名入學許可ヲ發表ス

四月　九　日　第五回入學宣誓式ヲ擧行ス

四月二十日——五月十日　附設科學工業博物館ニ於テ化學工業展覽會ヲ開催ス

九月廿四日——十二月七日　文部省ヨリ成人講座開設ヲ委囑セラレ毎週月、水、金開講ス聽講人員三四四名、內證書授與セシモノ二五七名アリ

十月　十　日　天皇　皇后　兩陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス

十月廿九日　勅令第二五六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改正セラレ生徒監ヲ生徒主事ニ改メ新ニ生徒主事補ヲ加ヘラル

十一月　十　日　御即位ノ禮ヲ行ハセラルヽニ付福田校長ハ御大典ノ諸儀ニ參列シ職員生徒一同ハ奉祝式ヲ擧行ス

昭　和　四　年（紀元2589年）

三月　八　日　文部省令第四號ヲ以テ本校規則中一部改正ノ件公布セラル（學科課程ノ件）

三月十五日　第三回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科三七名機械工學科二八名、應用化學科二六名ニ卒業證書ヲ授與ス

三月十九日　本校規則中一部改正ス（授業料ノ件三月十五日付文部次官通牒ニ依ル）

三月廿四日　ヨリ第六回入學者選拔試驗ヲ本校及東京高等師範學校、大阪高等工業學校ニ於テ行フ

三月卅一日　電氣工學科三九名、機械工學科三九名、應用化學科三九名入學許可ヲ發表ス

三月卅一日　集會所建築工事落成ス

四月　八　日　第六回入學宣誓式ヲ擧行ス

四月廿五日——五月十日　附設科學工業博物館ニ於テ電氣展覽會ヲ開催ス

十月廿一日——十一月廿二日　文部省ヨリ成人講座開設ヲ委囑セラレ毎週月、水、金開講ス聽講人員二八〇名、內證書授與セシモノ一六八名アリ

昭　和　五　年　（紀元2590年）

三月十五日　第四回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科三三名機械工學科三四名、應用化學科二六名ニ卒業證書ヲ授與ス（內電氣五名、機械三名ハ三月三十一日付）

三月廿四日　ヨリ第七回入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪工業大學ニ於テ行フ

三月卅一日　電氣工學科四〇名、機械工學科三七名、應用化學科三七名入學許可ヲ發表ス

四月　八　日　第七回入學宣誓式ヲ擧行ス

四月廿五日——五月十日　附設科學工業博物館ニ於テ機械展覽會ヲ開催ス

昭　和　六　年　（紀元2591年）

一月　一　日　本校所在地長岡市四郎丸町ハ町名變更ニ依リ長岡

市學校町三丁目トナル

二月十七日　本校規則中一部改正ス（學資支辨困難ナル者ニハ授業料ヲ減免シ得ル項ヲ加フ）

二月廿九日　定期見學旅行規程及校外實習並ニ見學ニ關スル規程制定ス

三月十五日　第五回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科三六名機械工學科三六名、應用化學科三五名ニ卒業證書及機械工學科一名ニ修業證書ヲ授與ス

三月廿四日　ヨリ第八回入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪工業大學ニ於テ行フ

三月卅一日　電氣工學科三八名、機械工學科三七名、應用化學科三六名入學許可ヲ發表ス

四月　八　日　第八回入學宣誓式ヲ行フ

四月廿五日——五月四日　附設科學工業博物館ニ於テ理學展覽會ヲ開催ス

十一月　一　日　機械工學科修業生甲本正彥ニ卒業證書ヲ授與ス

十一月十四日　印刷室落成ニツキ移轉ス

昭　和　七　年　（紀元2592年）

三月十五日　第六回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科三三名機械工學科三三名、應用化學科三一名ニ卒業證書ヲ授與ス

三月廿四日　ヨリ第九回入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪工業大學ニ於テ行フ

三月卅一日　電氣工學科四〇名、機械工學科三七名、應用化學科三三名入學許可ヲ發表ス

四月　八　日　入學宣誓式ヲ擧行ス

四月十五日　電氣工學科落山弘ニ卒業證書ヲ授與ス

五月十四日——二十二日　附設科學工業博物館ニ於テ化學文化展覽會ヲ開催ス

十月廿二日　機械工學科仕上工場落成ス

十二月廿七日　勅令第三九五號ヲ以テ文部省直轄諸學校定員中本校ノ項助教授ノ欄「九人」ヲ「八人」ニ助手ノ欄「二人」ヲ「一人」ニ改正ノ旨公布セラル

昭和八年（紀元2593年）

三月十五日　第七回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科三一名機械工學科二七名、應用化學科二五名ニ卒業證書及電氣工學科一名ニ修業證書ヲ授與ス

三月廿四日　ヨリ第十回入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪工業大學ニ於テ行フ

三月卅一日　電氣工學科三九名、機械工學科四〇名、應用化學科三七名入學許可ヲ發表ス

四月八日　入學宣誓式ヲ擧行ス

四月廿八日——五月七日　附設科學工業博物館ニ於テ電氣展覽會ヲ催ス

十月三十日　物理工作室落成ス

十一月三十日　成績考査細則中一部改正ス（再考査ニ關スル件追加）

昭和九年（紀元2594年）

二月二日　第二師團長東久邇宮稔彦王殿下本校へ御臺臨御視察遊サル

三月十五日　第八回卒業證書授與式ヲ擧行シ電氣工學科三六名機械工學科三六名、應用化學科三四名ニ卒業證書ヲ授與ス（內機械一名ハ三月三十一日付）

三月廿四日——廿六日　第十一回入學者選拔試驗ヲ本校及東京文理科大學、大阪外國語學校ニ於テ行フ

三月卅一日　電氣工學科三六名、機械工學科三八名、應用化學科三三名入學許可ヲ發表ス

長岡高等工業學校規程

（大正十三年二月廿三日文部省令第七號）

改　正（大正十四年三四號・昭和四年四號）

長岡高等工業學校規程左ノ通定ム

長岡高等工業學校規程

第一條　本校ノ修業年限ハ三年トス

第二條　本校ノ學科ハ電氣工學科、機械工學科、應用化學科トス

第三條　各學科ノ學科目及其ノ程度左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ各學科目ノ每週教授時數ハ其ノ學科目ノ總教授時數ヲ短縮セサル範圍內ニ於テ臨時之ヲ變更シ又ハ休業期間其ノ他ニ於テ實驗實習ヲ課シ若ハ臨時講義ヲ聽カシムルコトヲ得

（學科目等省略）（規則ト同樣）

第四條　本校卒業者若ハ同等以上ノ學力ヲ有スル者ニシテ既修學科若ハ他ノ學科中之ニ關聯セル學科目ニツキ研究セントスル者アルトキハ研究生トシテ二年以內在學セシムルコトヲ得

第五條　本校各學科中ノ一學科目若ハ數學科目ヲ選擇學修セントスル者ハ選科生トシテ三年以內在學セシムルコトヲ得

第六條　本校各學科ノ學科目中ノ講義ヲ聽講セントスル者ハ聽講生トシテ聽講セシムルコトヲ得

第七條　本校ニ別科ヲ置クコトヲ得

別科ニ關スル規程ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年文部省令第四號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ課スヘキ學科目及其ノ程度ニ關シテハ新舊學科課程ヲ斟酌シテ學校長之ヲ定ム

規　則（大正十三年二月制定）

改正 {大正十三年十一月・同十四年三月・同十四年九月 / 昭和二年四月・同四年三月・同六年二月}

第一章　總　則

第一條　本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ身心健全ニシテ高等ノ工業的技術ニ通スル社會須要ノ人材ヲ養成スルヲ以テ目的トス

第二條　本校ニ次ノ學科ヲ置ク

電氣工學科
機械工學科
應用化學科

第三條　各學科ノ修業年限ハ三年トス

第四條　本校ニハ研究生、選科生、聽講生及別科ヲ置クコトアルヘシ

研究生、選科生及聽講生ニ關シテハ別ニ規程アル場合ヲ除ク外本科生ニ關スル規程ヲ準用ス

別科ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第五條　本則施行ニ要スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第二章　學科課程

第六條　各學科ノ學科目及其ノ程度次ノ如シ

電氣工學科

學科目＼學年	第一學年 毎週教授時數		第二學年 毎週教授時數		第三學年 毎週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後　期
修身	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
體操	3	3	3	3	3	3
英語及獨逸語	4.5	4.5	4.5	4.5	3	3
數學	6	4.5	3	3	1.5	1.5
力學及物理學	3	4.5	1.5	1.5	1.5	1.5
物理學實驗			3	3		
化學	3	1.5				
化學實驗	3	3				
經營經濟及法制					1.5	3
工場管理					1.5	1.5
材料力學			3	1.5		
機械工作法	1.5	1.5				
水力及水力機			1.5	1.5		
熱機關			1.5	1.5		
電氣理論	3	3			1.5	1.5
電氣磁氣測定	1.5	1.5				
電氣機械及設計			3	3	3	3
電氣材料及器具			1.5	1.5		
發電所及變電所					3	1.5
送電及配電					3	1.5
電燈及照明			1.5			
電氣鐵道				4.5		
電信及電話					1.5	1.5
電氣化學及電池					1.5	1.5
讀書攻究	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
特別講義						
設計及製圖	7.5	3	3	4.5	4.5	6
實驗實習		6	6	3	6	6
合計	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0

備考　第一學年ニ於ケル讀書攻究ハ前學期ニハ原動機槪說ヲ後學期ニハ金屬材料ヲ課ス。

機械工學科

學科目＼學年	第一學年每週教授時數		第二學年每週教授時數		第三學年每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
體操	3	3	3	3	3	3
英語及獨逸語	4.5	4.5	4.5	4.5	3	3
數學	6	4.5	3	3	1.5	1.5
力學及物理學	3	4.5	3	3	1.5	1.5
物理學實驗			3	3		
化學	3	1.5				
化學實驗	3	3				
經營經濟及法制					1.5	3
工場管理					1.5	1.5
材料力學			3	3		
金屬材料	1.5	1.5				
機械工作法	1.5	1.5				
水力及水力機			1.5	1.5	1.5	1.5
機構學	1.5	1.5				
熱力學				1.5		
汽罐			1.5			
蒸氣機關及タービン			1.5	1.5		
內燃機關					3	1.5
機械設計			1.5	1.5	1.5	1.5
實驗工學				1.5		
電氣工學					3	1.5
讀書攻究	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
特別講義						
設計及製圖	9	4.5	4.5	3	9	7.5
實驗實習		6	6	6	6	9
合計	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0

備考　第一學年ニ於ケル讀書攻究ハ前學期ニハ原動機概說ヲ
後學期ニハ各種機械概說ヲ課ス。

應用化學科

學科目＼學年	第一學年每週教授時數		第二學年每週教授時數		第三學年每週教授時數	
	前學期	後學期	前學期	後學期	前學期	後學期
修身	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
體操	3	3	3	3	3	3
英語及獨逸語	4.5	4.5	4.5	4.5	3	3
數學	4.5	4.5	1.5	1.5		
物理學	3	4.5	1.5	1.5	1.5	1.5
物理學實驗			3	3		
經營經濟及法制					1.5	3
工場管理					1.5	1.5
機械工學通論		3	1.5	1.5		
機械製圖			3	3	3	
電氣工學					3	1.5
無機化學	4.5	3				
有機化學	3	4.5				
物理化學			3	3		
應用電氣化學					3	1.5
製造化學第一部			1.5	3		
製造化學第二部			3	1.5		
製造化學第三部			1.5	3		
製造化學第四部					1.5	3
製造化學特論第一部					1.5	1.5
製造化學特論第二部					1.5	1.5
讀書攻究	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
特別講義						
實驗實習	13.5	9	9	7.5	12	15
合計	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0	39.0

備考　第一學年ニ於ケル讀書攻究ハ前學期ニハ原動機概說ヲ
後學期ニハ鑛物學ヲ課ス。

各學科目ノ每週敎授時數ハ其ノ學科目ノ總敎授時數ヲ短縮セサル範圍ニ於テ臨時之ヲ變更スルコトアルヘシ、必要ニ應シ休業期間其ノ他便宜ノ時ニ於テ臨時講義又ハ實習ヲ課スルコトアルヘシ

第 三 章　學年、學期及休業日

第 七 條　學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第 八 條　學年ヲ分チテ次ノ二學期トス

前 學 期　四月一日ヨリ十月十五日マテ

後 學 期　十月十六日ヨリ翌年三月三十一日マテ

第 九 條　休業日ハ次ノ如シ

祝日、大祭日

日 曜 日

本校記念日　十月十日

春季休業日　四月一日ヨリ四月七日マテ

夏季休業日　七月十一日ヨリ八月三十一日マテ

冬季休業日　十二月二十五日ヨリ一月七日マテ

第 四 章　入學、在學、退學

第 十 條　入學ノ期ハ學年ノ始トス

第 十 一 條　入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正、志望鞏固ナル男子ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當シ且ツ入學檢定ニ合格セルモノタルヘシ

1. 中學校ヲ卒業シタル者
2. 實業學校ヲ卒業シタルモノ、但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年、若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者
3. 前號ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

4. 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者

第 十 二 條　中學校又ハ實業學校在學者ニシテ當該學校長ヨリ該學年三月末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタル者ハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

前項入學志願者ニシテ其ノ學校ヲ卒業シ能ハサル者ニハ入學ヲ許可セス

第 十 三 條　入學志願者ニ對シテハ其ノ心身ニツキ入學檢定ヲ行フ、入學檢定ハ學力試驗、身體檢查及人物能力檢查ノ三トス、但シ學力試驗ハ之ヲ省略スルコトアルヘシ

學力試驗ハ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

其ノ試驗學科目ハ別ニ之ヲ定ム

第 十 四 條　入學志願者ハ第二條ニ揭ケタル學科中ニツキ志望學科ヲ定メ入學願書ニ寫眞及入學檢定料ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

第 十 五 條　入學ヲ許可セラレタル者ハ指定ノ期日迄ニ保證人連署ノ在學證書ニ戶籍抄本ヲ添ヘ之ヲ差出スヘシ

保證人ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第 十 六 條　本校退學者ニシテ再入學ヲ願出ツルトキハ收容ノ餘裕アル場合ニ限リ詮議ノ上原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第 十 七 條　學生ハ別ニ定ムル所ノ服制ニ依ルヘシ

第 十 八 條　疾病其他已ムヲ得サル事由ニ依リ久シキニ亘リ修業シ能ハスト思料スルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得

休學中ノ者其ノ期間ヲ經過シタルトキハ速ニ原級ニ復歸スヘシ

休學中ノ者ニシテ其ノ事由消滅シタルトキハ復校ヲ願出テ又ハ許可ヲ得テ一學科目若クハ數學科目ノ授業ニ出席スルコトヲ得

第 十 九 條　疾病其ノ他已ムヲ得サル事由ニヨリ退學セントスルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ許可ヲ受クヘシ

第 二 十 條　學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ學校ニ入リ又ハ各種ノ試驗ニ應スルコトヲ得ス

第二十一條　次ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ學籍ヲ除ク、但シ第二號ハ休學ノ者ニハ之ヲ適用セス

1. 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
2. 二ケ年間同級ニ停リテ尚ホ進級セサル者
3. 學力劣等若クハ身體虛弱ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
4. 正當ノ事由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者
5. 授業料其他ノ料金ノ納付ヲ怠リ督促ヲ受クルモ尚ホ之ヲ納付セサル者

第五章　表彰及懲戒

第二十二條　品性、學業及健康上他ノ學生ノ模範トナルヘキ者ハ學年ノ終リニ於テ表彰スルコトアルヘシ

第二十三條　學校ノ內外ヲ問ハス學生タルノ本分ニ背戻セリト認ムヘキ行爲アル者ハ戒飭ヲ加ヘ又ハ停學、放校ニ處ス

第六章　修業及卒業

第二十四條　各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業成績等ヲ考査シテ之ヲ定ム

第二十五條　前條ノ考査ニ合格セル者ハ之ヲ進級セシメ不合格ノ者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム

第二十六條　已ムヲ得サル事由ニ依リ試驗ニ缺席シタル者所定ノ期間內ニ追試驗ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第二十七條　各學年ノ課程ヲ修了シタルモノニハ卒業證書ヲ授與ス

第二十八條　第三學年ノ終末ニ於ケル成績考査ニ合格セサル者ニハ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ前項修業證書受領者ニシテ別ニ定ムル成績考査ニ關スル細則ニ據リ後日願出タルトキハ再考査ヲ行ヒ卒業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第二十九條　成績考査ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章　研究生

第三十條　本校卒業者若クハ之ト同等以上ノ學力經驗アリト認メラレタル者ニシテ既修學科若クハ他ノ學科中之ニ關聯セル學科目ニツキ研究セントスル者アルトキハ詮議ノ上研究生トシテ二年以內在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十一條　研究生ハ學年ノ中途ニ於テモ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十二條　研究生ハ許可ヲ受ケ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第三十三條　研究生其ノ研究事項ヲ了リタルトキハ研究報告書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第三十四條　學校長ハ研究成績ヲ考査シ必要アルトキハ研究證明書ヲ交付ス

第八章　選科生

第三十五條　本校所定ノ一學科目若クハ數學科目ヲ選擇履修セントスル者ニハ收容ノ餘裕アルトキニ限リ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十六條　選科生ノ在學期間ハ三年以內トス

第三十七條　選科生ハ學年ノ中途ニテモ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十八條　選科生トシテ入學ヲ願出ツルコトヲ得ルモノハ次ノ各號ノ一ニ該當スル者タルヲ要ス

1. 三年以上引續キ志望學科目ニ關スル工業ニ從事セル者
2. 實業學校卒業者
3. 中學校卒業者
4. 本校別科卒業者

第三十九條　選科生ハ許可ヲ受ケ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第四十條　選科生學修ヲ終リタルトキハ成績ヲ考査シ修了證書ヲ授與ス

第九章　聽講生

第四十一條　本校各學年ノ學科目中ノ講義ヲ聽講セントスル者アルトキハ詮議ノ上隨時聽講生トシテ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十二條　聽講生ハ聽講料ヲ納付シ聽講券ノ交付ヲ受クヘシ

第四十三條　聽講生ハ制服、制帽ヲ着用セサルコトヲ得

第十章　入學檢定料、授業料聽講料及實驗實習費

第四十四條　入學檢定料ハ金五圓トス

第四十五條　授業料及聽講料ハ次ノ通リトス

本科生及研究生ハ一學年八拾圓

選科生ハ一學年一學科目ニツキ金拾圓

聽講生ハ一學科目一年ニツキ金拾圓

第四十六條　本科生及研究生ノ授業料ハ次ノ二期ニ分チ每學期始業日ヨリ一週間以內ニ納付スヘシ

前　學　期	金四拾圓
後　學　期	金四拾圓

選科生ノ授業料ハ每年始業日ヨリ一週間以內ニ納付スヘシ、但シ學年ノ中途ニ於テ入學許可セラレタル者ハ其ノ年度ノ授業料ハ入學許可ヲ受ケタル日ヨリ一週間以內ニ納付スヘシ

聽講生ノ聽講料ハ聽講券ノ交付ヲ受クル際之ヲ納付スヘシ

第四十七條　生徒ニシテ學資ノ支辨困難ナル者ニハ學校長ノ見込ニ依リ授業料ヲ減免スルコトアルヘシ、但シ授業料ノ減免ハ學年每ニ之ヲ定ム若シ學年ノ中途ニ於テ之ヲ定メタルトキハ次ノ徵收期分

ヨリ減免ス

第四十八條　授業料ノ減免ハ其ノ必要ナル事情止ミタリト認メタル場合又ハ減免ヲ受クル者學業ヲ怠リ若クハ不都合ノ行爲アリタルトキハ之ヲ止ム

第四十九條　研究生及選科生ノ授業料ハ學校長ノ見込ニヨリ其ノ一部若クハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

第五十條　次ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリハ授業料ヲ徵收セス

1. 休學中ノ者
2. 大正四年三月文部省令第七號實業教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニシテ學校長ノ見込ニ依リ特ニ授業料ヲ免除セラレタル者

第五十一條　本科生及研究生ニシテ學年ノ中途ヨリ入學セル者、休學事故止ミ出席セル者又ハ授業料ノ減免ヲ止メラレタル者ニツキテハ八月分ヲ除キ一ケ月八圓ノ割ヲ以テ學期ノ餘月ニ對スル授業料ヲ指定ノ期日ニ一時ニ納付セシム

第五十二條　各學期始業前退學若クハ休學ヲ願出ツル者ノ授業料ハ之ヲ徵收セス、第五十條第二號ノ出願者ニ對シテハ其ノ決定ニ至ルマテ其ノ期ノ授業料徵收ヲ猶豫ス

第五十三條　研究生及選科生ノ實驗、實習ニ要スル費用ハ其ノ全部若クハ一部ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第五十四條　既納ノ入學檢定料、授業料、聽講料及實驗實習ニ要スル費用ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス

附　則

第五十五條　第四十七條、第四十八條、第五十一條中授業料減免ニ關スル規程ハ昭和六年四月一日ヨリ實施ス

V　商議委員會規程

第　一　條　文部省直轄諸學校官制第十九條ニ依リ長岡高等工業學校ニ商議委員會ヲ置ク

第　二　條　商議委員ハ六名以上トシ次ノ人員中ヨリ之ヲ命ス

1. 文部々內高等官　　二名以上
2. 長　岡　市　長
3. 長岡商工會議所會頭
4. 教育又ハ實業ニ關シ知識經歷アルモノ　三名以上 七名以內

第　三　條　商議委員會ハ學校長之ヲ開キ文部大臣ノ諮問スル事項又ハ學校長ニ於テ必要ト認ムル事項ヲ審議スルモノトス、但シ商議委員ニ於テ意見アルトキハ之ヲ議案トナスコトヲ得

第　四　條　商議委員會ノ議事ニ關スル規程ハ委員會ニ於テ之ヲ定ム

第　五　條　商議委員會ノ決議ハ學校長之ヲ文部大臣ニ報告スヘシ

VI　細　則

1. 學生ニ關スル規程（大正十三年四月制定 昭和二年五月改正）

第　一　條　學生ハ本校教育ノ趣旨ヲ體シ其本分ヲ全ウセンコトヲ期スヘシ

第　二　條　各學級ニ學級總代二名ヲ置キ其學級ヲ代表セシム學級總代ハ其學級生ノ互選ニヨル候補者中ヨリ學校長之ヲ任命シ任期ハ一ケ年トス、但シ第一學年ニアリテハ入學ノ當初ハ學校長之ヲ選任シ六月前記ノ手續ニヨリ之ヲ選定ス

學生ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ總代タルヲ得ス

1. 學業成績不良ニヨル原級者
2. 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
3. 受罰中ノ者
4. 出席率 D. E. F ノ者
5. 其他役員トシテ不適當ト認メラレタルモノ

第　三　條　學校長ノ許可ナクシテ團體ヲ組織スルヲ得ス

第　四　條　次ノ場合ニハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ

1. 集會ヲ催サントスルトキ
2. 揭示又ハ貼紙ヲナサントスルトキ
3. 新聞雜誌等ニ寄稿セントスルトキ
4. 書畫印刷物ノ頒布ヲナサントスルトキ

第　五　條　諸會合ノ爲メ校舍ノ一部ヲ使用セントスル場合ハ其都度（ナルヘク前日マテニ）庶務課ニ申出テ許可ヲ受クヘシ

第　六　條　校內ニアリテハ所定ノ場所以外ニ於テ飮食又ハ喫煙スヘカラス

第　七　條　次ノ場合ニハ直ニ學生課ニ屆出ツヘシ

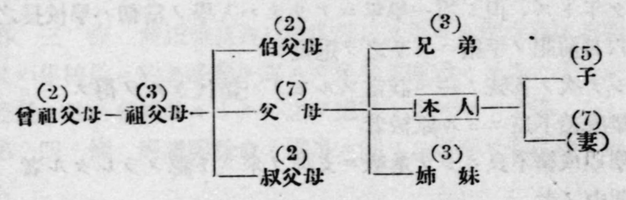
1. 遲刻、缺課又ハ缺席シタルトキ（病氣缺席一週間以上ニ及フトキハ醫師ノ診斷書添附）

2. 宿所ヲ變更シタルトキ
3. 金錢物品ヲ紛失又ハ拾得シタルトキ
4. 校舍ヲ損傷シ又ハ器具ヲ毀損亡失シタルトキ

第 八 條　願書、届書ハ特ニ規程アルモノヽ外ハ總テ學校長宛ニ認メ學生課ニ差出シ其指揮ヲ受クヘシ

願書、届書ノ樣式又ハ用紙ハ學生課ニ備付アレハ必要ニ應シ該課ニ請求スヘシ

學 生 忌 引 表



本表ニ於ケル父母トハ實父母、養父母、繼父母ノ意ニシテ配偶者ノ父母ハ五日トス

2. 學生服裝規程（大正十三年四月制定 昭和二年五月改正）

第 一 條　本校學生ノ服制次ノ如シ

1. 制　帽

地	質	黒　絨
型		海軍型（略圖參照）
帽	章	雪模樣ノ中心ニ高工ノ二字ヲ打出ス（略圖參照）
眼	庇	黒　革
紐		黒　革

2. 制　服（冬衣ハ十月一日ヨリ 夏衣ハ六月一日ヨリ 着用）

上　衣

地　質	冬衣　黒又ハ紺（サージ　ヘル）
	夏衣　鼠　色（セル、ポーラ）
型	背廣折襟型（略圖參照）
胸釦及袖釦	（略圖參照）

チヨツキ

地　質	冬上衣ニ同ジ（夏ハ用ヒス）
型	普　通

ズボン

地　質	夏冬衣共上ニ同シ
型	長ズボン

其　他

カラー	ダブル
ネクタイ	黒色無地
ワイシヤツ	白色無地

3. 外　套

地　質	適　宜
型	マント又ハオーバーコート

4. 靴

地　質	黒　靴
型	編ミ上ゲ又ハ深ゴム

5. 略　帽

地　質　麥　稈

型　一文字形黑リボン（略圖參照）

帽　章　帽章ハリボン結目ニ附ス

6. 作業服

電氣、機械工場用

地　質　鼠色霜降小倉

型　上　衣（略圖參照）

ズボン　長ズボン

化學實驗用

地　質　自綾小倉

型　（略圖參照）

教　練　用

地　質　茶褐色雲齊織

型　ズボン　長ズボン

第　二　條　登校ノ際ハ必ラス制服制帽ヲ着用シ靴ヲ穿ツモノトス之レニ依ルコトヲ得サルモノハ其都度學生課ニ届出ツヘシ

第　三　條　儀式ノ際ハ正裝スヘシ

正裝トハ制服ヲ着ケ上衣ノ釦ヲ掛ケ制帽ヲ冠リ且ツ黑革靴ヲ穿ツモノトス

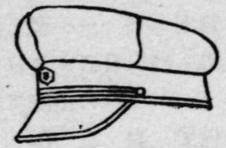
第　四　條　教室內ニアリテハ授業ヲ受クル際ハ制服ヲ着用シ實習、化學實驗又ハ教練ニ際シテハ作業服ヲ着用スルヲ本則トス但シ何等ノ場合ヲ問ハス和服ニテ作業服ニ代用スルコトヲ許サス

第　五　條　夏期ト雖體操教練時ニハ略帽ノ着用ヲ禁ス

第　六　條　新入學生ハ入學後一ケ月以內ニ本規程ノ服裝ヲ調フヘシ但シ制帽ニ限リ一週間以內トス

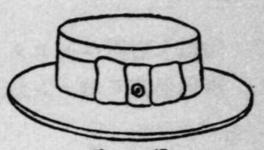
附　則

入學前使用セル被服ニシテ本校所定ノ服制ニ適合セシメ得ヘキモノハ之ヲ着用スルコトヲ得、但シ一應學生課ニ承合スヘシ



制　帽

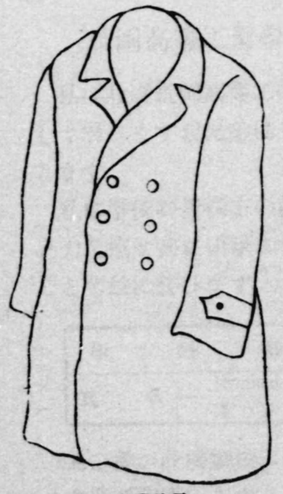
徽　章



略　帽

釦

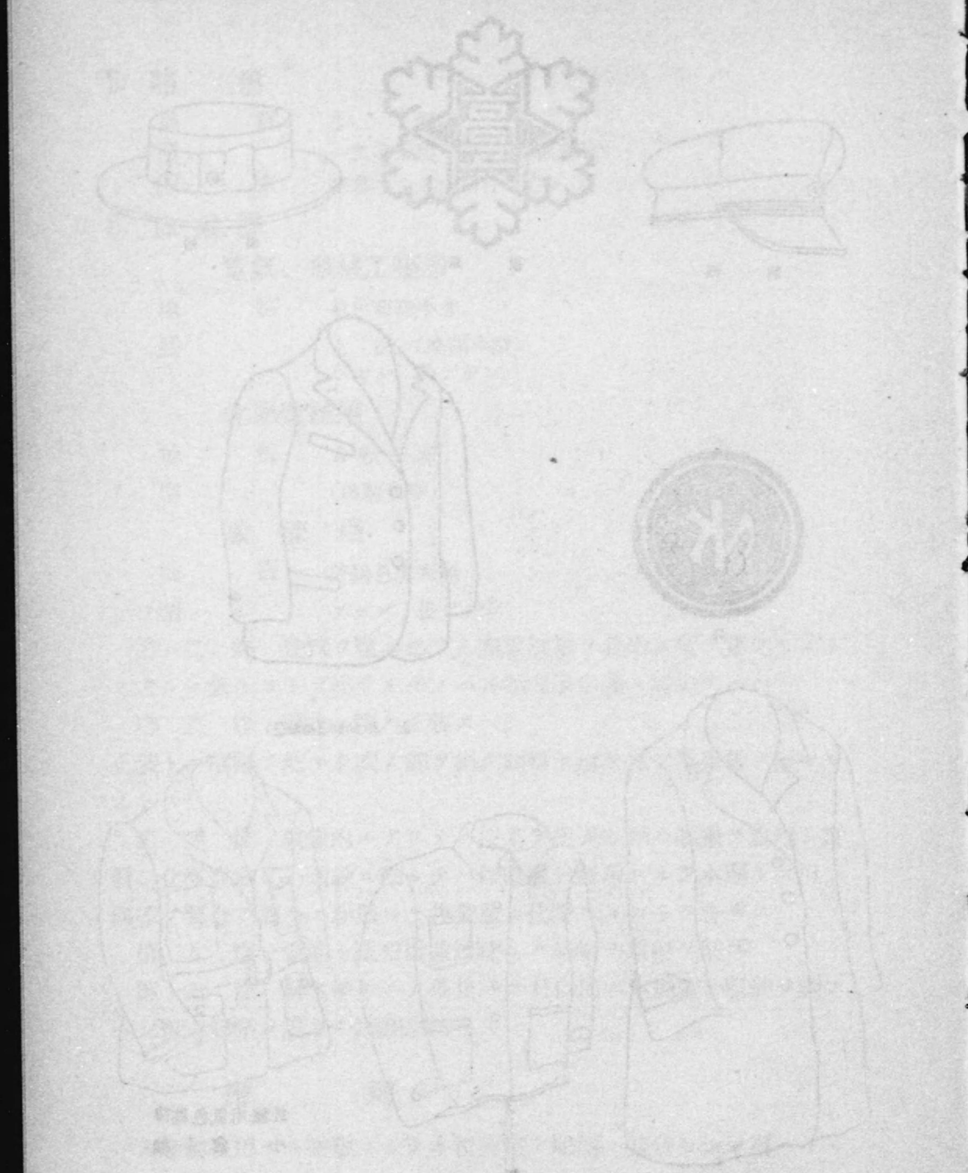
上　衣（前釦3袖釦2）



化學實驗用
白綾小倉地

電氣機械實習服上衣

教練用鼠色霜降
小　倉　地



3. 保 證 人 規 程

第 一 條　本校ヨリ入學許可ノ通知ヲ受ケタル者ハ規定ノ出校日ヨリ五日以內ニ保證人ヲ定メ連署ヲ以テ別紙樣式ニ依リ在學證書ヲ差出スヘシ

第 二 條　保證人ハ學生ノ近親者若クハ學校長ノ承認シタル成年者ニシテ學生ニ關スル一切ノ責任ヲ負フモノタルヘシ但シ保證人中ニハ男子ノ在ルコトヲ要ス

第 三 條　保證書中記載ノ事項ニ異動ヲ生シタル場合ハ直ニ届出テ又保證人ノ變更ヲ要スル場合ハ新ニ在學證書ヲ差出スヘシ

第 四 條　必要ニ應シ學校長ハ別ニ保證人代理ヲ立テシムルコトアルヘシ

（樣　式）

在　學　證　書

長岡高等工業學校長　　殿

私は此度長岡高等工業學校に入學を許されましたことを大變に嬉しく思ひます親兄弟はもとより親族知人まで私の爲めに祝福して居ります

私は學校の皆樣方の御敎導により勉學修養心身の涵養に努め學友と力を協せ共に研鑽につとめ立派に入學の目的を達する樣努力することを玆に誓ひます

學　科　名			
氏　名	Romazi 漢　字		印

上の者が此度御校に入學を許されましたことは私共の衷心から悦ぶ次第で御座います

就きましては御校の皆様方が當人を鞭撻教育し當人が心身健全で高等の工業的技術に通ずる社會須要の人となる樣御教導の程御願ひ申上ます、私共も今後當人を充分督勵しまして勉強修養入學の初一念を貫徹させ以て學校の教育目的に副ふ樣一同擧つて御校に協力致します

申す迄もなく當人と學校との間に起る凡ての事柄につきましては私共が責任を負うて御引受致します

昭和　年　月　日

代表保證人	原籍	Rômazi 漢字				
	住所	Rômazi 漢字				
	氏名	Rômazi 漢字	印			
	職業 學生トノ續柄					
其ノ他ノ保證人	學生トノ續柄	氏名		學生トノ續柄	氏名	

注意

I　保證人としては單に形式的に一人が捺印されるよりも父母兄姉などが學生の成業を希望さるる意味を以て家族親戚が保證人として茲に多く署名さるることを學校は望みます

II　本文をよく讀んで各自署名して下さい、但し Rômazi の所は學生に書かせてもよろしい

III　文字は總てペン書きのこと

4. 成績考査細則（大正十三年十月制定 昭和二年四月改正 同八年十一月改正）

第一章　總　則

第一條　學生ノ成績ハ本校規則及本細則ニヨリ之ヲ考査ス

第二條　學生ノ成績ハ學期成績及學年成績ニヨリ之ヲ考査ス

第三條　學期成績ハ各學科目ノ評點並ニ其總平均點ヲ以テス

第四條　各學科目ノ學期成績ハ該學期間ノ試驗點並ニ平常點ヲ各受持教官ニ於テ適當ニ平均シ且ツ出席狀況ヲ考慮シテ之ヲ評點ス但シ體操、製圖、實驗實習ノ學期成績ハ平常點ト出席狀況トノミニヨリ之ヲ評點スルコトヲ得

第五條　學年成績ハ各學科目學年評點並ニ其ノ總平均點ヲ以テス、各學科目學年評點ハ其ノ學科目ノ前後兩學期成績ノ平均點ヲ以テス

第六條　各學科目ノ評點ハ100ヲ滿點トシテ正ノ整數ヲ以テ之ヲ表ハス評點ノ平均ニ於テハ小數第一位迄ヲトリ之ヲ四捨五入ス

第七條　成績ハ次ノ評語ヲ以テ之ヲ表ハス

A（100——85）　B（84——60）　C（59——50）

D（49——40）　E（39——30）　F（29——0）

第八條　學科目ノ性質ニヨリ一學科目ヲ分チテ數學科目ト看做シ又ハ數學科目ヲ併セテ一學科目ト見做シテ之ヲ評點スルコトアルヘシ

第九條　出席率ハ次ノ評語ヲ以テ之ヲ表ハス

A　皆出席又ハ缺席時數カ授業總時數ノ $^{2}/_{100}$ ヲ超エサルモノ

B　缺席時數カ授業時數ノ $^{2}/_{100}$ ヲ超エ $^{10}/_{100}$ ヲ超エサルモノ

C　同　$^{10}/_{100}$ 同 $^{20}/_{100}$ 同

D　同　$^{20}/_{100}$ 同 $^{30}/_{100}$ 同

E　同　$^{30}/_{100}$ 同 $^{40}/_{100}$ 同

F　同　$^{40}/_{100}$ ヲ超エタルモノ

第十條　試驗ハ定期及隨時ノ二種トス

定期試驗ハ筆記試驗トシ每學期末期日ヲ定メテ一回之ヲ行フ但シ隨時試驗ヲ數回行フモノハ學校長ノ許可ヲ得テ定期試驗ヲ行ハサルコトヲ得

隨時試驗ハ每學期一回以上之ヲ行フ但シ特別ノ事情アルモノハ學校長ノ許可ヲ得テ之ヲ行ハサルコトヲ得

隨時試驗ノ時期並ニ其ノ取扱ハ各受持敎官ノ隨意トス但シ都合ニヨリテハ七月及十二月ニ於ケル授業終了日ト其ノ前日トノ二日以內ニ纏メテ之ヲ行フコトヲ得

第十一條　定期試驗ニ應セサリシ學科目ノ成績ハ零點トス但シ受驗不能ノ理由學校長ニ於テ之ヲ正當ナリト認メタル者ハ追試驗ヲ受クルコトヲ得

後學期定期試驗ニ缺席シ追試驗ヲ受クルモ合格ノ見込ナキ者ニ對シテハ追試驗ヲ行ハスシテ之ヲ原級ニ留ム

第十二條　前學期末ニ於テハ期日ヲ定メテ受持敎官ヨリ學期成績ヲ敎務課ニ報告シ該課ニテ整理ノ上之ヲ發表ス

第十三條　學年末ニ於テハ期日ヲ定メテ受持敎官ヨリ後學期成績ヲ敎務課ニ報告シ該課ニテ學年成績ヲ整理シ敎官會議ノ議ニ附シ學校長ノ裁定ヲ經テ後敎務課ヨリ之ヲ發表ス

第二章　合格、不合格及修業

第十四條　學年成績ニ於テ各學科目ノ評點C以上總平均點B以上ノモノハ學業成績合格トス

第十五條　次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ進級又ハ卒業セシメス但シ詮議ノ上特ニ進級又ハ卒業セシムルコトアルヘシ

1. 學業成績不合格ノモノ
2. 出席率 D. E. F ノモノ
3. 素行良カラサルモノ

第十六條　學業成績不合格ノモノニ對シテハ特ニ詮議ノ上再試

驗ヲ行フコトアルヘシ

再試驗ヲ行フヘキモノハ總平均點B以上ニシテEノモノ一學科目又ハDノモノ二學科目以內ノ者ニツキ敎官會議ノ議ヲ經テ之ヲ決定ス體操、製圖、實驗實習ニ對シテハ再試驗ヲ行ハス但シ是等ノ學科目中特ニ試驗ニヨリテ評點セシトキハ前二項ヲ適用ス

第十七條　第三學年學年成績ニ於テ各學科目C以上ニシテ總平均點Cノモノニハ本人ノ希望ニヨリ詮議ノ上修業證書ヲ與フルコトヲ得

第三章　追試驗

第十八條　定期試驗ニ應スルコト能ハサル者ハ試驗前ニ其ノ事由ヲ詳記シ追試驗ヲ願出ツヘシ不慮ノ事故發生ノタメ右ノ願出ヲナシ得サリシモノハ試驗後三日以內ニ本人若クハ保證人又ハ友人ヨリ之ヲ願出ツヘシコノ期限內ニ願出サルモノハ追試驗ヲ受クルコトヲ得ス

不受驗ノ事由病氣ニ係ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ附スルヲ要ス

第十九條　追試驗ハ當該試驗執行後三十日以內ニ之ヲ行フ但シ學校長ニ於テ特別ノ事情ヲ認メタルトキハ右ノ期限外ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第二十條　追試驗ノ成績ハ得點ノ $^{80}/_{100}$ ヲ以テ評點トス但シ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ減點セス

1. 徵兵關係ニヨルモノ
2. 忌引ニヨルモノ
3. 特別ノ事情ヲ學校長ニ於テ承認シタルモノ

第四章　再試驗

第二十一條　再試驗ハ學年成績D. Eノ學科目ニ對シ前學年間ニ於テ履修セシ全部ニ亘リ一度ニ之ヲ行フモノトシ筆記、口述何レノ試驗ニヨルモ妨ケス

第二十二條　再試驗ハ每年四月上旬之ヲ行フ但シ學校長ニ於テ特別ノ事情アリト認メタルモノハ右ノ期限外ニ之ヲ行フコトアルヘシ

第二十三條　再試驗ニヨル學業成績合格者ノ再試驗學科目ノ成績ハCナル評語ヲ以テ之ヲ表ハス

第二十四條　再試驗ハ其學科目ニ對スル前學年ニ於ケル受持敎官之ヲ行フモノトス其ノ敎官不在又ハ止ムヲ得サル事情アルトキハ學校長ヨリ適當ナル敎官ニ命シテ之ヲ行ハシム

第五章　原級者

第二十五條　原級者カ課程ヲ再修スルニ當リ前年度ニ於テB以上ヲ得タル學科目ニ對シテハ受持敎官ノ意見ニヨリ學校長ノ許可ヲ得テ本人ノ出席ヲ免除スルコトヲ得此場合當該學科目ノ評點ハ前年度ノモノヲ以テス但シ本人ノ希望ニヨリ試驗ヲ受ケタル場合ハ前後比較シテ高キモノヲ採ル

上記ノ出席免除者ハ他ノ學科目ニ出席セシムルカ、圖書館實驗實習場其ノ他適當ナル場所ニ於テ特別ノ研究若クハ自習ヲナサシメ又ハ宿題、論文ヲ課シ或ハ其ノ他ノ方法ニヨリ之ヲ指導ス

第六章　再考查

第二十六條　規則第二十八條ニ依ル再考查施行期限ハ修業證書授與ノ日ヨリ滿三ケ年トス

第二十七條　再考查ノ時期ハ每年十月及三月ノ二期トシ、同一學科目ノ受驗ハ一期一回トス

第二十八條　再考查ハ最終ノ學年成績Cノ學科目ニツキ之ヲ行フ但シ體操、製圖、實驗實習ノ考查ハ之ヲ免除スルコトアルヘシ

第二十九條　前條ニ示ス全學科目ハ二期以上ニ亘リ分割シテ再考查ヲ受クルコトヲ得但シ一學科目ヲ分割スルヲ得ス

第三十條　再考查ヲ受ケントスル者ハ少クトモ考查期一ケ月前ニ願書ヲ提出シ受驗スヘキ學科目ニツキ指示ヲ受クヘシ

第三十一條　再考查ヲ受ケタル學科目ノ成績カ悉クB以上トナリ且ツ之ヲ最終ノ學年成績ニ代入シテ總平均點B以上トナリタルトキハ合格トス但シ成績Bニ達セサル學科目ハ三回迄再考查ヲ受クルコトヲ得

第三十二條　兵役ニ服シタル者ニ就テハ第二十六條ノ再考查施行期限ヲ延期シ又第二十七條ノ再考查時期ヲ變更スルコトアルヘシ

第三十三條　再考查ニ合格シタル者ニハ其學年度ノ三月ニ於テ卒業ヲ確認シ卒業證書ヲ授與ス但シ性行不良ト認ムル者ハ此限ニアラス

第七章　補　則

第三十四條　前學期成績並ニ學年成績ノ發表ニ當リテハ各學科目ノ成績及其ノ總平均點ヲ評語ヲ以テ表シ且ツ席次ヲ附シタル成績表ヲ學年別ニ作製シ之ヲ學生ト代表保證人トニ交附發表シ全般ニハ公表セス

第三十五條　席次ハ上位ヨリ五人宛ヲ一組トシ次ノ記號ヲ以テ之ヲ示ス但シ最後ノ組ノ人數二人以內ノトキハ其ノ上位ノ組ニ合セ七人組又ハ六人組ヲ作ルモノトス

1 ～ 5
40 — 3

コヽニ1~5トハ一番ヨリ五番マテノ席次ニアルノ意ニシテ40—3トハ四十人中試驗ヲ受ケサルモノ三名アリトノ意ナリ

第三十六條　評點ハ之ヲ發表セサルモノトス但シ上級官廳並ニ父兄保證人等ヨリ問合セアリテ敎務課ニ於テ發表ノ必要アリト認ムル場合ハ學校長ノ承認ヲ經テ之ヲ爲スコトヲ得

印

卒業證書

校印

府縣族籍
氏名
年月日生

右者本校所定ノ電氣工學科機械工學科應用化學科課程ヲ修メ正ニ其業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

昭和　年　月　日

長岡高等工業學校長位勳　氏名　印

電(機)化第　號

印

修業證書

校印

府縣族籍
氏名
年月日生

右者本校所定ノ電氣工學科機械工學科應用化學科課程ヲ履修セリ仍テ之ヲ證ス

昭和　年　月　日

長岡高等工業學校長位勳　氏名　印

電(機)化第　號

5. 定期見學旅行規程 （昭和六年二月制定）

第一條　本校ハ各科第二學年ノ終リニ於テ工場見學旅行ヲ行フ、其期間ハ十日以內トス

第二條　各科長ハ見學旅行計畫書ヲ二月十五日迄ニ教務課ニ提出スルモノトス

第三條　見學旅行計畫書ニハ見學生徒氏名日程（各工場參觀時刻ヲ含ム）見學先名稱、場所、見學許否交涉先並ニ旅費概算ヲ記載スルモノトス

第四條　見學旅行計畫ハ學校長ノ許可ヲ受クルモノトス

第五條　教務課ハ右計畫書ニヨリ見學先ニ交涉スルモノトス

第六條　學生課ハ生徒主事ノ指揮ヲ受ケテ見學旅行ノ趣旨、日程及概算旅費ヲ代表保證人ニ通告スルモノトス

第七條　指導教官ハ旅行終了後直ニ其旨教務課ヲ經テ學校長ニ報告スルモノトス

教務課ハ右報告ニヨリ見學先ヘ禮狀ヲ發送ス

第八條　指導教官ハ引率スル生徒ニ對シ旅行日程書及旅費概算書ヲ渡スモノトス

第九條　指導教官ハ見學スル工場ノ事業ノ種類設備等ニ關スル概況ヲ生徒ニ知ラシメ（成ル可ク印刷スルコト）見學工場ニ關スル概念ヲ與フルモノトス

第十條　指導教官ハ工場見學ノ際注意スヘキ要點ヲ說示シ出來得レハ問題ヲ提出シテ報告書中ニ其所見ヲ記入セシムルモノトス

第十一條　指導教官ハ引率生徒ト行動ヲ共ニシ別ニ定ムル工場見學心得ヲ遵守セシムル樣注意スルモノトス

第十二條　指導教官ハ見學報告書ヲ取リ纏メ之ヲ科長ニ提出スルモノトス

6. 校外實習並ニ見學ニ關スル規程（昭和六年二月制定）

第　一　條　本校ハ休業中生徒ヲシテ校外工場ノ實習並ニ見學ヲナサシム

第　二　條　前條ノ實習ハ第三學年生ニ夏季休業中各二週間以上行ハシムルヲ本旨トシ事情ニヨリ第二學年生ニモ實習セシム

第　三　條　各科長ハ夏季校外實習ヲナサントスル生徒ノ氏名實習希望先（工場名及所在）實習日數ヲ調査シ五月二十日迄ニ教務課ニ報告スルモノトス

第　四　條　教務課ハ前條ノ報告ニヨリ日程其他ノ事項ニ付實習希望先ニ交渉シ其結果ヲ科長ニ通報スルモノトス

第　五　條　各科長ハ實習生ノ實習項目又ハ研究項目ノ決定及見學工場等ニ關シ指導スルモノトス

第　六　條　科長ハ實習生ヲシテ實習又ハ研究報告書ヲ提出セシメ之ヲ一括シテ概評ヲ附シ教務課ヲ經テ學校長ニ供閲スルモノトス

第　七　條　教務課ハ校外工場實習又ハ工場見學ヲナサントスルモノニ對シ依頼狀ヲ交附シ終了後ハ之レヲ同課ニ返附セシム
該依頼狀ハ卒業ノ際本人ニ返附スルモノトス

第　八　條　鐵道機關車實習ハ左記ノ條件ニ據リテ之レヲ許シ其期間ハ五日以内トス

1. 機關車實習ハ機械工學科第三學年生ニ限ルコト
2. 一人一回ヲ許可スルコト
3. 右許可申請ハ夏季休業前學期末ニ於ケル授業休止ノ期間及冬季休業中ニ限リ之ヲ行フコト

科長ハ實習希望者ノ氏名實習時期便乘區間等ヲ教務課ニ報告シ教務課ハ機關車實習許可ノ手續ヲナス

7. 校務分掌規程（大正十三年四月制定／同十三年十一月改正／同十四年三月同）

第一章

第　一　條　各科ニ科長ヲ置キ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第　二　條　次ノ各學科目ニ擔任教官二名以上アルトキハ代表者一名ヲ主任トシ其ノ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス但シ電氣工學、機械工學、化學ニ關スル諸學科目ノ代表者ハ夫々電氣工學科長、機械工學科長及應用化學科長ヲ以テ之ニ充ツ

A　修　　身
B　體　　操
C　英語及獨逸語
D　數　　學
E　力學及物理學及物理學實驗
F　經營經濟及法制
G　工場管理
H　電氣工學ニ關スル諸學科目
I　機械工學ニ關スル諸學科目
J　化學ニ關スル諸學科目

第　三　條　學校長ヲ補佐シ校務ヲ整理スル爲メ必要アルトキハ幹事一名ヲ置キ教官中ヨリ學校長之ヲ命ス

第　四　條　一般事務ヲ分掌スル爲メ次ノ六課ヲ置ク

庶務課　　會計課　　教務課
學生課　　圖書課　　調査計畫課

各課ニ主任ヲ置キ職員中ヨリ學校長之ヲ命ス
學生課ノ事務ハ生徒主事之ヲ管理ス

第　五　條　學校長ノ諮詢ニ應ヘ又ハ校務ヲ審議シ統一ヲ圖ル爲メ次ノ會議ヲ開クコトアルヘシ

商議委員會

評議員會　幹事、生徒主事、各科長、學科目主任中ヨリ委員ヲ命シ學校長之ヲ召集ス

職員會　審議ノ內容ニヨリ關係職員ノミヲ召集スルコトアルヘシ

第六條　學校衛生ヲ掌理スル爲メ學校醫ヲ置ク

學校衛生ニ關シ意見ヲ具申シ又ハ諮詢ニ應ヘ其他重要ナル學校衛生事務ニ參與セシムル爲メ必要ニ應シ衛生顧問ヲ置ク

第七條　事務分掌ノ如何ニ關セス必要ニ應シ別ニ委員ヲ設ケ之ヲ處理スルコトアルヘシ

第二章　事務分掌

第一節　總則

第八條　校務ハ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ之ヲ施行スルコトヲ得ス但シ重要事項ニアラスシテ常例ニ係ルモノ又ハ特ニ學校長ヨリ委任セラレタルモノハ此ノ限リニアラス

第九條　事務ニシテ他課ニ關聯スルモノハ關聯各課ニ合議スルヲ要ス

第十條　各課所定ノ事務ノ外必要ニ應シ臨時事務ヲ命スルコトアルヘシ

第十一條　各課ノ事務ニシテ繁忙ノ際ハ他課員ノ助力ヲ乞フコトヲ得

第十二條　本校ノ事務ニシテ所屬不明ノモノアリタル場合ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ其所屬ヲ定ム

第十三條　本校ノ事務中例規ニ關スル事項ハ必ス庶務課ニ回議スヘシ

第十四條　次ノ事項ハ各課ニ於テ分掌スヘシ

1. 其ノ課ニ屬スル細則制定改廢ニ關スルコト
2. 年中行事ヲ作製スルコト
3. 其ノ課記錄ニ關スル事項

4. 其ノ課所屬ノ文書起案並文書帳簿整理保存ニ關スル事項
5. 其ノ課員ノ事務分掌
6. 前各號以外ノ其ノ課ニ屬スル一般事務

第二節　事務分掌

第十五條　科長ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 其ノ學科ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置
2. 其ノ學科工場ニ關スル事項
3. 機械、器具、圖書、標本等諸設備ニ關スル事項
4. 卒業者就職ニ關スル事項

第十六條　學科目主任ノ擔任スヘキ事務ノ要項次ノ如シ

1. 其ノ學科目ノ統一進歩ノ爲メ必要ナル處置
2. 教授要目ニ關スル事項
3. 授業分擔ニ關スル事項
4. 機械、器具、圖書、標本等諸設備ニ關スル事項

第十七條　各教官ノ擔任スヘキ教育事務要項次ノ如シ

1. 生徒ノ操行勤惰成績等ニ關スル事項
2. 其ノ他生徒教養ニ關スル一切ノ事項（生徒ノ訓育ニ關シテハ生徒主事ト協力スルコト）

第十八條　生徒主事ノ擔任スヘキ事務要項次ノ如シ

1. 學生訓育ノ統一ニ關スル事項
2. 學生課ノ事務管理
3. 其他學生訓育ニ關スル一切ノ事項

第十九條　庶務課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
2. 學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
3. 校旗ニ關スル事項
4. 職員以下ノ進退身分及服務ニ關スル事項但シ傭人ノ進退ハ學校長ノ特ニ命シタル委員ノ詮議ニ依ラシムルコトアルヘシ
5. 文書ニ關スル事項

6. 諸規程內規ニ關スル事項
7. 校報ニ關スル事項
8. 儀式ニ關スル事項
9. 諸會議ニ關スル事項但シ議事ノ內容ニヨリ各課ニ分掌セシム
10. 統計、年報、一覽及官報報告等ニ關スル事項
11. 寄贈願處理ニ關スル事項
12. 參觀人ニ關スル事項但シ視察事項ニツキ各課ニ分屬セシム
13. 在外研究員ニ關スル事項
14. 諸證明書ニ關スル事項
15. 諸記錄ニ關スル事項
16. 宿直ニ關スル事項
17. 警備並非常手配等ニ關スル事項
18. 他課ニ屬セサル一切ノ事項

庶務課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ庶務課報告ヲ作製シ供閱ニ附スヘシ

第二十條　會計課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 歲入歲出豫算、決算及出納ニ關スル事項
2. 資金ニ關スル事項
3. 國有財產ノ管理及營繕ニ關スル事項
4. 物品ノ購買及修理ニ關スル事項
5. 不用物品ノ處分ニ關スル事項
6. 物品ノ出納及保管ニ關スル事項
7. 給水、瓦斯、煖房、電燈及電話ニ關スル事項
8. 人夫ノ傭入ニ關スル事項
9. 校地校舍ノ清掃保全ニ關スル事項
10. 寄贈金品ニ關スル事項

支出官印ハ學校長又ハ其委任者之ヲ保管ス

第二十一條　教務課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 學科課程並ニ教授要目ニ關スル事項
2. 教官ノ授業分擔及授業時間割ニ關スル事項
3. 教室及教具ノ設備ニ關スル事項

4. 教科書、參考書並教授用印刷物ニ關スル事項
5. 授業及休業ニ關スル事項
6. 學生ノ學籍及兵役ニ關スル事項
7. 學生ノ學業成績並進級及卒業ニ關スル事項
8. 學生募集並入學ニ關スル事項
9. 試驗問題及答案ニ關スル事項
10. 成績證明及在學證明ニ關スル事項
11. 修學旅行及研究派遣ニ關スル事項
12. 校外實習ニ關スル事項
13. 講習會等ニ關スル事項
14. 卒業者ニ關スル事項

教務課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ教務課報告ヲ作製シ供閱ニ附スヘシ

第二十二條　學生課ニ於テ掌理スル事務ノ要項次ノ如シ

1. 學生ノ訓育並風紀取締ニ關スル事項
2. 學生心得及服制ニ關スル事項
3. 學生ノ勤怠賞罰ニ關スル事項
4. 學生乘車船割引券並學生身分證明ニ關スル事項
5. 體育並衞生ニ關スル事項
6. 學生ノ集會ニ關スル事項
7. 學生ノ貸費給費ニ關スル事項
8. 學生ノ退學及休學ニ關スル事項
9. 學生ノ諸願伺及屆書ニ關スル事項
10. 學級總代ニ關スル事項
11. 拾得物及遺失物等ニ關スル事項
12. 學生ノ宿所ニ關スル事項
13. 其他學生ニ關スル一切ノ事項

學生課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ學生課報告ヲ作製シ供閱ニ附スヘシ

第二十三條　圖書課ニ於テ掌理スル主ナル事務ノ要項次ノ如シ

1. 購入圖書ノ審査並檢查ニ關スル事項
2. 圖書ノ保管整理出納ニ關スル事項

3. 圖書臺帳並目錄ニ關スル事項
4. 書庫閱覽室ニ關スル事項
5. 圖書閱覽及貸付ニ關スル事項
6. 寄贈圖書ニ關スル事項
7. 圖書印ノ保管ニ關スル事項

圖書課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ圖書課報告ヲ作製シ供覽ニ附スヘシ

第二十四條　調査計畫課ニ於テ掌理スル主ナル事務ノ要項次ノ如シ

1. 各課ノ事務連絡、統一、進歩ノ爲必要ナル處置
2. 調査、研究資料ノ蒐集整理ニ關スル事項
3. 調査、研究、計畫等ノ發表報告ニ關スル事項
4. 新事業ノ計畫ニ關スル事項

調査計畫課ハ別ニ定ムル樣式ニ依リ調査計畫課報告ヲ作製シ供閱ニ附スヘシ

第二十五條　學校醫ノ掌理スル事務ノ事項次ノ如シ

1. 學校醫ノ職務ニ關シテハ「學校醫ノ資格及職務ニ關スル規程」第二條乃至第十條ヲ準用ス但シ本規程ニ別段ノ定メアルモノハ此限リニアラス
2. 學校醫ハ每週一回教授時間內ニ出校シ衛生事務ヲ視察スヘシ其他學校長ヨリ請求アリタルトキハ臨時出頭執務スヘシ
3. 學校醫ハ入學志願者ノ身體檢査ヲナスヘシ
4. 學校醫ハ學校長ノ要求アリタル場合ハ職員學生傭人等ノ病症ニ對シ之ヲ診察シ又ハ診斷書ヲ作製スヘシ

第二十六條　各課備付重要帳簿ハ時々學校長ノ檢閱ヲ受クヘシ

8. 文書處理規程（大正十三年四月制定）

第一條　學校宛又ハ學校長宛ノ公文書ハ庶務課ニ於テ接受開封シ文書番號簿ニ登錄シ收受ノ番號及年月日ヲ記入ノ上直ニ各部局ニ配付スヘシ

第二條　收受シタル文書ハ各部局ニ於テ審議調査ノ上處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ受クヘシ

第三條　回議書ハ一定ノ紙ヲ用フヘシ但シ事ノ輕易ナルモノハ回議書ニ依ラス本書ノ餘白ニ文案ヲ朱記シ決裁ヲ受クルコトヲ得

第四條　他課ニ關係スル文書ハ其ノ課ニ合議又ハ回覽スヘシ

第五條　決裁ヲ要セサル文書ハ學校長ノ閱覽ニ供スヘシ

第六條　學校長ニ提出ヲ要スル決裁濟ノ文書ハ淨寫竣合シ其ノ回議書ヲ添ヘ庶務課ニ送付スヘシ

第八條　凡テ發送ヲ要スル文書ハ庶務課ニ於テ文書番號簿ノ番號ヲ付シテ發送ノ手續ヲナシ回議書ニ施行月日及番號ヲ記入シテ主務課ニ返付スヘシ

第九條　同一事件ノ往復文書ハ必ス合綴シ始終同一番號ヲ用フヘシ

第十條　機密ニ屬スル文書ノ取扱ハ本規程ニ依ラサルコトアルヘシ

第十一條　發送又ハ收受ノ文書中指令又ハ回答等ヲ要セサルモノハ庶務課ニ於テ文書番號簿ニ「發切」又ハ「受切」ト記シテ其ノ區別ヲ明カニスヘシ

第十二條　處分濟ノ文書ハ各主務課ニ於テ之ヲ類別シ各類每ニ年月日ノ順ヲ追ヒ之ヲ編綴保存スヘシ但シ文書保存期限ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

9. 職員服務規程 (大正十三年四月制定)

第一條　本校ノ執務時間ハ官廳執務時間ニ依ル但シ教官及之ニ準スル者ニツイテハ學校長別ニ之ヲ定ム

第二條　病氣其他ノ事故ニ依リ遲刻又ハ缺勤セントスルモノハ出勤時刻前ニ其旨届出ツヘシ尚缺勤七日以上ニ渉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

父母ノ祭日ニ休暇ヲセントスルモノハ其前日迄ニ届出ツヘシ

第三條　賜暇ヲ受ケントスルモノハ事由日時ヲ詳記シ旅行セントスルモノハ事由日限及行先地ヲ具シ豫メ許可ヲ受クヘシ

第四條　出張ヲ命セラレタルモノハ出發及歸校ノ際其旨届出ツヘシ

第五條　新任者ハ本校所定ノ用紙ニ履歷書並ニ現住所及原籍届ヲ庶務課ニ差出スヘシ

現住所並原籍ニ變更ヲ生シタル場合亦同シ

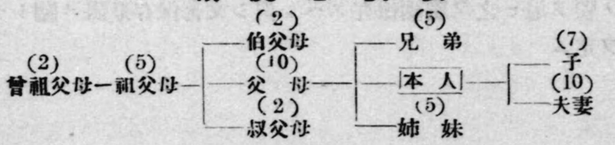
第六條　官廳其他ヨリ本校ヲ經由セスシテ直接ニ辭令ヲ受ケタルトキ其他履歷ニ關スル變動アルトキハ其都度學校長ニ届出ツヘシ

第七條　他ノ囑託ニ應セントスルモノハ豫メ學校長ノ承認ヲ經ヘシ尚一定ノ報酬ヲ受クル場合ハ學校長ヲ經テ文部大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第八條　本校ニ非常アル場合ハ直ニ出校スヘシ

第九條　本規程ニ依リ學校長ニ差出スヘキ文書ハ總テ庶務課ヲ經由スヘシ

職員忌引表



本表ニ於ケル父母トハ實父母、養父母、繼父母ノ意ニシテ配偶者ノ父母ハ五日トス

10. 傭人規程 (大正十三年四月制定 昭和三年十月改正)

第一章　總則

第一條　傭人ハ庶務課監督ノ下ニ各所屬上司ノ指揮ヲ受ケ職務ニ從事スヘシ

第二條　毎朝出勤シタルトキハ直チニ出勤簿ニ捺印スヘシ

第三條　疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ依リ缺勤セントスルトキハ出勤時間前ニ其ノ旨届出ツヘシ又同樣ノ事由ニ依リ勤務時間中退出セントスルトキハ所屬上長ニ申シ出テ許可ヲ受クヘシ

第四條　勤務中ハ制服ヲ支給セラレタルモノハ之ヲ着用シ容儀ヲ正シクシ禮節ヲ重シ人ニ接スルニ丁寧懇切ヲ旨トスヘシ

第五條　已ムヲ得サル場合ノ外ハ詰所ニ他人ヲ導クヘカラス

第六條　傭人ノ勤務時間ハ別ニ定メアルモノヽ外午前七時三十分ヨリ午後五時迄トス但シ公務繁劇ノ場合ハ此ノ限ヲニアラス

第七條　次ノ日ニハ特別ノ校用ナキ場合ニ限リ休暇スルコトヲ得

1. 休　日　(祝日及祭日)
2. 休暇日　(日曜日、一月一日ヨリ三日迄十二月二十九日ヨリ三十一日迄)

第八條　父母、配偶者、子及同一戸籍內ニアル祖父母、兄弟姉妹死亡ノ際ハ忌引ヲ與フ、其ノ忌引日數ハ次ノ通リトス

父母、配偶者、子　五日以內
同一戸籍內ニアル祖父母、兄弟姉妹　三日以內

第九條　普通携帶品ニアラサル物品ヲ所持シ出門セントスルトキハ所屬上司ヨリ出門證ヲ受ケ之ヲ門衛ニ差出スヘシ

第十條　非常若クハ近火ノ際ハ非番ノモノト雖モ直ニ出校シ係員ノ指揮ニ從フヘシ

第十一條　傭人ノ給料ハ月給者ヲ除キ前月十六日ヨリ其ノ月十五日迄ノ分ヲ定日ニ支給ス但シ三月十六日ヨリ同末日迄ノ分ハ本條

規程ニ拘ラス便宜支給スルモノトス

第十二條　新ニ傭入ノ際ハ出勤ノ日ヨリ起算シ增給減給ノ際ハ其ノ翌日ヨリ起算シ解傭ノ際ハ發令ノ日迄日割計算ヲ以テ日給ヲ支給ス

第十三條　次ノ場合ニハ日給ノ全額ヲ支給ス

1. 休日及休暇日、但シ本條各號ノ何レニモ該當セサル事故ニ因リ休日及日曜日ノ前後引續キ缺勤シタルトキハ之ヲ支給セス
2. 忌引ニ因ル缺勤日
3. 徵兵檢查又ハ簡閱點呼ノ當日
4. 職務ニ基因スル傷疾病ニ因ル缺勤日（但シ傭人扶助令ニ依リ扶助料ヲ受ケタルトキハ此限リニアラス）
5. 校務ニ係ル事件ニ付官署ニ召喚セラレタル當日
6. 暑中休暇中期間ヲ定メテ與ヘラレタル休暇日

第十四條　軍籍ニアル者召集セラレタル場合ニ於テハ明治三十七年九月勅令第二〇六號ニ準シ之ヲ取扱フモノトス但シ本條ノ規程ハ除隊後引續キ勤務スル者ニ限リ之ヲ適用ス

第十五條　傳染病豫防ノ爲メ交通ヲ遮斷セラレ出勤シ能ハサルモノニハ一般休日ニ準シ日給ヲ支給ス

第十六條　業務上死傷シタル者ニハ大正七年勅令第三八二號傭人扶助令ニ依リ相當ノ扶助料ヲ支給ス

第十七條　校外ニ執業ヲ命シタルトキハ詮議ノ上旅費ヲ支給スルコトアルヘシ

第十八條　次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ其ノ情狀ニ依リ譴責減給又ハ解傭ニ處ス但シ第二號ニ該當スルモノニハ損害ノ全部若クハ一部ノ辨償ヲ命スルコトアルヘシ

1. 規則命令ヲ遵守セサルモノ
2. 故意又ハ不注意ニヨリ校舍ヲ汚損シ若クハ機械器具材料等ヲ毀損シ又ハ亡失シタルモノ
3. 素行不良ナル者
4. 職務ニ怠慢ナル者

第十九條　必要ト認ムルトキハ學校醫ヲシテ身體檢查ヲ爲サシムルコトアルヘシ

第二十條　傭人ニ採用セラレタル際ハ速ニ誓約書並戸籍謄本ヲ庶務課ニ提出スヘシ

第二章　巡　　視

第二十一條　巡視ハ校丁及臨時傭人ヲ指揮シ校內一般ノ取締ニ任ス

第二十二條　巡視ノ勤務事項次ノ如シ

1. 校門開閉
2. 校門出入者監視
3. 校舍內外巡視警戒
4. 戸締注意
5. 防　　火
6. 非常用具類ノ整理
7. 國旗校旗揭場
8. 臨時傭人ノ監督
9. 其他特ニ命セラレタル事項

第二十三條　校門ノ開閉ハ次ノ時限ニ依ルヘシ

正門	平日	開扉	午後六時（休業日ニハ脇門ノミ開扉ス）
		閉扉	午後五時
	土曜日	同	午後二時
脇門	正門閉扉後開扉シ午後十時閉扉スルコト		
西門	開扉	午前七時四十五分ヨリ同八時二十分迄及放課時限ヨリ三十分間	
		休業日ニハ開扉セス	

第二十四條　巡視ハ順番ヲ定メテ當直勤務ヲ爲スヘシ其ノ勤務時間ハ午後五時ヨリ翌日午前八時三十分迄トス但シ休業日ニアリテハ午前八時ヨリ翌日午前八時三十分迄トス

第二十五條　出入者ニシテ疑フヘキ者ナリト認ムル場合若クハ普通携帯品ニ非スト認ムヘキ物品ヲ携ヘ出門セントスルモノアルトキハ庶務課員又ハ當宿員ニ申シ出テ指揮ヲ受クヘシ

第二十六條　煖爐、瓦斯及火鉢ヲ用フル場所ハ殊ニ火ノ元ヲ警戒シ職員學生ノ退出後之カ檢査ヲ行ヒ更ニ一時間ヲ經テ當直員立會ノ上再檢査ヲ爲スヘシ

第二十七條　勤務時間中ハ所定ノ時刻ニ於テ校舍內外ヲ巡檢スヘシ

第二十八條　校舍內外巡檢ノ際ハ常ニ校地、校舍、水路等掃除ノ良否及修繕ヲ要スル箇所ノ有無ニ注意シ殊ニ便所、タン壺、紙屑入等ノ掃除ニ注意スヘシ

第三章　受　　付

第二十九條　受付ノ勤務事項次ノ如シ

1. 受付ハ勤務時間中受付所ニ在リテ次ノ事項ヲ取扱フモノトス
   - 校內出入者ノ取締
   - 來客ノ取次
   - 到達シタル文書物品ノ受領
   - 電話外線ノ交換
2. 到達シタル文書ハ總テ之ヲ庶務課ニ送達スヘシ
3. 外來客ニ對シテハ常ニ懇切ヲ旨トシ名刺ヲ受取用向キヲ尋ネタル上庶務課ニ申出テ指揮ヲ受クヘシ
4. 電話交換ニ關シテハ聽取シタル事項ニ付一切他ニ漏洩スルコトヲ得ス
5. 電話交換ニ關シテハ特ニ用語ヲ愼重明晰ニスヘシ

第四章　給　　仕

第三十條　給仕ハ各指定セラレタル所ニ於テ勤務スヘシ

第三十一條　給仕ノ勤務事項次ノ如シ

1. 外來者ノ取次
2. 郵便物ノ配付
3. 新聞ノ整理
4. 食堂ノ掃除及食事ノ設備ヲナスコト
5. 每日職員出勤前ニ於テ各受持室內ノ掃除ヲ爲スコト
6. 其他特ニ命セラレタル事項

第五章　校　　丁

第三十二條　校丁ハ校舍內外ノ雜役ニ從事スヘシ

第三十三條　校丁ハ順番ヲ定メテ當直勤務ヲ爲スヘシ、其ノ勤務時間ハ午後五時ヨリ翌日午前八時迄トス但シ休業日ニアリテハ午前八時ヨリ翌日午前八時迄トス

當直者ハ夜中一回以上校舍ノ內外ヲ巡視スヘシ

第三十四條　校丁勤務事項次ノ如シ

1. 校地校舍ノ掃除並除雪
2. 窓戶ノ開閉及戶締
3. 湯水及燃料等ノ配給
4. 校外ヘノ使
5. 其他特ニ命セラレタル事項

第三十五條　火ノ取扱ニ關シテハ最モ嚴重ニ注意シ苟モ疎漏ノ所爲アルヘカラス

第六章　工　　手

第三十六條　工手及見習工手ハ工場內ニ於テ實務ニ從事スヘシ

第三十七條　勤務時間ハ午前七時五十分ヨリ午後四時三十分迄トス

第三十八條　業務ノ都合ニ依リ規定就業時間外又ハ休業日ト雖特ニ就業ヲ命スルコトアルヘシ

第三十九條　勤務中心得ヘキ事項次ノ如シ

1. 所屬上司ノ指揮ヲ受ケ忠實ニ業務ニ從事スルコト
2. 所屬上司ノ命ニアラサレハ何人ノ依頼ニモ應セサルコト
3. 機械、器具其ノ他ノ物品ヲ丁寧ニ取扱ヒ工場内ヲ清潔ニスルコト
4. 喫煙及食事等ハ所定ノ場所以外ニ於テ爲サヽルコト

第四十條　每土曜日ニハ大掃除ヲ爲シ所屬上司ノ檢査ヲ受クヘシ

第四十一條　自己ノ都合ニ依リ遲參シ又ハ早退シタルトキハ其ノ時間（一時間未滿ノ端數ハ之ヲ一時間トス）ニ對スル時間給ヲ減給ス上ノ時間給ハ一時間ニ付日給ノ十分ノ一ニ相當スル金額トス
規定就業時間以外ノ就業ニ對シテハ一時間ニ付日給ノ八分ノ一ヲ支給スルコトアルヘシ
規定就業時間以外ニ於ケル就業時間ハ所屬上司ニ於テ調査シ翌日庶務課ニ報告スルモノトス

第四十二條　就業中負傷シ早退ノ許可ヲ受ケタル者ニハ當日ノ日給全額ヲ支給ス

第四十三條　工場服ハ之ヲ支給若クハ貸與スルコトアルヘシ

第四十四條　本章ハ臨時傭人ノ工手ニモ之ヲ準用ス

11. 科學工業博物館職員規程（大正十五年十二月制定）

1. 科學工業博物館ニ次ノ職員ヲ置ク

主　　事	一	名
館　　員	若干	名
委　　員	若干	名
理　　事	若干	名

2. 主事ハ敎授中ヨリ學校長之ヲ命ス
主事ハ學校長ノ命ヲ受ケ館務ヲ掌理ス
3. 館員ハ書記又ハ雇員中ヨリ學校長之ヲ命ス
館員ハ主事ノ命ヲ受ケ館務ニ從事ス
4. 委員ハ敎官中ヨリ學校長之ヲ命ス
委員ハ館務遂行上主事ヲ輔佐ス
委員會ノ會議ハ主事之ヲ開キ議案ヲ提出スルモノトス但シ委員ノ意見アルトキハ之ヲ議案トナスコトヲ得
5. 理事ハ評議員中ヨリ學校長之ヲ命ス
理事會ハ學校長之ヲ召集シ博物館ノ事業、施設、方針等重要ナル事項ニ關シ審議スルモノトス

12. 物品會計細則 (大正十三年四月制定)

第一章 總 則

第一條 本校所屬物品ノ保管出納ハ總テ物品會計規則並文部省直轄學校物品會計規程ニ基キ本細則ニ依リ處理スヘシ

第二條 物品ヲ大別シテ備品、消耗品ノ二種トシ更ニ備品ヲ分チテ普通用備品、學術用備品トシ消耗品ヲ分チテ普通用消耗品、實驗用消耗品トス其ノ區分ハ性質及用法ニ依リ學校長之ヲ定ム

第三條 各部局ニ物品監守者及物品取扱主任ヲ置キ備品ノ監守及消耗品取扱ノ責ニ任セシム

第四條 各部局ニ於ケル物品監守者ノ監守區域ハ別ニ之ヲ定ム

第二章 出納及保管

第五條 物品ノ出納科目ヲ定ムル事次ノ如シ

1. 備 品

受入科目 買入、生產、保管轉入、寄贈、戻入

拂出科目 賣却、生產、亡失、毀損、保管轉出、贈與、出品

1. 消 耗 品

受入科目 買入、生產、保管轉入、寄贈

拂出科目 消耗、賣却、生產、亡失、毀損、保管轉出、贈與

第六條 物品ノ出納ハ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ執行ス

第七條 各部局ニ於ケル所要物品ハ品目數量及所要ノ事由ヲ明記シタル請求書ヲ當該主任ヨリ會計課ニ差出スヘシ

第八條 前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ新ニ購入ヲ必要トスルモノハ學校長ノ決裁ヲ經テ購買ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 各部局ニ於テ學術用器具機械ノ製作及修理ニ就キ特

殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇スルノ必要アルトキハ圖面及仕樣書並當業者ノ氏名ヲ記載シタル書面ヲ添付シ會計課ニ差出スヘシ

第十條 物品會計官吏物品ヲ受入レタルトキハ直ニ番號ヲ附スヘシ

第十一條 消耗品ハ會計課ニ於テ一ケ年ノ所要高ヲ豫定シ一回若クハ數回ニ取纏メ購入ヲ爲シ之ヲ倉庫若クハ適當ノ場所ニ藏置シ各部ノ請求ニ應シ支給ノ手續ヲナスヘシ

第十二條 物品監守者ハ備品監守簿、物品取扱主任ハ消耗品受拂簿ヲ備付ケ物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ登記シ請求書ニ受領ノ印ヲ押捺シ受授ノ手續ヲナスヘシ

第十三條 物品ノ出納命令及其他請求及支給ニ關スル樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條 物品ノ自然ニ破損シ修理及不用ニ屬シタル物品ハ各監守者ニ於テ會計課ニ修理請求又ハ返納ノ手續ヲナスヘシ

物品會計官吏ハ之ヲ調査シ修理使用ニ堪フルモノハ修理交付シ不用ニ屬シタルモノハ決裁ヲ經テ之ヲ處理スヘシ

第十五條 不用品及製產品ノ賣却等ノ執行ハ成規ニ依ル但シ賣却シタル物品ノ代價徵收ノ後ニアラサレハ引渡スコトヲ得ス

第十六條 物品會計官吏保管ノ物品ヲ毀損亡失シタルトキハ學校長ハ事實ヲ審査シ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第十七條 物品監守者ハ常ニ其ノ監守物品ノ保管ニ注意シ時々帳簿ニ對照シ點檢スヘシ

若シ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキハ速ニ其實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作リ物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第十八條 學校長ハ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ其事實ヲ審査シ其監督ヲ怠リ或ハ放意怠慢ニ出ツルト認メタルトキハ相當ノ處分ヲナスヘシ

第三章 檢閲

第十九條　學校長ハ物品檢閲委員長一名委員若干名ヲ學校職員中ヨリ設ケ毎年一回以上物品ノ保管使用並消費上ノ適否ヲ檢査セシム

第二十條　物品檢閲委員長ハ檢閲委員ヲ監督シ檢閲事務ヲ處理スヘシ但シ學校長ノ許可ヲ受ケ各部ヨリ物品檢閲補助員ヲ命スル事ヲ得

第二十一條　物品檢閲委員ノ檢閲スヘキ要項次ノ如シ

1. 物品保管ノ適否
2. 物品使用ノ適否
3. 消耗品消費ノ適否
4. 帳簿ノ點檢及殘存物品ノ調査
5. 物品缺損ノ有無
6. 其他必要事項

第二十二條　物品檢閲ノ際ハ在庫品ニ就テハ物品會計官吏、使用中ノ物品ニ就テハ物品監守者又ハ物品取扱主任其席ニ列シ檢閲委員ノ質問ニ答フヘシ

第二十三條　物品ノ檢閲ヲ了シタル時ハ檢閲委員長ハ檢閲ノ狀況ヲ詳具シ學校長ニ申報スヘシ

第四章 諸帳簿

第二十四條　物品會計官吏ハ物品ノ出納ヲ明確ニスル爲メ次ノ帳簿ヲ設クヘシ

1. 備品出納簿

本簿ヲ大別シテ普通用備品出納簿、學術用備品出納簿トス

2 消耗品出納簿

本簿ヲ大別シテ普通用消耗品出納簿、學術用消耗品出納簿トス

第二十五條　物品監守者及物品取扱主任ハ物品ノ出納保管ヲ明確

ニスル爲メ次ノ帳簿ヲ設クヘシ

1. 備品監守簿
2. 消耗品受拂簿

第二十六條　本則ニ依ル諸帳簿類ノ樣式ハ別ニ之ヲ定ム

第二十七條　圖書ノ出納ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

13. 試驗、分析、鑑定及加工規程（大正十五年十一月制定）

第　一　條　本校ハ教育上便益アリト認ムルモノニ對シテハ試驗分析、鑑定（鑛物、岩石等）及加工ノ依頼ニ應スルコトアルヘシ

第　二　條　依頼者ハ別紙書式ニ依ル依頼書ヲ提出スヘシ

第　三　條　試驗、分析及鑑定依頼者ハ手數料ヲ、加工依頼者ハ加工費ノ十分ノ二ノ內金ヲ前納スヘシ、手數料並ニ加工費ハ本校ニ於テ其都度之ヲ定ム

一旦納付セル手數料並ニ加工費ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第　四　條　教育上特ニ有益ナリト認メタル場合ハ手數料ヲ免除スルコトアルヘシ

第　五　條　試驗、分析、鑑定ヲ終了シタルトキハ證明書ヲ交付ス之カ複本ヲ請求スルトキハ紙數一枚ニ付金二十錢ノ手數料ヲ納付スヘシ

第　六　條　試驗、分析、及鑑定ノ爲メ差出シタル現品ハ之ヲ還付セス但シ豫メ申出アリタル場合ハ還付スルコトアルヘシ

第　七　條　加工品竣製ノ通知ヲ受ケタルトキハ一週間以內ニ代金完納ノ上現品ヲ引取ルヘシ

第　八　條　前條期間內ニ代金ヲ完納セサルトキハ契約ヲ解除シ現品並內金ヲ學校ノ所得トス

第　九　條　加工材料ニシテ當校ニ保管中、天災、火災、其ノ他不可抗力ニ因ル損失ハ依頼者ノ負擔トス、但シ其ノ損失ノ加工後ニ生シタルトキ之カ加工費ノ損失ハ學校ノ負擔トス

（細則ハ別冊ニ印刷ス）

14. 圖書館規程（大正十三年四月制定）

第　一　條　本校圖書ハ文部省直轄各部物品會計規程ニ基キ之ヲ處理スヘシ

第　二　條　本校所屬ノ圖書ハ凡テ書庫ニ收藏ス

第　三　條　圖書館ニハ別ニ定ムル規程ニヨリ他ノ委託ニ係ル圖書ヲ保管ス

第　四　條　次ノ圖書ハ凡テ本校所屬ノモノト同一ノ取扱ヲナス

1. 本校名義ヲ以テ他ヨリ借入レタル圖書
2. 委託保管ノ圖書
3. 各學科各教室又ハ各課ニ於テ寄附受領シタル圖書

第　五　條　教授上及事務上特ニ必要ナル圖書ハ特別ノ場所ニ備置クコトヲ得

第　六　條　前條ノ圖書ニ關シテハ當該各科課各教室ニ於テ其責ニ任スル保管者ヲ定ム

第　七　條　本校職員、研究生、學生及第三條ノ圖書委託者其他學校長ノ許可ヲ得タルモノハ別ニ定ムル規程ニヨリ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第　八　條　本校職員、研究生、學生ハ別ニ定ムル規程ニヨリ圖書ヲ借受クルコトヲ得

第　九　條　圖書ノ出納及圖書館ノ事務ハ圖書課ニ於テ取扱フモノトス

第　十　條　總テ圖書ハ次ノ如ク整理スヘシ

1. 購入ニ係ルモノハ圖書課ニ於テ數量及落丁ノ有無ヲ檢シ圖書原簿ニ登錄スルモノトス
2. 寄贈ニ係ルモノハ圖書課ニ於テ名稱、數量、價額若クハ評價ヲ付シ會計課ト合議ノ上圖書原簿ニ登錄スルモノトス
3. 各科課教室ニ備付ノ爲メニ貸付シタル圖書ハカード又ハ帳簿等ニ當該場所ヲ記シ圖書保管者ノ領收印ヲ徵シテ其ノ所在、種類、數量等ヲ明瞭ナラシムルモノトス

圖書貸付規程

第　一　條　本校所屬ノ圖書ハ圖書課員ノ外取扱ヲナスコトヲ得ス

第　二　條　教官ハ公務上必要ノ場合ハ掛員ノ承諾ヲ得テ書庫ニ入リ檢索スルコトヲ得

第　三　條　圖書貸付ノ方法ハ次ノ三種トシ借受者ヲ以テ責任者トス

1. 圖書館規程第五條ニヨリ特別ノ場所ニ備置クモノヲ備付圖書トス
2. 圖書館規程第七條ニヨリ閱覽室ニ於テ見ル爲貸與スルモノヲ閱覽圖書トス
3. 圖書館規程第八條ニヨリ貸付ケタルモノヲ貸出圖書トス

第　四　條　次ノ圖書ハ備付又ハ貸出圖書トシテ借受クルコトヲ得ス

1. 貴重圖書
2. 閱覽圖書トシテ缺クヘカラサルモノ
3. 貸出圖書トシテ同一圖書一部以上
4. 其他圖書課ニ於テ指定シタル圖書

第　五　條　備付及貸出圖書ハ次ノ部數ヲ限リ借受クルコトヲ得

備付圖書	各科課各教室	若　干　部
貸出圖書	教授、助授教、講師	十部以內　（一ケ月）
同	其他職員及研究生	五部以內　（一ケ月）
同	學生ハ（三日間）二部二冊以內、長期休暇中ハ三部三冊以內	

第　六　條　圖書ノ幅又ハ帙ヲナスモノハ一個ヲ以テ一部ト認メ逐次刊行書ハ一完冊ヲ了スルマテノ若干號ヲ合セテ一部トス

第　七　條　圖書ヲ借受ケントスルモノハ圖書課ニツキ所定ノ手續ヲナスヘシ

第　八　條　借受ケタル圖書ハ之ヲ他ニ轉貸スルコトヲ得ス

第　九　條　借受ケノ圖書ハ毎年七月五日マテニ悉ク返納スルモノトス

前項期限ノ外必要ニ應シ臨時返納セシメ又ハ點檢スルコトアルヘシ

第　十　條　借受ケタル圖書ヲ紛失毀損又ハ汚染シタルトキハ其損害ノ程度ニ依リ同一ノ圖書ヲ以テ之ヲ償ハシメ或ハ之ヲ修繕セシム但シ時宜ニヨリ代金ヲ以テ償ハシムルコトアルヘシ

第十一條　職員休職、退職、轉任又ハ海外渡航ノ場合及研究生學生、休學、退學又ハ卒業等ノ爲學校ヲ去ルニ當リ其借受ノ圖書ハ直チニ返納スルモノトス

圖書閱覽規程

第　一　條　圖書閱覽室ハ學校休日及臨時閉鎖ノ必要アル場合ノ外次ノ時間內之ヲ開ク

午前八時ヨリ午後四時マテ但シ土曜日ハ午後一時三十分マテトス

第　二　條　圖書館規程第七條ニヨリ圖書ヲ閱覽シ得ル者ニハ毎學年ノ始メニ於テ圖書閱覽票ヲ交附ス

第　三　條　圖書ヲ借覽セントスルモノハ所定ノ用紙ニ相當ノ事項ヲ記入シ閱覽票ヲ添ヘテ掛員ニ差出スヘシ但シ本校職員ハ閱覽票ヲ要セス

第　四　條　借覽ノ圖書ハ閱覽室外ヘ携出スルヲ得ス

第　五　條　閱覽室內ニアリテハ喫煙、音讀、談論、雜話、放歌等總テ他ノ閱覽者ノ妨害トナル擧動ヲ禁ス

第　六　條　借覽ノ圖書ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ其損害ノ程度ニヨリ辨償又ハ修繕セシム

第　七　條　閱覽室內ニテハ圖書課員ノ命ニ從フモノトス

委託圖書取扱規程

第　一　條　閱覽ニ供スル目的ヲ以テ一ケ年以上本校圖書館ニ保管ヲ委託セントスル者ハ其書目、著者名、價額及員數等ヲ詳記シ學

校長ノ許諾ヲ經ヘシ

第 二 條 委託者前條ノ許諾ヲ得タル時ハ該圖書ヲ圖書館ニ送致シ其受託證ヲ受クヘシ

第 三 條 委託圖書ハ其見易キ部ニ委託者ノ捺印有ルヲ要ス

第 四 條 委託圖書ハ本校所蓄ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスト雖モ本校圖書ニ關スル規程ニ差支ナキ限リニ於テ委託者ノ希望ヲ容ルルコトヲ得

第 五 條 圖書課主任ハ本校物品會計規程ニ準シ委託圖書出納簿及監守簿ヲ設ケ委託圖書保管ノ責ニ任スヘシ

第 六 條 委託圖書ハ火災、盜難其他避クヘカラサル災害ニ罹リ損失ヲ來スコトアリトモ一切之ヲ辨償セス

第 七 條 委託圖書ハ圖書貸付規程第三條ニヨル備付圖書又ハ貸出圖書トスルコトヲ得ス

15. 非 常 心 得 (大正十三年四月制定)

第 一 條 本校ニ於テ失火若クハ近火等非常事變ノ際ハ直チニ庶務課若クハ宿直員ニ急報スヘシ但シ危急ノ場合ニ於テハ發見者先ツ警報ヲ疾呼シ又ハ號鐘ヲ亂打スヘシ

第 二 條 庶務課員若クハ宿直員ハ前條ノ報ニ接シタルトキハ遲滯ナク次ノ處置ヲナスヘシ

1. 號鐘ヲ亂打シ非常ヲ報シ消防署ヘ急報スルコト
2. 休日又ハ退廳後ニアリテハ直ニ學校長及各係長ヘ電話又ハ其他ノ方法ヲ以テ急報シ他ノ職員一同ヘモ可成同樣ノ處置ヲ執ルヘシ

第 三 條 職員生徒及傭人ハ本校出火若クハ近火ノ場合ハ直チニ駈付ヘシ

第 四 條 非常手配トシテ次ノ係ヲ置ク

警備係、防火係、運搬係

各係ニ長一名副長若干名係員若干名ヲ置ク其ノ部署ハ每年四月之ヲ定ム

第 五 條 非常ノ際ハ本部ヲ設ケ學校長及各係長ノ所在ニ之ヲ置ク

第 六 條 警備係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1. 金庫ノ警護ニ任スルコト
2. 非常本部ノ位置ヲ定メ標燈又ハ標旗ヲ樹ツルコト
3. 夜間ニハ廊下事務所其他必要ノ場所ニ點燈スルコト
4. 構內ヲ巡邏シテ盜難ヲ警戒スルコト
5. 見舞人應接ノ任ニ當リ其ノ氏名ヲ錄スルコト
6. 搬出物品ヲ監守スルコト
7. 各部聯絡傳令ヲ司ルコト

第 七 條 防火係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1. 非常事變ニ際シ第一線ノ任務ニ服スルコト
2. 防火具ヲ使用シ專ラ消防ニ從事スルコト

第 八 條 運搬係ハ次ノ事項ヲ擔任スヘシ

1. 書類校具ヲ安全ノ場所ニ搬出スルコト但シ非常持退ノ記號アルモノヲ先ニスルコト

第 九 條　係員不在又ハ少數ノ場合ハ各自臨機應援消防ニ從事スヘシ

第 十 條　次ノ非常用具ハ各係長ニ於テ夫々之ヲ整頓保管シ、ポンプ其ノ他器具類ハ時々之ヲ點檢使用シ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

1. 常ニ防火用具ヲ整理シ一定ノ場所ニ備付ケ之レカ使用並ニ備付場所ヲ校內一般ニ豫知セシムルコト
2. ポンプ、消火器、梯子、消火栓用ホース及筒先、斧、鋸、大槌
3. 消火器、消火用水、消火用砂ハ各建物內適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ
4. 運搬用具（擔架、荷車、其他）
5. 消火器ニハ藥品充塡ノ年月日及有効期間ヲ記シ有効期日ノ滿タサル前ニ藥品ノ充塡換ヲ爲スヘシ
6. 各係長ハ協議ノ上時々消火器ノ効力ヲ試驗スヘシ

第十一條　非常演習ハ各係長協議ノ上學校長ノ許可ヲ得テ春秋二回以上之ヲ行フ

第十二條　各科ニ於テハ各科ノ特別事情參酌ノ上各科生徒ト共ニ防備係ヲ組織シ之ヲ警備係長ニ屆ケ置クモノトス防備係ニハ係長一名ヲ置キ事變ノ際ハ警備係長ノ指揮ヲ受クヘシ

16. 宿 直 規 程（大正十三年四月制定）

第 一 條　判任官以下ノ事務職員ハ輪番ヲ以テ一名ツヽ本校ニ宿直勤務スヘシ（但シ女子ハ除ク）

第 二 條　宿直ハ退出時限ヨリ翌日登校時限迄勤務スルモノトス但シ休日ハ登校時限ヨリ翌日ノ登校時限迄トス

第 三 條　宿直ノ順番ハ庶務課ニ於テ其前日迄ニ本人ニ通知スヘシ

第 四 條　次ノ諸項ノ一ニ該當スルモノハ宿直ヲ除番ス

1. 出張中並ニ出發ノ前日及歸校ノ日
2. 賜暇又ハ忌引
3. 新任者着任後七日間

第 五 條　病氣其ノ他事故ニ因リ宿直ヲナシ能ハサルトキハ其ノ旨庶務課ニ屆出ツヘシ

前項ニ依リ宿直勤務ヲ缺クモノアルトキハ之ヲ一時除番シテ順次繰上ケ事故止ミタルトキハ直ニ之ヲ補勤セシム

第一項ノ場合ニ於テハ他ノ宿直者ト合意ノ上代人ヲ立テ又ハ當番ヲ交代シテ勤務スルコトヲ得

第 六 條　宿直勤務ノ標準次ノ如シ

1. 校內ノ警備取締特ニ火ノ元ヲ注意シ一回以上ハ必ス校內ヲ巡視スヘシ
2. 非常ノ場合ハ巡視及小使ヲ指揮シ臨機ノ處置ヲナスヘシ
3. 本校ニ到着シタル公文書ハ收受簿ニ登記シ翌日之ヲ庶務課ニ引繼キ其ノ至急ヲ要スルモノハ直ニ之ヲ當該主任ニ送付スルコト

第 七 條　宿直日誌ニハ次ノ事項ヲ記載シ學校長ノ檢閱ヲ受クヘシ

1. 月、日、七曜、祭日、天候
2. 宿直者氏名
3. 登校者及參觀人ノ官氏名時刻等
4. 校內巡視ノ模樣

5. 其ノ他宿直中處理シタル事項

第 八 條 宿直室ニハ次ノ帳簿ヲ備へ置クヘシ

1. 宿直日誌
2. 職員名簿
3. 送 付 簿
4. 暗號電信符號
5. 郵便切手受拂簿
6. 收 受 簿

17. 校友會規則 (大正十三年四月制定 昭和四年十二月改正)

第 一 條 本校學生並ニ職員ハ本校々風發揚ニ資スル目的ヲ以テ校友會ヲ組織スルコトヲ得

第 二 條 校友會ニハ所期ノ目的ヲ達成スル爲ニ必要ナル諸部ヲ設クルコトヲ得

第 三 條 校友會ニハ會長一名、幹事長一名、幹事、會計主任部長、主事等必要ナル役員ヲ置ク但シ會長ハ本校々長幹事長ハ本校生徒主事部長並ニ會計主任ハ本校職員ヲ以テ幹事並ニ主事ハ學生ヲ以テ充ツヘシ

學生ニシテ次ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ役員タルヲ得ス

1. 學業成績不良ニ因ル原級者
2. 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
3. 受罰中ノ者
4. 平素出缺常ナラス缺席日數多ク或ハ素行修ラサルモノ

第 四 條 會長ハ本校職員學生以外ノ者ヲ會員トシテ推薦スルコトヲ得

第 五 條 校友會ニ於テ會費並入會金ヲ徵收シ又寄附ヲ受納スルコトヲ得

第 六 條 校友會並ニ各部主催ニ關スル種々ノ催ハ校內ニ於テ之ヲナスヲ本則トス

第 七 條 各部選手ハ常任トセス其都度該部ニ於ケル優秀ナル技倆ヲ有スル者ノ中ヨリ會長之ヲ選ヒ學校職員會議ノ承認ヲ經テ任スヘシ但シ次ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ選手タルコトヲ得ス

1. 學業成績不良ニ因ル原級者
2. 假進級中ノ者
3. 前學期成績不良ニシテ進級ニ支障ヲ來スト認メラレタル者
4. 受罰中ノ者
5. 代表保證人ヨリ反對セラレタル者
6. 校醫ヨリ健康上不適當ト認メラレタル者

7. 平素出缺常ナラス缺席日數多ク或ハ素行修ラサル者

第 八 條　各部有志トシテ校外ニ出ツル場合學校代表者ト見做サレ易キ者ハ前條ニ準シ學校ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第 九 條　校友會々則ハ會長之ヲ定ム

Ⅶ 職　員

（昭和九年五月一日現在）

1. 商　議　員

長岡市長	木村清三郎	Kimura-Seizaburô
長岡商工會議所會頭 勳七	鷲尾德之助	Wasio-Tokunosuke
日本石油株式會社長 貴族院議員 正四勳二	橋本圭三郎	Hasimoto-Keizaburô
理化學研究所長 正三勳三 工學博士 子爵	大河內正敏	Ookôti-Masatosi
貴族院議員 從五	大橋新太郎	Ohasi-Sintarô
日本製鍊株式會社長 工學博士	棚橋寅五郎	Tanahasi-Toragorô
文部省實業學務局長 正五勳四	菊池豐三郎	Kikuti-Toyosaburô
大阪帝國大學教授 從三勳二 工學博士	青柳榮司	Aoyagi-Eizi

2. 現　職　員

校長			
一等	正四勳三	福田爲造	（東京） Hukuda-Tamezô
教授			
二等 評議員 電氣工學科長	正四勳三	槇田護臣	（群馬） Makita-Moriomi
三等 評議員	正五勳五	日下部富藏	（愛知） Kusakabe-Tomizô
三等 評議員 機械工學科長	正五勳六	臼倉錠次郎	（東京） Usukura-Dyôzirô
三等 評議員 應用化學科長	正五	岡部欽二	（山口） Okabe-Kinzi
三等 評議員 生徒主事	從五	石井信二	（鳥取） Isii-Nobuzi
三等	從五勳六	中村亮三	（滋賀） Nakamura-Ryôzô
三等	從五	伊藤貞治	（宮城） Itô-Teidi
三等	從五勳六	弘中廣志	（山口） Hironaka-Hirosi
四等	正六	松村龍雄	（東京） Matumura-Tatuo

四　等　　正　六　山崎貫三（新潟）Yamazaki-Kwanzô
四　等　　正六勳六幸林良作（富山）Kôbayasi-Ryôsaku
四　等　　正　六　高澤十三郎（新潟）Takazawa-Zyûzaburô
四　等　　正　六　近藤杉樹郎（新潟）Kondô-Sanzyurô
五　等　　從　六　山口四郎（東京）Yamaguti-Sirô
五　等　　從　六　柴田雄三郎（兵庫）Sibata-Yûzaburô
五　等　　從　六　和田良治（山口）Wada-Ryôdi
七　等　　從　七　位野木實（香川）Inoki-Minoru
助教授　生徒主事補　宇野茂太（山形）Uno-Sigeta
　　竹内左内（東京）Takeuti-Sanai
　　鈴木恪雄（埼玉）Suzuki-Kakuo
　　正　八　小山健藏（新潟）Koyama-Kenzô
　　津田吉文（大分）Tuda-Yosibumi
　　正　八　尾高雅次（群馬）Odaka-Masazi
　　內田宗義（東京）Utida-Muneyosi
助　手　　笠原榮吉（新潟）Kasahara-Eikiti
講　師　　正　六　清水家助（兵庫）Simidu-Iesuke
　　吉田順五（東京）Yosida-Zyungo
　　勳　六　五十嵐廣作（新潟）Igarasi-Hirosaku

配屬將校

陸軍步兵少佐　正六勳四渡邊正敏（新潟）Watanabe-Masatosi

書　記　　大原孝次郎（山形）Ohara-Kôzirô
　　中野誠二（山口）Nakano-Seizi
　　勳七　長谷川梅太郎（新潟）Hasegawa-Umetarô
　　土屋正哲（新潟）Tutiya-Masaaki
　　穗苅忠二（新潟）Hokari-Tyûzi

屬　　正　八　室賀幸雄（新潟）Muroga-Yukio
　　正　八　關　精一（新潟）Seki-Seiiti
　　丸田忠雄（新潟）Maruta-Tadao
　　勳　八　高木昌雄（新潟）Takagi-Masao
　　正　八　齋藤虎雄（新潟）Saitô-Torao
　　河本隆二（新潟）Kawamoto-Ryûzi

　　高野福島（新潟）Takano-Hukusima
　　岡澤富治（長野）Okazawa-Tomidi
　　伊佐銀行（新潟）Isa-Kaneyuki
　　齋藤　勇（新潟）Saitô-Yû
　　大野富永郎（新潟）Oono-Tomizirô
　　岡村　憲（新潟）Okamura-Ken
　　佐藤義也（新潟）Satô-Yosiya
　　關口政治（新潟）Sekiguti-Masadi
　　知野ミツ（新潟）Tino-Mitu
　　池田マル（新潟）Ikeda-Maru
技術雇員　野村亮吾（新潟）Nomura-Ryôgo
　　高宮榮吉（新潟）Takamiya-Eikiti
　　林　文治（新潟）Hayasi-Bundi
囑　託　正七勳六石澤好三（秋田）Isizawa-Kôzô
　　勳　六　五十嵐廣作（新潟）Igarasi-Hirosaku
　　勳　八　山鹿虎五郎（新潟）Yamaga-Toragorô
　　勳　八　玉井龜雄（長野）Tamai-Kameo
　　細貝省二（新潟）Hosogai-Syôzi
　　產江植吉（新潟）Ubue-Uekiti
學校醫　正　七　今井楢三（大阪）Imai-Narazô

職員受持一覽表

事務室

校長	理學士	福田爲造
生徒主事	教授	石井信二
生徒主事補	助教授	宇野茂太

庶務課

主任	書記	大原孝次郎
（兼）	囑託	山鹿虎五郎
	雇	知野ミツ
	雇	池田マル

會計課

主任	書記	中野誠二
	書記	土屋正哲
	書記	穗苅忠二
	囑託	石澤好三
	雇	高野福島

教務課

主任	教授	日下部富藏
	書記	長谷川梅太郎
（兼）	雇	丸田忠雄
（兼）	雇	高木昌雄
	雇	大野富次郎

學生課

	助教授	宇野茂太
	講師	五十嵐廣作
主任	雇	丸田忠雄

圖書課

主任	教授	位野木實
（兼）	書記	穗苅忠二
	雇	室賀幸雄
	雇	齋藤勇

調査計畫課

主任	教授	位野木實
（兼）	書記	大原孝次郎
（兼）	書記	中野誠二
（兼）	書記	長谷川梅太郎
（兼）	囑託	五十嵐廣作
	囑託	山鹿虎五郎

醫務室

學校醫	囑託醫學博士	今井檜三

體育教室

體操	體育主任	助教授	宇野茂太
劍道		囑託	玉井龜雄
弓道		囑託	細貝省三
柔道		囑託	產江植吉

教練教室

主任	陸軍步兵少佐	渡邊正敏
	講師 陸軍步兵特務曹長	五十嵐廣作

文科教室

修身、英語、獨逸語	英語及獨逸語主任	教授 文學士	石井信二
經營經濟及法制、工場管理		教授 商學士	位野木實
英語、獨逸語		講師	清水家助

理科教室

數學	數學主任	教授	理學士	日下部富藏
（在外研究中）		教授	理學士	伊藤貞治
力學及物理學、物理學實驗	力學及物理學・物理學實驗主任	教授	理學士	松村龍雄
數學		教授	理學士	高澤十三郎
力學及物理學、物理學實驗		講師	理學士	吉田順五
物理學實驗		助教授		竹内左内
副手		雇		關口政治

電氣教室

電燈及照明、電氣鐵道、電氣機械及設計電氣工學、讀書攻究	科長	教授	工學士	槇田護臣
電氣理論、電信及電話、電氣機械及設計實驗實習		教授	工學士	中村亮三
電氣理論、發電所及變電所・設計及製圖實驗實習		教授	工學士	山崎貫三
電氣磁氣測定、電氣材料及器具、設計及製圖、實驗實習		助教授	工學得業士	津田吉文
送電及配電、設計及製圖、實驗實習		助教授		尾高雅次
副手		雇		齋藤虎雄
副手		雇		伊佐銀行
副手		雇		佐藤義也

機械教室

材料力學、機械工學通論、讀書攻究實驗實習	科長	教授	工學士	臼倉錠次郎
機械工作法、機械製圖、實驗實習		教授		弘中廣志
熱力學、汽罐、蒸氣機關及タービン、內燃機關熱機關、讀書攻究、設計及製圖、實驗實習		教授	工學士	近藤杉樹郎
水力及水力機、機構學、實驗工學、讀書攻究設計及製圖、實驗實習		教授	工學士	和田良治
金屬材料、機械工作法、機械設計、設計及製圖實驗實習		助教授		小山健藏
副手		雇		河本陸二
副手		雇		岡村憲

化學教室

電氣化學及電池、應用電氣化學、製造化學第一部、製造化學特論Ⅰ、實驗實習	科長	教授	工學士	岡部欽二
化學、製造化學第二部、製造化學第四部製造化學特論Ⅱ、實驗實習		教授		幸林良作
有機化學、製造化學第三部、製造化學特論Ⅱ、讀書攻究、實驗實習		教授	理學士	山口四郎
無機化學、物理化學、製造化學特論Ⅰ讀書攻究、實驗實習		教授	理學士	柴田雄三郎
化學、化學實驗、製造化學第二部、實驗實習		助教授		鈴木恪雄
製造化學第一部、讀書攻究、實驗實習		助教授		内田宗義
助手		助手		笠原榮吉
副手		雇		關精一
副手		雇		岡澤富治

3. 舊　職　員

	氏　名	官職名	就職年月日	退職年月日
Tatezaki-Yosisada	館崎美定	書記	大13. 1.25	大13.10.15退
Tanimoto-Yosiyasu	谷本賀安	雇	大13. 4.12	大13.12.20退
Yamada-Teikiti	山田貞吉	雇	大13.10.13	大13.12.25退
Iguti-Takeo	井口太計夫	雇	大13. 5.16	大14. 2. 6退
Nakasono-Susumu	中園進	助教授	大13. 4. 9	大14. 3.31退
Isizawa-Harusuke	石澤治亮	雇	大14. 4. 9	大14. 7.20退
Nisimura-Terue	西村輝惠	學校醫	大13. 4. 1	大14. 9.30退
Yamaki-Hukumatu	山木福松	囑託	大14. 6.15	大15. 1. 4退
Satô-Tosiko	佐藤敏子	雇	大13. 3.25	大15. 1.14退
Hiraoka-Munetake	平岡宗威	教授	大13. 1. 7	大15. 3.21退
Sakabe-Sigetosi	阪部重壽	講師	大14.11.10	大15. 3.31退
Inomata-Sôroku	猪股惣六	教授	大13. 9. 1	大15.10.25死
Kokubu-Kenzi	國府健次	講師	大15. 4. 7	大15.10.30退
Moritani-Itirô	森谷一郎	講師	大15. 4. 1	大15.10.31退
Kawakami-Tomisaku	川上富作	雇	大13. 7. 1	大15.12. 3退
Abe-Kunisada	阿部國貞	書記	大13. 2.13	昭 2. 7. 2轉
Asano-Nagahusa	淺野長房	配屬將校 陸砲少佐	大14. 4.24	昭 2. 7.26轉
Kozima-Tadasi	小島貞	雇	大13.11.11	昭 2. 9.20退
Adati-Sigetarô	安達繁太郎	雇	大15. 6.14	昭 3. 2. 4退
Mori-Suketoki	森相時	講師	昭 2. 3.11	昭 3. 3.22退
Kusabiraki-Tatuzi	草開達二	雇	大14. 5.20	昭 3. 9. 8退
Kogosi-Mika	小越美加	雇	大13. 6. 2	昭 3. 9.24退
Higuti-Takeo	樋口武雄	雇	大14. 4. 1	昭 3.10.11退
Nakazaki-Hyôsuke	中崎兵助	雇	昭 3. 4.30	昭 3.12.24退
Kondô-Sonosuke	近藤素之助	雇	大15. 6.11	昭 4. 1.31退
Hasegawa-Tatuo	長谷川龍雄	講師	大15. 4. 1	昭 4. 3.30退
Segawa-Yûzirô	瀨川勇次郎	雇	大15. 6.14	昭 4. 7.11死
Satô-Tetuzi	佐藤哲司	囑託	昭 3. 4.16	昭 4.10.10退
Tobinaga-Zindi	飛永甚治	教授	大14. 4. 7	昭 4.10.15轉

Sunaga-Hideya	須永秀彌	教授	大14. 4. 1	昭 5. 3. 5轉
Naka-Toyozirô	中豐次郎	講師	昭 3. 3.26	昭 5. 3.10轉
Kin-Kensyô	金賢鍾	雇	昭 4. 4.19	昭 5. 3.10退
Hayahune-Eun	早船慧雲	教授	大13. 3. 3	昭 5. 3.10轉
Hurukane-Zirôiti	古金次郎一	教授	大13. 3.17	昭 5. 4. 9退
Andô-Takeyo	安藤竹代	雇	大15. 1.25	昭 5. 5. 5退
Simidu-Moriiti	清水守市	雇	大13.10.15	昭 5. 7.30退
Seno-Mituo	佐野光雄	配屬將校 陸砲中佐	昭 2. 7.26	昭 5. 8. 1轉
Takahasi-Isaburô	高橋伊三郎	講師	昭 5. 4.30	昭 5. 8.14死
Miyazima-Rin	宮島リン	雇	大13. 3.20	昭 5.11.24退
Akabe-Hitosi	赤部一	雇	大14. 9.24	昭 5.12.19退
Matukura-Tokinosuke	松倉時之助	講師	大14. 2. 2	昭 6. 3.31退
Tatikawa-Kôitirô	太刀川浩一郎	講師	昭 5. 4.21	昭 6. 3.31退
Kobayasi-Syuiti	小林守一	雇	昭 6. 1. 8	昭 6. 5.25退
Misu-Genzirô	三須玄次郎	雇	昭 4. 4.15	昭 6. 9.23退
Sirakura-Denzô	白倉傳藏	技術雇員	大15. 9. 1	昭 6.10. 7死
Kimura-Tosio	木村敏雄	雇	昭 6. 6.30	昭 7. 1. 3退
Takeda-Etuzirô	武田悅次郎	教授	昭 2. 4. 5	昭 7. 4. 1轉
Imagawa-Saburô	今川三郎	講師	昭 5. 3.20	昭 7. 6.18退
Kitamura-Torasaku	北村虎作	技術雇員	大13. 3.13	昭 7. 7. 3死
Okamura-Ken	岡村憲	雇	昭 6. 1. 8	昭 7. 7.29退
Sakai-Kunimatu	酒井邦松	雇	昭 7. 2. 1	昭 7. 7.29退
Oota-Nobusige	太田信重	雇	昭 7. 9. 5	昭 8. 2.18退
Kakuda-Syôzi	角田正二	雇	昭 7. 9. 5	昭 8. 5.23退
Kiributi-Kanzô	桐淵勘藏	教授	昭 2. 8.30	昭 8. 9.16轉
Yamamiya-Ikuya	山宮郁彌	雇	昭 6. 9.30	昭 8.11.30退
Okuda-Tokuzi	奥田德次	雇	昭 8. 3. 1	昭 8.12.13退
Ogino-Hukusitu	荻野福質	雇	昭 3.11.27	昭 9. 2. 2退
Hasebe-Riei	長谷部理叡	配屬將校 陸步少佐	昭 5. 8. 1	昭 9. 3. 5轉

Ⅶ 學　　生

1 學生氏名 (A B C 順)

(昭和九年五月一日現在)

電氣工學科第三學年 (35名)

氏　　名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Adati-Masao　足立正雄	(滋賀)	天王寺中	
Aizawa-Etuo　相澤悦夫	(新潟)	十日町中	
Akamatu-Tosio　赤松敏夫	(香川)	丸龜中	
Awadi-Tosinori　淡路俊德	(新潟)	新潟中	
Hattori-Tadasi　服部正	(新潟)	三條中	
Hirokawa-Kazuo　廣川一男	(新潟)	糸魚川中	
Hosoya-Kazuo　細谷和夫	(新潟)	三條中	學級總代、校友會幹事
Hudita-Masarô　藤田政郎	(滋賀)	生野中	講演主事
Hudita-Tomio　藤田十三男	(新潟)	村松中	
Itô-Ken'iti　伊藤健一	(三重)	尾張中	
Kamohara-Kyôsaku　蒲原强作	(佐賀)	鹿島中	
Kanda-Matuo　神田松雄	(新潟)	新潟中	學級總代、校友會幹事
Kaneko-Susumu　金子丞	(新潟)	長岡中	
kaneko-Tadasu　金子尹	(新潟)	長岡中	陸上競技主事
Katayama-Torao　片山寅雄	(香川)	丸龜中	
Kimura-Kei　木村敬	(新潟)	横濱一中	
Kiribayasi-Hisao　桐林久雄	(鳥取)	鳥取二中	
Matida-Kikuo　町田喜久雄	(三重)	桑名中	
Miduno-Takesuke　水野武助	(岐阜)	惠那中	
Miya-Ken'iti　宮憲一	(新潟)	長岡中	弓道主事
Miyabe-Kinzi　宮部金司	(愛知)	横須賀中	山岳主事
Miyata-Yûzi　宮田佑二	(富山)	礪波中	
Mori-Syôzyu　森正壽	(和歌山)	京都二中	

Murano-Kiroku	村野木六	(靜岡)	富士中	
Nisimaki-Masao	西巻正郎	(新潟)	三條中	
Nozawa-Kihei	野澤喜平	(新潟)	小千谷中	
Okazaki-Kiyohiko	岡崎清彦	(新潟)	新潟中	
Saitô-Bundi	齋藤文治	(群馬)	佐渡中	
Sotô-Humio	佐藤文男	(新潟)	長岡中	
Suzuki-Seisi	鈴木清司	(新潟)	長岡中	庭球主事
Taga-Tamizô	多賀太美藏	(石川)	金澤一中	
Takebayasi-Syôei	竹林正榮	(新潟)	新潟中	音樂主事
Ueki-Zensaku	植木善策	(新潟)	新潟中	
Watanabe-Hisasi	渡邊恒	(新潟)	新潟中	水泳主事
Yamaguti-Kisiti	山口毅七	(新潟)	高田中	

電氣工學科第二學年 (38名)

氏　　名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Andô-Itiyano　安藤一彌野	(新潟)	長岡中	
Gotô-Satosi　後藤敏	(新潟)	新發田中	
Hasegawa-Kei　長谷川慶	(富山)	富山中	
Hata-Yosinori　畑義純	(香川)	高松中	講演主事
Higurasi-Masayosi　日暮正義	(千葉)	千葉中	
Hiraga-Tadayosi　平賀忠良	(岡山)	天城中	
Hudimura-Tadasu　藤村董	(香川)	多度津中	
Iizima-Ryôiti　飯島良一	(大阪)	市岡中	
Ikeda-Miozi　池田三穗司	(新潟)	三條中	學級總代
Itô-Takasi　伊藤孝四	(新潟)	高田中	劍道主事
Itô-Tosio　伊藤敏夫	(山口)	防府中	
Katuda-Yosirô　勝田芳郎	(京都)	舞鶴中	
Kawamura-Itirô　川村一郎	(青森)	野邊地中	
Koga-Tosio　古我俊男	(滋賀)	今津中	
Komagata-Masadi　駒形政治	(新潟)	三條中	
Kurihara-Sigeru　栗原茂	(埼玉)	埼玉縣師	

Kuwada-Syôsin	桑田正信(新潟)	柏崎中	
Makino-Sin'iti	牧野愼一(新潟)	新潟中	
Mitumori-Kôkai	光盛耿介(兵庫)	龍野中	
Miura-Tôzaburô	三浦藤三郎(秋田)	秋田中	
Miyamoto-Syôzô	宮本省三(和歌山)	紛河中	
Murayama-Morizi	村山盛次(神奈川)	小田原中	
Nozaki-Toyoo	野崎豐男(岡山)	第二岡山中	
Okayama-Kanzi	丘山侃二(新潟)	三條中	
Okumura-Saburô	奥村三郎(福岡)	豊津中	
Ookubo-Tutomu	大久保乾(茨城)	松本中	
Ri-Keizen	李景善(臺灣)	愛知中	
Saitô-Hirosi	齋藤博(京都)	京都第一工	
Saitô-Seizô	齋藤清三(栃木)	宇都宮中	
Saitô-Sigeo	齋藤成夫(山形)	長岡工	
Satomi-Hagara	里見亮(靜岡)	豆陽中	
Sionoya-Takasi	鹽野谷隆(新潟)	三條中	
Tabusi-Saburô	田伏三郎(大阪)	四條畷中	
Takeda-Nobudi	武田信治(新潟)	高田中	
Tutumi-Syûsirô	堤周四郎(新潟)	新潟中	
Yamada-Tadasi	山田正(新潟)	新發田中	學級總代、柔道主事
Yamagisi-Hitosi	山岸均(埼玉)	神奈川縣工	
Yamaguti-Hitosi	山口均(愛知)	尾張中	

電氣工學科第一學年 （40名）

氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Abe-Busitirô	阿部武七郎(新潟)	專檢	
Edanami-Dyûtarô	枝並重太郎(新潟)	新潟中	
Hanami-Masadi	花見正治(福島)	喜多方中	
Harada-Masasuke	原田正助(山口)	山口中	
Hudinaga-Daikiti	藤永大吉(廣島)	府中中	
Ikeda-Masanori	池田正憲(新潟)	柏崎中	

Ikehara-Suketosi	池原典利(愛媛)	西條中	
Imai-Katuhiko	今井勝彦(新潟)	佃知安中	
Isiduka-Sukehito	石塚資人(茨城)	畝傍中	
Isii-Hisasi	石井久(千葉)	長狹中	
Kamagami-Yosio	鎌上義男(山形)	村松中	
Karita-Syôzô	刈田莊藏(新潟)	長岡工	
Kasahara-Masazi	笠原昌次(長野)	諏訪中	
Kawai-Mituru	河合滿(愛知)	成章中	
Kazama-Hiroe	風間弘衛(新潟)	三條中	
Kobayasi-Tuneo	小林恒夫(長野)	長野中	
Koike-Tosio	小池敏夫(長野)	長野中	學級總代
Komoriya-Tosi	小森谷敏(埼玉)	粕壁中	
Mamine-Tarô	眞峰太郎(長野)	長野中	
Maruyama-Takasige	丸山孝重(新潟)	高田中	
Miyamori-Kenzô	宮森賢藏(福島)	會津中	
Murayama-Hidetosi	村山秀敏(新潟)	十日町中	
Nagoya-Huyuo	名古屋冬雄(山口)	福山中	
Natori-Norihumi	名取德文(福島)	立正中	
Nisimura-Masanori	西村正典(大阪)	市岡中	
Ogawa-Toshumi	小川敏文(新潟)	新發田中	學級總代
Orimoto-Teruo	織本照雄(千葉)	成東中	
Sakamoto-Norimaru	坂本則圓(東京)	立教中	
Simamura-Yasuo	島村靖雄(鳥取)	鳥取二中	
Suda-Syôiti	須田正一(新潟)	新潟中	
Sudô-Tadao	須藤忠夫(青森)	羅南公立中	
Suyama-Sukeo	鴉山佑生(福岡)	中津中	
Suyama-Syôzaburô	陶山正三郎(新潟)	高田中	
Tanimura-Eiiti	谷村英一(富山)	富山中	
Tôgin-Mamoru	當銀護(新潟)	新潟中	
Usimaru-Masahisa	牛丸政久(富山)	富山中	
Uwazumi-Tomizô	上住富造(兵庫)	赤穗中	
Wakui-Kôzi	和久井晃二(新潟)	長岡中	

Yamaguti-Saburô	山口三郎(新潟)	村松中	
Yamamoto-Kihati	山本喜八(宮崎)	宮崎中	

機械工學科第三學年 （33名）

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Ebinuma-Sinpei	海老沼信平	(長野)	長野中	學級總代、校友會幹事
Harada-Kôdi	原田光治	(山口)	長府中	
Higo-Kunio	肥後國雄	(秋田)	秋田中	
Hori-Rokurô	堀六郎	(東京)	日本中	
Ike-Tokio	池時雄	(新潟)	小千谷中	籠球主事
Iwasaki-Heihatirô	岩崎平八郎	(兵庫)	姫路中	
Kadino-Kiyoo	梶野清雄	(島根)	大田中	
Kawada-Tadasi	河田正	(新潟)	村松中	
Kuwano-Hatuzô	桑野初藏	(新潟)	新潟中	
Minagawa-Tadasato	皆川忠鄕	(新潟)	新潟中	
Minemura-Katuya	峰村勝彌	(新潟)	高田中	
Mori-Tadao	森正夫	(兵庫)	尼崎中	
Nakano-Hiradi	中野平治	(兵庫)	洲本中	
Nakazima-Masao	中島正男	(長野)	諏訪中	
Niwayama-Mituya	庭山三矢	(新潟)	柏崎中	相撲主事
Odaka-Syôzô	尾高正三	(群馬)	前橋中	
Ogawa-Syô	小川正	(三重)	宇治山田中	
Onoduka-Sirô	小野塚司郎	(新潟)	長岡中	
Outi-Yaitirô	大内彌一郎	(福島)	白河中	
Saitô-Takasi	齋藤喬	(新潟)	新潟中	
Sakai-Tokuzi	酒井德二	(新潟)	長岡中	
Seki-Kôzi	關鏡二	(新潟)	長岡中	
Simidu-Tamehisa	清水爲久	(山形)	秋田中	
Takahasi-Sigeru	高橋茂	(新潟)	高田中	學級總代、校友會幹事
Takano-Kôiti	高野孝一	(新潟)	長岡工	
Takao-Hazime	高尾肇	(神奈川)	厚木中	

Takasima-Kenzi	高島憲次	(富山)	魚津中	
Taki-Ryôiti	瀧亮一	(靜岡)	靜岡中	卓球主事
Tasiro-Syun'iti	田代俊一	(新潟)	豐原中	蹴球主事
Tiyo-Masao	千代正男	(新潟)	高田中	スキー主事
Utigaki-Bonpei	內垣凡平	(島根)	豐浦中	劍道主事
Yamamura-Sindirô	山村新治郎	(兵庫)	尼崎中	
Yamaoka-Tadayosi	山岡忠良	(奈良)	五條中	柔道主事

機械工學科第二學年 （42名）

	氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Abe-Hideo	阿部英夫	(新潟)	長岡中	
Amagasu-Kenzi	天春健次	(三重)	芝中	
Gotô-Kiyosi	後藤潔	(大阪)	市岡中	
Harada-Saburô	原田三郎	(新潟)	三條中	
Hiramatu-Isao	平松勳	(大阪)	市岡中	
Hudii-Yôzi	藤井葉二	(新潟)	長岡中	
Hudimitu-Siu'iti	藤光眞一	(山口)	廣島工	
Hurutani-Zyôzi	古谷讓二	(德島)	市岡中	
Igarasi-Imatu	五十嵐威松	(新潟)	長岡中	
Igarasi-Masataka	五十嵐正隆	(東京)	澁川中	
Imai-Syôzô	今井正三	(山形)	酒田中	
Imazeki-Hisao	今關久夫	(千葉)	長生中	
Itô-Osamu	伊藤整	(長野)	上田中	
Kawamura-Heisuke	川村平助	(新潟)	長岡中	
Kobasi-Kaoru	小橋馨	(奈良)	奈良中	
Kosiba-Yosio	小柴芳男	(新潟)	長岡中	
Koyama-Muneo	小山宗雄	(長野)	專檢	
Kume-Masayuki	久米正幸	(愛媛)	甲陽中	
Maniwa-Syûzi	馬庭修二	(島根)	大田中	
Miyakawa-Yasuzirô	宮川安次郎	(神奈川)	川崎中	
Miyano-Nobuhiro	宮野信博	(東京)	東京八中	

Murohosi-Tutomu	室星	務(新潟)	長岡工	學級總代　卓球主事
Nisio-Kiyosi	西尾	淳(滋賀)	堺　中	
Nisiyama-Yosio	西山	芳雄(新潟)	長岡中	
Cosima-Kenkiti	大島	健吉(愛知)	豊橋中	
Oosima-Natoki	大島	夏樹(京都)	宮崎中	
Ootuka-Tukasa	大塚	司(福島)	喜多方中	
Owada-Iwao	小和田	岩夫(新潟)	新潟中	
Sasihara-Tosiyuki	指原	敏之(大分)	大分中	
Satô-Tomoyosi	佐藤	知義(新潟)	柏崎中	學級總代
Satô-Uitirô	佐藤	卯一郎(新潟)	長岡中	
Sinka-Kenzi	新家	健司(大阪)	市郡中	
Soga-Sigeo	曾我	茂夫(新潟)	長岡中	
Suzuki-Gohei	鈴木	五平(新潟)	六日町中	
Takagi-Ctomaro	高木	乙麿(東京)	立教中	
Takahasi-Tatuiti	高橋	立一(新潟)	新潟中	
Tamura-Akira	田村	朗(新潟)	巻　中	
Taniuti-Takeyosi	谷内	武義(東京)	日本大學中	
Umeda-Haruo	梅田	春雄(愛知)	愛知縣工	野球主事
Wanihuti-Sakae	鰐淵	榮(新潟)	三條中	
Yamada-Kyôhei	山田	良平(大阪)	岸和田中	
Zimi-Seizi	自見	清次(大分)	愛知一中	

機械工學科第一學年 （40名）

氏　名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Aizawa-Huzio	相澤	富士雄(新潟)	長岡中
Akamatu-Hiidu	赤松	秀(高知)	城東中
Hata-Urata	羽田	浦太(長野)	上田中
Hosino-Matudi	星野	松治(新潟)	巻　中
Hosoi-Minoru	細井	實(愛知)	岡崎中
Hudimaki-Sakan	藤巻	誠(新潟)	高田中
Ikeda-Syû	池田	修(新潟)	柏崎中

Kanao-Takuzô	金尾	卓三(岡山)	矢掛中	
Kawamura-Akira	川村	明(高知)	高知城東中	
Kinugawa-Seizaburô	衣川	清三郎(群馬)	富岡中	
Kitahara-Mituo	北原	光男(長野)	伊那中	
Koyama-Tosimitu	小山	利光(大阪)	鳳　中	
Kozima-Kenzô	小島	健三(新潟)	長岡中	
Mamiya-yûzô	間宮	雄三(東京)	東京府立二中	
Masuko-Masami	益子	正巳(大阪)	北野中	
Minami-Sigeru	南	茂(鹿兒島)	出水中	
Misina-Ryôzi	三品	良二(岐阜)	武義中	
Miyati-Tinnosuke	宮地	鎭之助(東京)	東京府立三中	
Miyazawa-Masayasu	宮澤	正康(長野)	諏訪中	
Miyazima-Raizi	宮島	磊次(新潟)	新潟中	
Nagao-Osamu	長尾	修(大阪)	茨木中	
Nagura-Hyômara	名倉	兵正(奈良)	畝傍中	
Nakamura-Takao	中村	孝夫(愛知)	豊橋中	
Nedu-Sin'iti	根津	眞一(新潟)	長岡中	
Nozima-Taturô	廼島	辰郎(新潟)	柏崎中	
Saitô-Hisasi	齋藤	久(新潟)	新潟中	
Sidai-Zyunzaburô	司代	淳三郎(群馬)	東京府立三中	
Sigeno-Dyûzô	茂野	重藏(新潟)	新潟中	
Sinbo-Tôkiti	新保	藤吉(新潟)	長岡中	學級總代
Siraki-Tadao	白木	忠夫(岐阜)	熱田中	
Takahasi-Iwao	高橋	巖(新潟)	新潟中	
Takeuti-Ikuzô	竹內	育造(愛知)	半田中	
Takeyama-Tosio	武山	敏夫(愛知)	小牧中	
Toba-Hirosi	鳥羽	洋(新潟)	長岡中	
Tomita-Minoru	富田	實(埼玉)	熊谷中	
Tuda-Hirotomo	津田	廣智(東京)	早稻田中	
Wada-Sadao	和田	禎夫(新潟)	國士館中	
Yamano-Yasusi	山野	靖(佐賀)	佐賀中	
Yosida-Kankiti	吉田	勘吉(新潟)	新潟中	
Yosii-Takazi	吉井	堯二(福島)	安積中	學級總代

應用化學科第三學年 （34名）

	氏　　名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Aoki-Humio	青木文雄	(長野)	松本二中	美術主事
Asibe-Yositaka	芦部好孝	(長野)	宇和島中	
Hattori-Yasutuna	服部保綱	(京都)	臺中二中	
Hiramatu-Syun	平松俊	(石川)	熱田中	
Honma-Yasusi	本間泰	(新潟)	釧路中	
Horiuti-Syôiti	堀内正一	(長野)	屋代中	
Irie-Seizô	入江盛蔵	(大阪)	茨木中	水泳主事
Kanamori-Kinya	金森金彌	(大阪)	住吉中	
Maezawa-Kiyosi	前澤清	(新潟)	小千谷中	
Matihara-Raizô	町原雷造	(兵庫)	順天中	
Midusima-Yasusi	水島靖	(愛知)	熱田中	
Mine-Sinzi	嶺眞司	(長野)	飯山中	
Minowa-Sigetaka	箕輪重孝	(新潟)	東京化工	
Miyahara-Masamoto	宮原正元	(京都)	桃山中	
Morosawa-Itirô	諸澤一朗	(新潟)	長岡中	
Murayama-Kenzi	村山健司	(新潟)	三條中	山岳主事
Nagai-Syôhei	長井正平	(新潟)	長岡中	學級總代、校友會幹事
Noda-Masaru	野田勝	(福岡)	傳習館	學級總代、校友會幹事
Nunokawa-Syôdi	布川省治	(新潟)	長岡中	
Okada-Atumu	岡田羽	(新潟)	有恒學舍	音樂主事
Okada-Yosikazu	岡田善一	(大阪)	堺中	
Ono-Sigeo	小野茂夫	(岡山)	明倫中	
Sakamoto-Toxio	坂本俊雄	(新潟)	長岡中	籠球主事
Sakuma-Masatosi	佐久間正俊	(新潟)	新發田中	
Sano-Hidezô	佐野英三	(大阪)	豊中中	
Sinada-Ken'iti	品田健一	(新潟)	小千谷中	
Sugiura-Taisuke	杉浦泰祐	(東京)	京華中	庭球主事
Takeuti-Yasuo	竹内彌壽雄	(石川)	東京府立二中	
Takizawa-Masao	瀧澤正男	(新潟)	柏崎中	陸上競技主事

Tikagawa-Takesi	近川毅	(東京)	東京府立六中	雜誌主事
Uno-Yosio	宇野善雄	(大阪)	岸和田中	
Yamanozyô-Kazuhiko	山之城一彦	(宮崎)	臺中二中	
Yoremoti-Osamu	米持修	(長野)	飯山中	スキー主事
Yosida-Tôkitirô	吉田藤吉郎	(新潟)	長岡中	

應用化學科第二學年 （37名）

	氏　　名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Aoyagi-Tatuzi	青柳達二	(新潟)	長岡中	
Hiraisi-Syûnzô	平石春三	(新潟)	長岡中	
Hudimura-Kôzô	藤村恒造	(滋賀)	彦根中	
Iida-Tutomu	飯田務	(東京)	千葉中	
Imai-Hitosi	今井均	(新潟)	新潟中	
Isikawa-Saburô	石川三郎	(群馬)	太田中	野球主事
Itô-Kiyosuke	伊藤清輔	(静岡)	見付中	
Iwasaki-Kiyosi	岩崎清	(京都)	麻布中	
Kaisu-Kiyosi	貝洲淳	(兵庫)	第三神戸中	
Kawana-Masaru	川名勝	(千葉)	安房中	
Kikkawa-TaKesi	吉川武四	(東京)	東京化工	
Kinohara-Akira	木ノ原明	(廣島)	府中中	
Kobayasi-Tomizi	小林富次	(新潟)	六日町中	
Koide-Minoru	小出實	(新潟)	高田中	
Matuoka-Itiô	松岡一良	(岡山)	津山中	
Miyakawa-Zen'ti	宮川善一	(長野)	上田中	
Morita-Akihisa	森田彰久	(京都)	洲本中	
Moriyama-Matuo	森山松夫	(島根)	三條中	
Okada-Masayuki	岡田正敬	(鳥取)	高津中	蹴球主事
Okazaki-Isamu	岡崎勇	(岡山)	第二岡山中	
Coisi-Seiiti	大石清一	(埼玉)	不動岡中	
Satô-Heihati	佐藤平八	(新潟)	新潟中	
Seki-Hideo	關英雄	(新潟)	長岡中	

Sibasaki-Masao	芝崎正夫(群馬)	安房中		
Simidu-Akira	清水明(東京)	麻布中		
Tai-Hisaharu	田井久晴(和歌山)	海草中	學級總代	
Takizawa-Kazuo	瀧澤一夫(新潟)	卷中	美術主事	
Tanaka-Zyun'iti	田中準一(新潟)	長岡中	弓道主事	
Teranisi-Yosikazu	寺西好一(大阪)	茨木中		
Tutiya-Tomie	土屋富衛(新潟)	卷中		
Wakuda-Yosikazu	和久田慶種(愛媛)	西條中	相撲主事	
Yamada-Yosio	山田芳男(兵庫)	尼崎中		
Yamaguti-Terutora	山口輝虎(新潟)	高田中		
Yamazaki-Tosio	山崎俊雄(新潟)	高田中		
Yosihara-Syûiti	吉原修一(東京)	宇治山田中		
Yosizawa-Zyun'iti	吉澤淳一(新潟)	小千谷中	學級總代 雜誌主事	
Yuzawa-Takeo	湯澤武雄(新潟)	新潟中	相撲主事	

應用化學科第一學年 （39名）

氏名	本籍	出身學校	役員其ノ他
Aoyagi-Reisirô	青柳禮四郎(新潟)	長岡中	
Hara-Hirosi	原弘(福岡)	修道中	
Hukumura-Masuo	福村勉郎(東京)	立教中	
Huruhasi-Masao	古橋正男(東京)	順天中	
Ikeda-Yatuka	池田八東(岡山)	津山中	
Inaba-Kiyosi	稻葉清(新潟)	六日町中	
Isikawa-Kôdi	石川光治(石川)	金澤一中	
Itô-Masao	伊藤正夫(三重)	三重縣工	
Kamiyama-Seiitirô	神山清一郎(新潟)	專檢	
Kanamori-Yosikazu	金森美和(長野)	松本二中	
Kasagi-Takasi	笠本孝(兵庫)	姫路中	
Kawai-Nobuo	河井信雄(宮城)	大連二中	
Kawamura-Zissaku	川村實作(新潟)	三條中	
Kikkawa-Tanenao	吉川種直(福島)	宇治山田中	

Kuramoto-Etunen	倉本悦年(兵庫)	第三神戸中		
Matumoto-Hirokiti	松本博吉(埼玉)	熊谷中		
Misima-Tadatosi	三島忠敏(三重)	東京府立六中		
Miura-Keisuke	三浦啓祐(新潟)	長岡中		
Miura-Takeo	三浦武男(三重)	三重縣工		
Morita-Minoru	森田稔(岡山)	第二岡山中		
Nagai-Yosikazu	長井芳一(新潟)	長岡中		
Nakatani-Moriya	中谷守也(和歌山)	海南中		
Nakazima-Yosinori	中島善典(新潟)	飯山中		
Nomura-Humio	野村二三夫(岐阜)	大垣中		
Oohasi-Satoru	大橋達(新潟)	長岡中		
Satô-Iturô	佐藤逸郎(富山)	富山中		
Suduki-Masando	鈴木正人(新潟)	村松中		
Takahasi-Akira	高橋彰(富山)	高岡中		
Takeda-Masayuki	武田政幸(長野)	松本二中		
Tuda-Yosinori	津田吉紀(大分)	中津中		
Tukui-Minoru	津久井實(栃木)	今市中	學級總代	
Ueki-Iwao	植木磐(新潟)	柏崎中		
Watanabe-Tatuhei	渡邊辰平(新潟)	三條中		
Yamagisi-Ryôzi	山岸良司(新潟)	長岡中	學級總代	
Yamaguti-Naoaki	山口直秋(新潟)	糸魚川中		
Yamamoto-Tatudi	山本辰治(千葉)	匝瑳中		
Yamamoto-Wataru	山本亘(石川)	京城工		
Yamasita-Syôzô	山下正三(新潟)	長岡中		
Yosida-Reiki	吉田禮紀(福島)	逗子開成中		

機械工學科選科生 （2名）

氏名	本籍	出身學校	專修學科
Hayasi-Takesi	林武(新潟)	長岡工	設計製圖、實驗實習
Motohasi-Kenzô	本橋健三(千葉)	尼崎中	經營經濟及法制、工場管理、水力及水力機、內燃機關、機械設計、設計製圖、實驗實習

2. 卒業者・修業者氏名 (A B C 順)

電氣工學科

第一回卒業者 (34名) 昭和二年三月

Asano-Zirô	淺野次郎(福島)	日本海電氣株式會社
Hirayama-Mitio	平山道男(新潟)	西本組京城支店
Hiroi-Saburô	廣井左武郎(新潟)(小川ト改姓)	新潟電力株式會社
Honmô-Tosije	本望利家(新潟)	山陽水力電氣株式會社
Hosino-Motoi	星野基(新潟)	東京横濱電鐵株式會社
Hudita-Sukezirô	藤田助二郎(新潟)	東京遞信局電氣課
Hudita-Teizi	藤田悌二(新潟)	日本製鐵株式會社
Igarasi-Niiô	五十嵐二郎(新潟)	大北工業株式會社
Kadimoto-Matuzi	梶本松次(廣島)	廣島縣御調郡河内村
Karita-Tôitiiô	刈田藤一郎(新潟)	有光信號機製作所
Kase-Tasuke	嘉瀬太資(新潟)	倉敷絹織株式會社
Kawamura-Katuhei	川村勝平(新潟)	死亡
Kimura-Teizi	木村貞司(新潟)	長野縣警察部保安課
Kobayasi-Hirosi	小林博(新潟)	陸軍通信學校研究部
Mano-Bunsaku	間野文作(新潟)	北越水力電氣株式會社
Maruyama-Susumu	丸山進(新潟)	長津江水電株式會社
Matutani-Syôzi	松谷庄次(富山)	日本電力株式會社
Matuura-Ikuzô	松浦幾造(秋田)	北海道電燈株式會社
Minagawa-Hirosi	皆川弘(新潟)	新潟電力株式會社
Mori-Kendi	盛健治(青森)	中央電氣株式會社
Moriya-Tarô	森谷太郎(群馬)	東京工業大學窯業科在學
Motoyama-Tadanobu	本山忠信(新潟)	志久見川電力株式會社
Nagakura-Eizô	永倉榮三(宮城)	仙臺市角五郎町
Natui-Tamesige	夏井爲茂(愛媛)	京阪電氣鐵道株式會社
Saitô-Kin'iti	齋藤金一(新潟)	新潟電力株式會社

Sano-Tamotu	佐野保(新潟)	金澤電氣軌道株式會社
Sekikawa-Kôtarô	關川浩太郎(新潟)	函館商工實修學校
Sekikawa-Seiiti	關川精一(新潟)(間藤ト改姓)	村上水力電氣株式會社
Takeisi-Tôdi	武石逗治(新潟)	遞信省電氣局
Takeuti-Tutomu	竹内功(東京)	遞信省電氣試驗所第五部
Tanaka-Kôhei	田中康平(新潟)	新潟縣中頸城郡旭村
Tukamoto-Takeo	塚本武夫(新潟)	長野縣工業試驗所
Yamamoto-Sôtarô	山本莊太郎(新潟)	日本電氣株式會社
Yasioka-Kazuo	吉岡一雄(富山)	富山縣警察部保安課

第二回卒業者 (28名) 昭和三年三月

Aoyagi-Monsiti	青柳紋七(新潟)	新潟縣立新發田商業學校
Hanawa-Yosio	塙義雄(茨城)	理化學研究所
Honma-Kôiti	本間孝一(新潟)	京阪電氣鐵道株式會社
Hosino-Nobuo	星野信夫(新潟)(内山ト改姓)	岩船港修築事務所
Hukuda-Hideo	福田秀夫(栃木)	鐵道省官房研究所大井分室
Inada-Humio	稻田文雄(富山)	富山縣電氣局
Kaidu-Sin'ei	海津信衛(新潟)	中央度量衡器檢定所大阪支所
Kanayama-Hideo	金山秀雄(新潟)	東京鐵道局電氣課
Kimura-Sigeo	木村重雄(新潟)	北越水力電氣株式會社
Kitamura-Kôtoku	北村孝德(長野)	上總電氣株式會社
Moriyama-Hiromu	森山擴(新潟)	京都市電氣局營業課
Murayama-Saburô	村山三郎(新潟)	日立製作所東京本社
Nisiyama-Nisaburô	西山二三郎(新潟)	日本海電氣株式會社
Nisizawa-Heiitirô	西澤平一郎(新潟)	北海水力電氣株式會社
Nomoto-Matusiti	野本松七(新潟)	三河水力電氣株式會社
Oda-Seizi	小田正二(新潟)	鐵道省電氣局電化課
Oda-Syôroku	小田莊六(新潟)	新潟縣警察部保安課
Oda-Tokunosuke	小田德之助(新潟)	日本電報通信社福岡支局
Oosima-Kenzô	大島健三(新潟)	仙臺鐵道局青森驛通信區

Ootuka-tamekiti	大塚爲吉(新潟)	京都電燈株式會社福井支社
Sirai-Takesi	白井武(新潟) (青木ト改姓)	新潟縣立長岡工業學校
Suzuki-Iwao	鈴木岩雄(新潟) (河田ト改姓)	新潟電力株式會社
Takahasi-Tunezi	高橋恒次(新潟)	新潟電力株式會社
Taniuti-Tyûtarô	谷内忠太郎(新潟)	昭和肥料株式會社川崎工場
Tatikawa-Masazi	太刀川正二(新潟)	北越水力電氣株式會社
Watanabe-Hideo	渡邊秀男(新潟)	日本石油株式會社秋田黒川發電所
Yamaguti-Masamori	山口正盛(長野) (石井ト改姓)	中央電氣株式會社松本支社
Yosimura-Seizirô	吉村清次郎(長野)	樺太電氣株式會社

第三回卒業者（37名）昭和四年三月

Ban-Tunesaku	伴常作(新潟)	大同電力株式會社古川橋保線區
Bôzyô-Tadao	坊上忠雄(香川)	四國水力電氣株式會社
Daikôzi-Masami	大光寺正見(岩手)	札幌遞信局
Hasegawa-Tosio	長谷川俊男(新潟)	日立製作所營業課
Hirose-Syunzi	廣瀨俊司(新潟)	黒部川電力株式會社
Itô-Keiti	伊藤敬一(新潟)	東信電氣株式會社今井變電所
Kanbe-Tadasi	神戸正(新潟)	東信電氣株式會社高瀨川第五發電所
Kawasima-Kôhei	川島康平(新潟)	陸軍通信學校研究部
Kimura-Nobuzi	木村信次(靜岡)	(自營)靜岡縣小笠郡堀ノ内町
Kizima-Nisaku	木島仁策(新潟) (正次郎ト改名)	南滿洲鐵道株式會社奉天保線事務所
Kuriyama-Kiyosi	栗山潔(兵庫)	川崎造船所
Maezawa-Atusi	前澤篤(新潟) (多川ト改姓)	川崎造船所
Matui-Tosio	松井敏夫(福岡)	南滿洲鐵道株式會社建設局
Matukawa-Sinya	松川申也(新潟)	長岡高等女學校
Minemura-Risuke	峯村利助(新潟)	日本曹達株式會社二本木工場
Murata-Sigetami	村田茂民(岡山)	中國合同電氣株式會社
Oka-Syôgorô	岡正午郎(新潟)	日本光學工業株式會社

Coti-Hirosi	大智浩(岡山)	東京美術學校工藝科
Cowada-Moritane	大和田盛胤(秋田)	富山縣電氣局上瀧發電所
Otiai-Isamu	落合勇(靜岡)	川崎造船所製鋲工場
Saitô-Tadasi	齋藤征(新潟)	昭和肥料株式會社川崎工場
Saitô-Yû	齋藤勇(新潟)	本校圖書課
Sakai-Mazaemon	酒井周左工門(富山)	川北電氣土木株式會社
Sakurai-Siu'itirô	櫻井新一郎(新潟)	遞信省電氣試驗所第三部
Satô-Hideo	佐藤秀男(新潟)	東武鐵道株式會社電氣課
Satô-Susumu	佐藤晋(群馬)	大阪市立都島工業學校
Seki-Kanae	關香苗(新潟)	芝浦製作所技術調査部特許係
Takahasi-Yosio	高橋芳雄(新潟)	仙臺鐵道局
Takeuti-Syôzi	竹内昇司(新潟)	新潟電力株式會社
Tanaka-Yosio	田中芳夫(靜岡)	死亡
Taneoka-Kunitake	種岡國威(新潟) (前川ト改姓)	陸軍技術本部第一部調機班
Tatiiri-Minoru	建入實(新潟)	シゲル商會(大阪)
Tuboya-Zenzaburô	坪谷善三郎(新潟)	小林電機工場
Wasio-Seidi	鷲尾靜治(新潟) (小林ト改姓)	イーグル商會
Yamaguti-Hirosi	山口宏(新潟)	東京鐵道局
Yamasita-Humio	山下文雄(新潟)	小寺電氣商會(東京)
Yosida-Yosiharu	吉田義治(新潟)	理化學興業株式會社比角工場

第四回卒業者（33名）昭和五年三月

Arai-Zen'iti	荒井善一(新潟)	新潟縣刈羽郡中鯖石村
Hanamura-Sueiti	花村末市(長野)	東信電氣株式會社
Hasidate-Takeo	橋立武夫(新潟)	鐵道省電氣局電化課
Hibi-Yasu	日比保(愛知)	德島放送局
Hosoya-Kenzô	細谷謙三(新潟)	横濱高等工業學校勤務
Imai-Kisuke	今井喜助(大阪)	琴平參宮電鐵株式會社
Imai-Wasaburô	今井和三郎(富山)	日本電力株式會社
Iyama-Sigesaburô	井山重三郎(山形)	日本ポリドール蓄音機商會

Kabasawa-Yosiharu	椛澤義治(新潟)	阪本特許事務所
Kaneko-Makoto	金子誠(新潟)	北越水力電氣株式會社禮拜變電所
Kobayasi-Sôsaku	小林惣作(新潟)	富山縣高岡工藝學校
Kôno-Sintarô	河野新太郎(兵庫)	(自營)電機製作所
Kudima-Yukata	久津名裕(福島)	島根縣簸川郡今市町653
Matukawa-Kiyosi	松川潔(新潟)	秋田鑛山專門學校勤務
Minagawa-Tunezi	皆川恒次(新潟)	新潟電氣鐵道株式會社
Morohasi-Kinzirô	諸橋金次郎(北海道)	第二富士電力株式會社峰變電所
Morohasi-Yasusi	諸橋仁(新潟)	新潟縣南蒲原郡今町
Nisiyama-Syôgorô	西山正五郎(新潟)	東京電燈株式會社
Nisizawa-Kurô	西澤九郎(長野)	名古屋鐵道局大宮變電所
Nonaka-Isamu	野中勇(新潟)	京王無線電機商會
Cguma-Mineo	小熊三子夫(新潟)	金澤市立工科學校
Ckamura-Kenzô	岡村謙藏(新潟)	東京電氣局赤坂建設所
Oomura-Masaya	大村正也(兵庫)	金澤放送局
Sakai-Syôiti	堺省一(新潟)	(新)製油所平澤工場
Sugiura-Rikiti	杉浦利吉(愛知)	東京瓦斯電氣工業株式會社
Takagi-Sueo	高木末夫(兵庫)	池浦無線電機商會
Takahasi-Seimatu	高橋清松(新潟)	京王無線電業所
Tatara-Sigeo	多田羅繁雄(香川)	明昭電機株式會社
Toya-Syûkiti	戸谷周吉(埼玉)	埼玉縣兒玉郡北泉村富田
Tukano-Ikusa	塚野軍(新潟)	死亡
Uehara-Zenziurô	上原善二郎(鳥取)	仲野製作所
Uranisi-Siduoki	浦西賤起(奈良)	杉浦電機製作所
Ziubo-Kaoru	神保馨(新潟)	仙臺遞信局工務課長岡試驗所

第五回卒業者 (36名) 昭和六年三月

Hasegawa-Keikiti	長谷川啓吉(新潟)	北越水力電氣會社禮拜變電所
Hasegawa-Satosi	長谷川敏(新潟)	宮城縣電氣局
Hayasi-Singo	林眞悟(愛知)	日本碍子株式會社

Hinata-Yukinao	日向幸直(石川)	金澤放送局
Hirayama-Morie	平山守江(福島)	福島縣耶麻郡磐保村土町
Hosaka-Keitarô	保阪敬太郎(京都)	滿洲電信電話株式會社
Hotta-Kiyosi	堀田清(新潟)	長岡市上田町
Hudita-Sirô	藤田四郎(山口)	山口縣阿武郡大井村
Iimuro-Makoto	飯室誠(山梨)	甲府電力株式會社
Isizaka-Sôkiti	石坂壯吉(新潟)	橫濱商店
Irisawa-Kenzô	入澤健三(新潟)	東京無線電機會社
Kaneko-Kiyosi	金子清(新潟)	蒲原鐵道株式會社
Katô-Masazi	加藤政司(新潟)	千葉縣津田沼町
Kita-Ryôkiti	喜多亮吉(石川)	金澤市水道局電氣課
Kitagata-Yositomo	北形義友(石川)	金澤電氣軌道株式會社
Maezawa-Osamu	前澤治(富山)	富山縣電氣局眞川發電所
Makino-Sinobu	牧野信夫(鳥取)	英弘商會
Miyake-Hirosi	三宅廣(京都)	大阪市住吉區田邊本町4.26 二見方
Miyao-Masao	宮尾政雄(新潟)	東京電球工業組合
Mori-Sigeharu	森滋治(富山)	天滿織物會社笹津工場
Niida-Yukio	新井田幸男(福島)	扶桑電機製作所
Okazaki-Kanae	岡崎鼎(山口)	吳海軍工廠
Sakadume-Tetuzi	坂爪徹次(新潟)	北越製紙株式會社新潟工場
Seo-Tetuzirô	瀨尾哲二郎(兵庫)	中國電氣株式會社
Sudô-Syûgo	須藤修五(群馬)	長野放送局
Sudô-Yosiaki	須藤良明(新潟)	福島電燈株式會社
Susuki-Tadakazu	須々木忠一(岡山)	日本電氣工業株式會社
Suzuki-Sigeo	鈴木重雄(新潟)	長野放送局
Takahasi-Motomatu	高橋元松(新潟)	勇拂電燈會社
Takeda-Sin'itirô	武田信一郎(新潟)	東京電燈株式會社
Tanaka-Hideo	田中秀雄(新潟)	仙臺市役所
Tanaka-Sigeru	田中茂(新潟)	仙臺鐵道局新津通信區
Tutida-Ikurô	土田郁郎(京都)	同志社大學
Yamamiya-Ikuya	山宮郁彌(新潟)	遞信省電氣試驗所
Yanagisawa-Tokisirô	柳澤土岐四郎(長野)	東信電氣株式會社

Yanase-Sigetosi	柳瀬茂敏(富山)	富山縣電氣局

第六回卒業者（33名）昭和七年三月

Adati-Rokurô	足立六郎(鳥取)	セネラルモーター株式會社
Akimoto-Sigeru	秋本茂(山口)	大阪中央放送局
Hanyûda-Hirosi	羽生田博(長野)	長野電燈株式會社
Hasegawa-Masaki	長谷川政喜(長野)	合資會社三洋商會
Hayasi-Kiyosi	林清(大阪)	東京工業大學電氣工學科在學
Horie-Masao	堀江政雄(新潟)	日本放送協會技術研究所
Hudiyosi-Sakio	藤吉鉾夫(岐阜)	豊田綾機會社新川工場
Ikenaga-Masahiko	池永政彦(和歌山)	南海鐵道株式會社
Inoue-Hideo	井上英雄(香川)	香川縣綾歌郡坂出町
Inoue-Kwanta	井上寛太(香川)	高松電氣軌道株式會社
Iwata-Nobutaro	岩田信太郎(群馬)	横須賀海軍工廠機雷實驗部
Kaneda-Tosio	金田敏男(山口)	山口縣電氣局工務課
Kawasaki-Tomomasa	川崎友正(大阪)	東京市電氣局
Kawasima-Seigo	川島省吾(大阪)	日本電氣株式會社廣田工場
Kobayasi-Kihati	小林季八(新潟)	日立製作所日立工場
Kuroda-Sigenori	黒田茂則(兵庫)	死亡
Kusaka-Kaduo	日下和夫(岡山)	廣島遞信局津山局
Murayama-Hirosi	村山浩(新潟)	東信電氣株式會社
Nakagawa-Tatuo	中川達雄(靜岡)	海軍艦政本部第二部
Nakano-Seisaku	中野清作(新潟)	松本電機計器株式會社
Nobe-Tadaaki	野邊忠明(埼玉)	海軍技術研究部
Noda-Isao	野田勳(新潟)	新潟電力株式會社
Nozima-Hatirô	廼島八郎(新潟)	日本鋼管株式會社
Oohasi-Gorô	大橋五郎(新潟)	北越製紙株式會社
Oonisi-Hideyuki	大西秀之(香川)	大阪鐵工所因島工場
Cota-Saburô	太田三郎(埼玉)	川越市川越823
Satô-Yosiya	佐藤義也(新潟)	本校電氣教室

Simidu-Toyokiti	清水豊吉(山口)	昭和製鋼所
Tanaka-Yasumasa	田中泰正(新潟)	山武商會
Ueki-Itimatu	植木市松(新潟)	東京計器製作所研究部
Yamane-Kenzirô	山根憲次郎(鳥取)	臺灣總督府交通局
Yosikawa-Asadi	吉川朝治(奈良)	松下電器製作所
Yuiyama-Nobutosi	唯山信利(北海道)	北海道苫小牧工業學校

昭和七年四月卒業者（1名）

Otiyama-Hirosi	落山弘(兵庫) (松井ト改姓)	兵庫縣立工業學校

第七回卒業者（31名）昭和八年三月

修業者（1名）

Abe-Takeo	阿部武夫(新潟)	商工省特許局
Amari-Genya	甘利源彌(長野)	東信電氣株式會社
Aoyagi-Syôzi	青柳正二(新潟)	安立電氣株式會社
Hayana-mituo	早野三夫(岐阜)	ロツクドリル株式會社
Isizaka-Sitirô	石坂七郎(新潟)	株式會社芝浦製作所
Iwasaki-Yositaka	岩崎美孝(東京)	札幌鐵道局
Katô-Bunzi	加藤文司(新潟)	明昭電機株式會社
Kimura-Yosikatu	木村淑克(新潟)	入營中
Kobayasi-Gunzi	小林郡次(大阪)	南海鐵道株式會社
Kondô-Hidezirô	近藤秀次郎(鳥取)	鳥取縣米子市法勝寺町
Matuzaki-Mutudi	松崎睦治(新潟)	新潟製氷株式會社
Morimoto-Seiiti	盛本清一(富山)	立山水力電氣株式會社
Muraki-Yosio	村木由夫(新潟)	日立製作所日立工場
Nagasaka-Sotozi	長坂外次(富山)	日本海電氣株式會社
Nakagawa-Yûzô	中川勇三(新潟)	東京遞信局工務課
Oda-Isinosuke	織田石之助(愛媛)	愛媛縣伊豫郡砥部町
Oda-Sei	小田鉦(愛知)	長野縣上田市南天神町

Okamoto-Sigeru	岡本	茂(三重)	大阪鐵道局保線事務所
Conisi-Mituo	大西滿男(山口)		昭和製鋼所
Saitô-Seigi	齋藤正義(新潟)		電氣協會電氣計器試驗所
Simakage-Hideo	島影秀夫(福島)		東部電力株式會社郡山支店
Suzuki-Tokiya	鈴木時哉(新潟)		關西共同火力發電株式會社
Takano-Masao	高野正夫(新潟)		新潟電氣工業株式會社
Tubone-Yosio	坪根芳雄(長野)		メトロ電球製作所
Ueki-Kusaburô	植木九三郎(新潟)		入營中
Usuda-Masazi	臼田正二(富山)		富山縣電氣局
Yago-Tosikazu	矢後俊三(富山)		富山縣西礪波郡戸出町
Yamada-Saburô	山田三郎(福井)		南滿洲鐵道株式會社
Yamamura-Yutaka	山村	豊(鳥取)	大阪帝國大學工學部在學
Yanagawa-Kiyosi	柳川	清(北海道)	陸軍通信學校
Yokote-Mituo	横手光	雄(和歌山)	川崎造船所

修 業 者

Siono-Kiyosi	鹽野	清(石川)	金澤市英町

第八回卒業者（36名）昭和九年三月

Doi-Kiyomi	土居清美(高知)		滿洲國奉天加藤町6
Hasegawa-Hazime	長谷川	一(兵庫)	南滿洲鐵道株式會社
Hasidate-Isamu	橋立	勇(新潟)	横川電機株式會社
Hosomi-Keiô	細見圭翁(京都)		牧田製作所
Kakino-Isao	垣野	亥三男(三重)	東京市電氣研究所
Katada-Susumu	片田	進(新潟)	小林電機工場
Katô-Takanobu	加藤孝信(富山)		富山縣電氣局
Kawasima-Syôzô	川島正三(新潟)		東京電氣株式會社
Kittaka-Nobuo	橘高信夫(廣島)		芝浦製作所
Kondô-Tadasi	近藤	禎(新潟)	新潟縣北蒲原郡濁川村
Kunihara-Yosio	國原芳夫(石川)		日本海電氣株式會社
Kuwada-Hirosi	桑田	弘(廣島)	日本電池株式會社

Maeda-Kiyosi	前田	清(三重)	大阪放送局
Matubara-Ryôzô	松原了三(新潟)		元内製作所
Matui-Syunpei	松井俊平(新潟)		札幌鐵道局
Matuzuki-Seisaku	松崎清作(新潟)		芝浦製作所鶴見工場
Miduno-Syôitirô	水野正一郎(東京)		日本信號株式會社大森工場
Nakai-Katutosi	中井勝利(富山)		日本海電氣株式會社
Nakamura-Takeya	中村健也(兵庫)		共立自動車製作所
Nidaira-Masabumi	仁平正文(茨城)		福島縣若松市行人町58
Nisioka-Hirosi	西岡	博(三重)	南滿洲鐵道株式會社
Oono-Rokurô	大野六郎(新潟)		長岡市渡里町雷川方
Saito-Takesi	齋藤	健(新潟)	日立製作所日立工場
Sakakura-Yotarô	坂倉與太郎(三重)		三重縣三重郡楠村
Suzuki-Masaki	鈴木正材(愛媛)		日本電力株式會社
Takahasi-Takatosi	高橋隆甫(新潟)		理研ヒストンリング株式會社
Takahasi-Tosio	高橋敏雄(新潟)		新潟縣三島郡與板町長町
Takeuti-Takasi	竹内	孝(新潟)	芝浦製作所
Tanaka-Mutuo	田中睦夫(鹿兒島)		門司鐵道局
Taniguti-Hisao	谷口久夫(東京)		沖電氣株式會社
Tuboya-Tosio	坪谷敏雄(新潟)		仙臺鐵道局
Watanabe-Etuzi	渡邊悦二(新潟)		滿洲電信電話株式會社
Watanabe-Minoru	渡邊	實(愛知)	名古屋市中區南大津町
Yai-Takeo	屋井武雄(新潟)		東京遞信局工務課
Yanagi-Syôzi	柳正司(新潟)		南滿洲鐵道株式會社
Yosida-Takeo	吉田武夫(德島)		德島縣板野郡川内村

機 械 工 學 科

第一回卒業者（22名）昭和二年三月

Abe-Eisuke	阿部永介(新潟)		壽製作所
Aoyama-Hirosi	青山	浩(新潟)	新潟縣警察部

Hirata-Kyôhei	平田喬平(群馬)	群馬縣佐波郡伊興久
Isihara-Hironobu	石原博陳(東京)	大阪汽車製造株式會社
Katô-Kaizi	加藤海兒(東京)	新潟縣西蒲原郡彌彦村
Katô-Yosio	加藤良男(新潟)	臺灣總督府交通局鐵道部高雄工場
Kobayasi-Masahumi	小林正文(長野)	長野市横澤町15
Kondô-Gorô	近藤悟郎(新潟)(大谷ト改姓)	日本製粉株式會社横濱工場
Kuroda-Kiyosi	黒田清(新潟)	新潟鐵工所長岡分工場
Miyazaki-Kôzô	宮崎宏藏(新潟)	新潟縣窯業試驗所
Murayama-Yosio	村山芳男(新潟)	神戸製鋼所播磨造船工場
Nagai-Katuzi	永井勝二(新潟)	川崎造船所
Nagasaka-Tetuo	長坂鐵男(富山)	碌々商店
Nakaso-Tosinosuke	中曾敏之助(愛知)	長岡鐵工所
Nakayama-Sakuhei	中山作平(新潟)	鐵道省大井工場
Ogawa-Kendi	小川賢治(新潟)	鐵道大臣官房研究所
Okui-yosie	奥井義衛(島根)	川崎造船所飛行機部
Oosima-Zenkiti	大島善吉(新潟)	神戸製鋼所
Satô-Ryôzi	佐藤亮二(新潟)(坪井ト改姓)	津上製作所
Tikaraisi-Masami	力石誠身(新潟)	池田工業事務所
Yoden-Kidyû	余田喜重(兵庫)	農林省蠶業試驗所
Yosikosi-Seidi	吉越清治(新潟)	東京鐵道局山北機關車

第二回卒業者（28名）昭和三年三月

Aikawa-Sumio	相川澄雄(群馬)	東海鉛管株式會社
Arai-Tatuo	新井達雄(新潟)	鐵道大臣官房研究所大井分室
Hanyû-Isamu	羽入勇(新潟)	陸軍技術本部
Hara-Kenzi	原健二(新潟)	死亡
Hasegawa-Kazuo	長谷川一男(新潟)	日本石油株式會社
Hosino-Itiya	星野一也(新潟)	理化學興業株式會社柏崎工場
Kanie-Hyôiti	蟹江兵一(愛知)	東京市豊島區高田町雜司ヶ谷町622

Kaneko-Humio	金子文雄(新潟)(德田ト改姓)	神戸製鋼所
Kasima-Syôgo	鹿島省吾(千葉)	岩崎レール商會月島工場
Kobayasi-Masanao	小林正直(新潟)	東京鐵道局千葉運輸事務所
Kobayasi-Torao	小林虎雄(新潟)	東京帝國大學航空研究所
Komagata-Ryôsaku	駒形良作(新潟)(守男ト改名)	死亡
Minagawa-Kibisi	皆川巖(新潟)	理化學興業株式會社
Murakami-Tetuo	村上哲男(愛媛)	大阪鐵工所因島工場
Nakayama-Bungo	中山文吾(新潟)	新潟縣中蒲原郡亀田町早通
Nisiki-Seisaku	西木晴策(新潟)	(自營)製紙工場
Oka-kunio	岡九二男(新潟)	難波鐵工所
Oosaki-Tadao	大崎忠男(新潟)	横須賀海軍工廠
Oota-Nobusige	太田信重(新潟)	陸軍通信學校
Sakai-Masao	阪井政夫(大阪)	大阪市電氣局
Sanemasa-Yosiharu	實政義治(廣島)	日東セメント會社
Simaoka-Heizô	島岡平藏(新潟)	新潟縣立高田商工學校
Simoda-Sinzi	下田信次(新潟)	(自營)長岡市宮原町
Sugai-Gorô	須貝五郎(新潟)(小林ト改姓)	新潟縣耕地整理排水改良事務所
Takahasi-Tokusaburô	高橋德三郎(新潟)	仙臺鐵道局土崎工場
Takai-Sinsuke	高井進介(栃木)(野中ト改姓)	測機舍製作所
Takeuti-Takezi	武内武司(新潟)	扶桑鋼業株式會社
Tanabe-Denzô	田邊傳三(新潟)	死亡

第三回卒業者（28名）昭和四年三月

Abe-Itirô	阿部一郎(岩手)	海軍技術研究所航空研究部
Aoki-Zyun'nosuke	青木順之助(埼玉)(和田ト改姓)	大阪瓦斯株式會社
Beppu-Sigeki	別府滋樹(長野)	昭和アルミニウム工業所
Hara-Sirô	原四郎(福島)	日本アルミナ横濱工場
Hasegawa-Teruo	長谷川光雄(埼玉)	王子製紙株式會社濱岡工場
Horita-Keizô	堀田啓三(富山)	大友商會

Hudii-Rinzô	藤井林藏(富山)	不二越鋼材株式會社
Imoto-Kwandyû	井本寬重(島根)	死亡
Kanayama-Sirosi	金山皓(新潟)	株式會社東京計器製作所
Kaneko-Sirôzi	金子四郎次(群馬)	新潟鐵工所新潟工場
Kanzô-Nobuo	神藏信雄(新潟)	愛知時計電機株式會社
Kawamura-Susumu	川村晋(高知)	臺灣電力株式會社臺北火力發電所
Kimura-Hideo	木村秀雄(新潟)	川崎造船所
Kin-kensyô	金賢燮(朝鮮)	朝鮮大同警察署
Koike-Sirô	小池四郎(福島)	福島縣耶麻郡慶德村豐田今町
Kubo-Myôiti	窪明一(新潟)	新潟縣金工試驗所
Manba-Tutomu	萬羽邁(新潟)	奉天造兵所兵器製造所
Matuhara-Masaki	松原正樹(新潟)	新潟鐵工所新潟工場
Nakamura-Takeo	中村武夫(新潟)	早川工務所
Nakano-Kotôda	中野小藤太(長野)	新潟鐵工所新潟工場
Nakano-Yosio	中野義雄(新潟)	理化學興業株式會社
Nanba-Tunesige	難波常繁(新潟)	株式會社大阪鐵工所
Oota-Syôzaburô	太田昇三郎(新潟)	仙臺鐵道局土崎工場
Saitô-Teidirô	齋藤貞治郎(新潟)(禎志ト改名)	新潟鐵工所
Simadu-Syûdi	島津秋治(滋賀)	倉庫精練株式會社
Tatibana-Yaiti	橘彌一(福井)	東京電氣株式會社川崎工場
Utuki-Sin	宇津木信(福島)	東京市中野區沼袋北1ノ132
Yazima-Sikibu	矢島式部(長野)	神戶製鋼所

第四回卒業者（34名）昭和五年三月

Araki-Naozi	荒木直司(群馬)	仙臺鐵道局新津機關車
Honma-Yusakiti	本間勇佐吉(新潟)	理化學研究所
Hosoya-Tokuzi	細谷得二(新潟)	東京鐵道局大宮工場
Hudii-Sigeru	藤井茂(兵庫)	大阪中央放送局
Huruiti-Sigeru	古市茂(福井)	死亡
Isimura-Yosiyuki	石村義之(新潟)	藤永田造船所敷津工場

Itagaki-Manabu	板垣學(山形)	日本機械合資會社
Kitamura-Tômoo	北村知男(長野)	長岡鐵道株式會社
Kobayasi-Syuiti	小林守一(新潟)	鞍渡鐵工所
Kondô-Seidi	近藤誠治(新潟)	旅順工科大學機械科勤務
Kondô-Tiaki	近藤千秋(新潟)	新潟鐵工所新潟工場
Kusunoki-Minoru	楠三德(香川)	第十六師團兵要地誌班
Makino-Humio	牧野文男(大阪)(定井ト改姓)	大阪市電氣局天王寺自動車運輸事務所
Masui-Tositake	增井利武(兵庫)	神戶市役所商工課
Mori-Masao	森正雄(東京)	東京市板橋區石神井立野町2108
Nagasawa-Suesiti	長澤末七(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Nakanisi-Masatake	中西正武(熊本)	平安南道警察部
Oguri-Yosimasa	小栗義全(東京)	廣島放送局技術部
Okamura-Ken	岡村憲(新潟)	本校機械教室
Oniki-Kizô	鬼木喜三(福岡)	商工省特許局
Okubo-Tôru	大久保透(茨城)	鄂山地方專賣局
Ooya-Hirokazu	大矢廣祉(新潟)	鄂是製糸株式會社
Saitô-Teiiti	齊藤貞一(新潟)	須藤鐵工所(長岡市)
Satô-Tomizirô	佐藤富二郎(新潟)	豐田式織機株式會社
Sinzawa-Yosio	新澤義夫(新潟)	新潟縣立糸魚川中學校
Sirai-Seizi	白井清次(北海道)	札幌鐵道局改良課
Tago-Teisuke	多胡悌介(福島)(早川ト改姓)	下關瓦斯株式會社
Takano-Hideo	高野日出男(新潟)	新潟縣立三條商工學校
Toda-Kinsaku	戶田勤作(新潟)	新潟縣立十日町中學校
Tuda-Sirô	津田四郎(東京)	測英舍
Tutiya-Mitituna	土屋通綱(靜岡)	日本自動車株式會社
Wasida-Ziro	鷲田二郎(新潟)	新潟市水道擴張部
Yamaguti-Yasusi	山口恭(茨城)	寶雲舍編輯部
Yamazaki-Seturô	山崎節郎(兵庫)	藤永田造船所

第五回卒業者（36名）昭和六年三月

Abe-Seinosuke	阿部	誠之助(新潟)	大阪鐵道局鷹取工場
Ahara-Masakatu	阿原	將勝(富山)	佐藤工業株式會社
Go-Tonsan	吳	墩燦(臺灣)	日本石油株式會社大面工場
Isida-Hide	石田	秀(新潟)	帝國人造絹糸株式會社
Issi-Nagao	一志	長雄(長野)	日本輸出自轉車協會
Kakuda-Syôzi	角田	正二(新潟)	大阪機械製作所
Katayama-Zenpei	片山	善平(新潟)	越後札紙會社
Kimura-Takeo	木村	武夫(新潟)	橫須賀海軍工廠航空機實驗部
Kimura-Tosio	木村	敏雄(新潟)	東京工業大學機械工學科在學
Kisino-Sôzaburô	岸野	宗三郎(宮城)	不二越鋼材株式會社
Kobayasi-Kihatirô	小林	熙八郎(新潟)	新潟鐵工所
Kobayasi-Syunzô	小林	俊造(新潟)	日本光學工業株式會社
Komaki-Ryôiti	小牧	良一(神奈川)	東洋製鋼株式會社
Kubota-Tosio	久保田	俊夫(福井)	梅鉢機械製作所
Makiguti-Yosikatu	牧口	義勝(新潟)	新潟鐵工所柏崎工場
Matuda-Hiromi	松田	博海(岡山)	關西共同火力發電株式會社
Matui-Mituo	松井	光雄(栃木)	日立製作所龜戸工場
Matukawa-Onari	松川	男也(新潟)	新潟縣三條町四日町
Midorikawa-Yosio	綠川	義雄(東京)	報知新聞社工務局
Nagai-Hiromiti	長井	廣道(山口)	大阪特許代理局
Nakamura-Masamoto	中村	匡源(長野)	報知新聞社工務局
Nirasawa-Yosirô	韮澤	義郎(新潟)	報知新聞社工務局
Ogura-Kwan'iti	小倉	完一(東京)	新潟縣警察部
Okamoto-Yosio	岡本	義男(廣島)	大阪工業大學機械工學科在學
Okuda-Tokuzi	奥田	德次(新潟)	大隈鐵工所
Oisi-Noboru	大石	登(佐賀)	死亡
Omura-Hidesaburô	大村	秀三郎(新潟)	日本エタニットパイプ株式會社
Sakai-Kunimatu	酒井	邦松(新潟)	大阪機械製作所
Sinoda-Bunpei	篠田	文平(東京)	奉天兵器製造所
Takahasi-Akira	高橋	彰(新潟)	新發田瓦斯會社

Tyôgwanzi-Tetusiro	中元寺	鐵城(宮城)	東京瓦斯電氣株式會社
Utiyama-Yasuo	內山	安夫(新潟)	死亡
Yamada-Tôgorô	山田	東五郎(新潟)	桐生機械株式會社
Yamagata-Nobuhiko	山縣	伸彦(山口)	影山機械製作所
Yamazaki-Tadasi	山崎	正(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Yasuda-Kitaru	安田	來(岐阜)	愛知縣廳土木課

昭和六年十一月卒業者（1名）

Kômoto-Masahiko	甲本	正彦(岡山)	新京國務院國道局

第六回卒業者（33名）昭和七年三月

Daikôzi-Masayuki	大光寺	正行(岩手)	吳海軍工廠砲煩部
Honda-Syôgo	本田	省吾(兵庫)	鈴耳納金山
Hosokai-Sinzô	細貝	信三(新潟)	小島鐵工所
Hudie-Renpei	藤江	廉平(靜岡)	國產電機株式會社
Ikeda-Katuyosi	池田	克芳(山口)	吳海軍工廠魚雷實驗部
Isii-Tisato	石井	千里(千葉)	入營中
Kosugi-Gentarô	小杉	源太郎(山梨)	昭和光機株式會社
Matuda-Nobuzirô	松田	宣次郎(鳥取)	川崎造船所
Matuzawa-Teruo	松澤	光雄(長野)（半田ト改姓）	吳海軍工廠砲煩部
Minagawa-Yositarô	皆川	良太郎(福岡)	東京瓦斯電氣工業株式會社
Minami-tosio	南	利雄(兵庫)	川崎造船所造機設計部
Misawa-Masayuki	三澤	正之(廣島)	廣海軍工廠航空機部
Miyano-Zirô	宮野	二郎(靜岡)	大阪帝國大學工學部
Nakabayasi-Syûdi	中林	修治(新潟)	大阪機械製作所
Nakano-Hirosi	中野	廣(兵庫)	吳海軍工廠砲煩部
Nakayama-Huzio	中山	富士雄(兵庫)	大阪機械製作所
Nisimori-Kazuo	西森	一雄(大阪)	(自營)機械工業
Oomae-Yasuhiko	大前	康彦(和歌山)	吳海軍工廠造機部
Oyanagi-Tomoiti	小柳	友一(新潟)	東京衡機製造所

Saitô-Syôhei	齋藤正平(神奈川)	横須賀海軍工廠機雷實驗部
Saitô-Yosio	齋藤芳男(新潟)	吳海軍工廠造機部
Satô-Takeo	佐藤武夫(新潟)	新潟縣金工試驗場
Sei-Yôitirô	清洋一郎(靜岡)	增野製作所
Sekine-Kyôzô	關根恭三(新潟)	神戸製鋼所
Sugimoto-Hirohumi	杉本公文(岡山)	大阪刑務所作業技術部
Suzuki-Motohiro	鈴木原弘(新潟)	理化學興業柏崎工場
Takahasi-Kiyomi	高橋清見(北海道)	大阪工業大學機械工學科在學
Takehi-Tosio	武樋俊雄(新潟)(小林ト改姓)	神戸製鋼所
Tanaka-Toyoiti	田中豐一(新潟)	日本機械製作所
Turuta-kazuo	鶴田一男(鹿兒島)	横須賀海軍工廠造兵部
Watanabe-Kaname	渡邊要(靜岡)	日本電波株式會社
Watanabe-Ryô	渡邊了(兵庫)	東京計器製作所
Yamada-Kwandi	山田寬治(兵庫)	兵庫縣揖保郡旭陽村宮內

第七回卒業者（27名）昭和八年三月

Akazawa-Takeo	赤澤武雄(長野)	早川工務所
Hukai-Tarô	深井太郎(新潟)	豐田式織機株式會社
Hukuda-Yosio	福田好雄(岡山)	日本製鐵株式會社
Huse-Sinzô	布施津三(新潟)	東京瓦斯電氣工業株式會社
Igarasi-Kiiti	五十嵐喜一(山形)(鍋田ト改姓)	仙臺鐵道局工作課
Inoue-Hidenobu	井上秀信(香川)	汽車製造株式會社
Iwasawa-Iwao	岩澤岩雄(新潟)	日本曹達株式會社
Kanô-Masao	加納政雄(兵庫)	新潟鐵工所新潟工場
Kawada-Akira	川田彰(香川)	汽車製造株式會社
Kitamura-Akira	喜多村明(東京)	明治製糖株式會社
Kobayasi-Mituru	小林滿(長野)	日立製作所日立工場
Matui-Sigeiti	松井繁市(奈良)	內務省廣島土木出張所
Matumoto-Minoru	松本實(埼玉)	東京工業大學機械工學科在學
Mori-Sigenobu	森茂信(富山)	第一ラミー紡績會社

Nakagami-Hideo	中神秀夫(愛知)	津上製作所
Nakamura-Kazuo	中村一雄(福岡)	神戸製鋼所
Noguti-Syôitirô	野口庄一郎(新潟)	新潟鐵工所
Oota-Syôiti	太田正一(香川)	宮崎市橘通十島屋方
Satô-Gorôuemon	佐藤五郎右工門(秋田)	日本酸素株式會社
Satô-Mituyosi	佐藤光義(新潟)	理化學興業株式會社柏崎工場
Suzuki-Saburô	鈴木三郎(千葉)	千葉縣印旛郡富里村高野351
Suzuki-Syôzi	鈴木正司(新潟)	北辰電機製作所
Tandô-Morimasa	丹藤盛昌(福島)	日立製作所日立工場
Ueno-Seisin	上野清信(大阪)	日本自轉車工業組合聯合會
Utugi-Kôsirô	宇津木幸司郎(靜岡)	內閣印刷局
Yagi-Yôzô	八木要三(香川)	日本金屬工業所
Yamamoto-Bunzi	山本文司(新潟)	日本鋼管株式會社

第八回卒業者（36名）昭和九年三月

Akano-Kendi	赤野健治(岡山)	山陽中央水電株式會社
Gotô-Giken	後藤義顯(東京)	千葉縣船橋町海神
Hamaguti-Katuzi	濱口克爾(福岡)	大阪機械製作所
Hatakeyama-Sitirô	畠山七郎(新潟)	川崎造船所
Hine-Hirosi	日根宏(和歌山)	東京鑄物工業株式會社
Hurutani-Masao	古谷正雄(德島)	小津武林工業株式會社
Iida-Yosio	飯田嘉雄(山口)	大阪市西淀川區御幣島町
Ikeda-Masao	池田正男(大阪)	牧田製作所
Imanari-Tutomu	今成力(新潟)	新潟鐵工所長岡工場
Ioku-Minoru	井奥實(兵庫)	株式會社原動機製造所
Irie-Rokurô	入江六郎(兵庫)	長岡鐵工所
Isiduka-Sadamu	石塚巽(新潟)	吳海軍工廠砲煙部
Isigurô-Tosirô	石黑敏郎(新潟)	長岡市本町三毛利方
Katô-Kôhei	加藤公平(香川)	日本酸素株式會社大阪工場
Kimoto-Kenzô	木本憲三(新潟)	津上製作所
Kabayasi-Zennosuke	小林善之助(大阪)	愛知時計電機株式會社

Koyanagi-Masami	小柳正巳(新潟)	理研ピストンリング株式會社柏崎工場
Maruyama-Syôzô	丸山昇造(大阪)	日本乾燥裝置商會
Matui-Dyôsuke	松井重輔(兵庫)	石川島造船所
Miida-Tatuzirô	三井田達二郎(新潟)	仙臺鐵道局
Momotake-Takeo	百武竹男(新潟)	東京鐵道局運轉課
Nagao-Masao	長尾正雄(新潟)	海軍艦政本部第五部
Nisizaki-Kiyozi	西崎喜代次(岡山)	津上製作所
Okagaito-Kaoru	岡垣内馨(和歌山)	和歌山縣那賀郡小川村梅本
Owada-Takeitirô	大和田武一郎(大阪)	株式會社日本鑄鋼所
Sakuma-Hirosi	佐久間廣(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Sibata-Akira	柴田明(愛知)	理化學興業株式會社
Sotono-Takuiti	外野卓一(廣島)	灘鐵工所
Utimi-Hirosi	內海宏(神奈川)	陸軍航空本部東京檢査班
Wada-Hideo	和田秀雄(新潟)	愛知時計電機株式會社
Yamamoto-Mitio	山本道郎(岡山)	日立製作所
Yamazaki-Tamotu	山崎保(新潟)	日本光學工業株式會社
Yasuhuku-Tosikazu	安福俊一(兵庫)	兵庫縣武庫郡魚崎町
Yasui-Hirosi	安井弘(岡山)	明昭電機株式會社
Yoneyama-Masao	米山正夫(新潟)	臭海軍工廠砲熕部
Yosikawa-Tarô	吉川太郎(大阪)	奥山鐵工所

應用化學科

第一回卒業者（25名）昭和二年三月

Aoki-Tyûzô	青木忠藏(埼玉)	埼玉縣大里郡別府村
Aoyagi-Heihatirô	青柳平八郎(新潟)（內藤ト改姓）	北越製紙株式會社藏王工場
Asanuma-Kazuo	淺沼一夫(新潟)	新潟縣三島郡日吉村
Eguti-Kiyomatu	英口喜代松(新潟)	東京帝國大學勤務
Hayasi-Masuitirô	林陪一郎(富山)	死亡

Hayasi-Sigeo	林茂雄(鹿兒島)	合同油脂株式會社個工場
Hukusima-Noboru	福島昇(新潟)（要吉ト改名）	新潟縣立金工試驗所
Hurukawa-Torao	古川虎雄(新潟)（岩下ト改姓）	日本石油株式會社柏崎試驗所
Imai-Tosikazu	今井俊一(富山)	東京府下吉祥寺1737
Kaneda-Husao	金田英雄(島根)（太田ト改姓）	日東礦曹株式會社
Kaneko-Syôgorô	金子正五郎(新潟)	北越製紙株式會社長岡工場
Kuwabara-Tamizi	桑原民二(長野)	長野縣上田市中三條
Miyasita-Seiiti	宮下精一(新潟)	大日本特許肥料株式會社
Nanba-Ryûiti	難波隆一(新潟)	片倉越後製絲株式會社
Nogami-Nobuyuki	野上信行(新潟)	日本曹達株式會社富山工場
Sakurazawa-Kwanpei	櫻澤貫平(新潟)	東北帝國大學工學部勤務
Satô-Kiiti	佐藤喜市(新潟)	東京瓦斯株式會社瓦斯研究所
Suzuki-Kuraitirô	鈴木倉市郎(新潟)	鈴倉工場(新潟縣栃尾町)
Takahasi-Ataru	高橋中(新潟)	本校化學教室
Takahasi-Sôhatirô	高橋韮八郎(新潟)	日本電氣工業株式會社廣田工場
Teduka-Setuzi	手塚節二(長野)	商工省特許局
Tokida-Susumu	常田龜(長野)	長岡工業學校
Tutida-Susumu	土田進(新潟)	三共株式會社品川工場
Tutida-Takesi	土田武(新潟)	篠崎インキ株式會社
Uemura-Hideo	植村英雄(和歌山)	死亡

第二回卒業者（33名）昭和三年三月

Abe-Hironosuke	阿部弘之助(新潟)	栃尾實業學校
Abe-Kiyodi	阿部龜代治(新潟)	死亡
Amagai-Kôzi	天谷廣次(栃木)	東京市小石川區竹早町竹早館
Aoyagi-Yûdi	青柳勇治(新潟)	新潟縣廳
Hasegawa-Yosikatu	長谷川義勝(新潟)	葡萄鑛業所
Hirata-Masao	平田正夫(新潟)（五十嵐ト改姓）	日東礦曹株式會社
Ibi-Yosio	伊比義雄(新潟)	昭和香料製造所

Igarasi-Mitui	五十嵐　光(新潟)	造兵廠火工廠研究課
Ikai-Eiiti	井海榮一(新潟)	新潟瓦斯株式會社
Kamimura-Seigorô	上村清五郎(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Kaneyasu-Niitirô	金安仁一郎(新潟)	大阪瓦斯株式會社
Kasuga-Tensyô	春日天生(新潟)	新潟縣立佐渡中學校
Kasuga-Tokirô	春日時郎(新潟)	長野縣立木曾中學校
Kosuge-Siduo	小菅靜夫(新潟)	日本電氣工業株式會社廣田工場
Minami-Moriei	南　森榮(新潟)	大日本自轉車會社護謨工場
Misaki-Tatue	三崎長衛(新潟)	日本曹達株式會社會津工場
Mitigami-Sigeo	道上重雄(新潟)	印刷局印刷部研究所
Miyahara-Kanamori	宮原金盛(長野)	長野縣立蠶業試驗所
Motiduki-Yosihumi	望月美文(長野)	日本曹達株式會社二本木工場
Nakatani-Seinosuke	中谷精之助(奈良)	富士味噌醸造所
Narita-Isao	成田　功(高知)	名古屋市役所水道部
Cnuma-Disaku	小沼治作(福島)	東京工業大學電氣化學科在學
Oonisi-Syuiti	大西周一(富山)	日本曹達株式會社
Saitô-Hirokuni	齋藤博邦(新潟)	昭和合成燃料株式會社
Sakadume-Kôzô	坂爪幸三(新潟) (齋藤ト改姓)	長岡高等實業女學校
Tanaka-Teturô	田中哲郎(新潟)	新潟縣醸造試驗所
Tokawa-Nobuzi	外川信次(新潟) (佐藤ト改姓)	新潟縣立新潟盲學校
Yamada-Teikiti	山田貞吉(新潟)	遞信省電氣試驗所
Yamagisi-Akinori	山岸明德(新潟)	長岡市上中島町
Yatida-Takeo	谷田内武雄(新潟)	横濱市土木局
Yazima-Makoto	矢島　眞(新潟)	(自營)長岡市弓町
Yosida-Hirosi	吉田　博(新潟)	東京工業大學勤務
Yumoto-Masatosi	湯本應利(新潟)	東京税務監督局

第三回卒業者（29名）昭和四年三月

Hara-Mitio	原　道夫(新潟)	杉江製陶所(名古屋市)
Hosino-Atusi	星野　篤(新潟)	長岡市上田町

Hosino-Seikiti	星野誠吉(新潟)	日本製鉄株式會社
Hudii-Tahei	藤井多兵衛(栃木)	田島商工實務學校
Iguti-Hidekiti	井口秀吉(新潟)	日本醸造工業株式會社
Isikawa-Rokurô	石川六郎(長崎)	(自營)油脂工業
Koike-Motozi	小池元二(長野)	昭和製鋼所
Kotazima-Tanzi	古田島坦二(新潟)	日本電氣化學工業株式會社青海工場
Koyama-Gosaku	小山吾作(新潟)	東京瓦斯株式會社砂町製造所
Kitamura-Zyôkiti	北村譲吉(富山) (康吉ト改名)	富山縣電氣局
Mabuti-Tikakazu	馬淵親般(靜岡)	商工省福井輸出絹織物檢査所
Makino-Yasuo	牧野泰夫(福井)	大日本製糖株式會社
Matuzawa-Haruo	松澤春雄(長野)	岩城商店
Mizuki-Isami	水城伊左美(福岡) (山田ト改姓)	つちや足袋株式會社
Motoyosi-Masanori	元吉正文(千葉)	昭和肥料株式會社川崎工場
Nakamura-Kiyosi	中村　潔(新潟)	灘殊瑯タンク製造所
Cnoyama-Sinpei	小野山辛平(長野)	長野縣北佐久郡春日村
Coi-Kitizô	大井吉藏(秋田) (益子ト改姓)	館林瓦斯株式會社
Comiya-Syunzi	大宮俊二(新潟)	早山製油所
Saitô-Hideo	齋藤英夫(新潟)	丸新製油所
Tamino-Yasuzi	民野安二(富山)	富山化學研究所
Tomita-Takeo	富田武雄(埼玉)	淺野セメント株式會社門司工場
Tutikawa-Kôhu	土川孝生(福井)	昭和肥料株式會社鹿瀬工場
Utiyama-Takeo	内山武夫(福井)	宇品陸軍糧秣廠
Watanabe-Masao	渡部政雄(新潟)	ミクニ・アスファルト乳劑製造所
Yamamoto-Yasugorô	山本康五郎(鳥取)	昭和レーヨン株式會社
Yamazaki-Kenzi	山崎憲司(新潟) (澁谷ト改姓)	三省堂蒲田工場
Yokoyama-Risaku	横山利策(新潟)	新潟硫酸株式會社
Yosida-Yutaka	吉田　豊(新潟)	東洋電氣工業會社

第四回卒業者（26名）昭和五年三月

Amegai-Yasuhide	雨谷泰秀(茨城)	樺太廳警察部保安課
Hirata-Yutaka	平田豐(德島)	德島縣美馬郡岩倉村
Hosokai-Saburô	細貝三郎(新潟)	死亡
Iwamasa-Yasusi	岩政泰(山口)	山口縣都農郡夜市村
Kitahara-Tosiaki	北原利秋(福岡)	杉野製作所
Kobayasi-Akira	小林晃(三重)	日本ペイント株式會社
Maeda-Kazuo	前田一雄(富山)	日本製鐵株式會社
Maeda-Seiiti	前田城一(德島)	大阪市立工業研究所
Matuo-Haruo	松尾春雄(佐賀)	森永製菓株式會社塚口工場
Mima-Yosihumi	美馬善文(香川)	牧田鍍金合資會社
Minami-Minoru	南實(三重)	日本蛋白化學研究所
Murakami-Kazunobu	村上一信(富山)（石原ト改姓）	大日本人造肥料株式會社富山工場
Nagatani-Kôzô	長谷康造(新潟)	昭和肥料株式會社川崎工場
Okamoto-Usio	岡本丑雄(岐阜)	程ヶ谷曹達株式會社
Ono-Nobukazu	小野信紀(福島)	昭和肥料株式會社鹿瀬工場
Oosawa-Tosikatu	大澤利克(島根)	日本ペイント株式會社
Ooyama-Tosio	大山利雄(新潟)	高田市土橋町23
Satô-Yosirô	佐藤義郎(宮崎)（菅ト改姓）	宮崎縣延岡町新小路
Siodu-Toshei	鹽津敏平(三重)	三重縣尾鷲町中井浦
Sirane-Yurio	白根百合雄(山口)	株式會社鈴木商店川崎工場
Takano-Masuo	高野益夫(埼玉)	山田商店石鹸工場
Takatu-Tomisiti	高津富七(新潟)	三高レザー工場
Takayanagi-Susumu	高柳進(新潟)（平澤ト改姓）	灘駄琅タンク製作場
Takizawa-Seita	瀧澤清太(新潟)	金門商會工場
Wada-Hidemaro	和田秀麻呂(新潟)	丸新製油所
Yosida-Seidi	吉田清治(新潟)	日本電氣工業會社廣田工場

第五回卒業者（35名）昭和六年三月

Abe-Keiiti	阿部惠一(新潟)	名古屋遞信局工務課
Akita-Tôitirô	秋田登一郎(新潟)	吉村商店
Amenomiya-Hisakazu	雨宮久一(新潟)	內閣資源局
Andô-Yosiki	安藤良城(愛知)	京都陶磁器試驗所
Araki-Kazuo	荒木一夫(新潟)	東京市安立區千住東町18
Hudisawa-Otozô	藤澤乙三(富山)	日本特種塗料合資會社
Hudisima-Sindi	藤島信治(大分)	臺中州勸業課
Honma-Seizi	本間誠司(新潟)	新潟縣釀造試驗所
Inoue-Hirosige	井上廣重(新潟)	アトム理化學研究所
Isii-Sitirô	石井思致郎(新潟)	高砂香料株式會社
Itagaki-Seidi	板垣正治(新潟)	日本電氣工業會社廣田工場
Kageyana-Tatue	影山達枝(島根)	新潟縣小千谷町末廣町
Kawase-Yasuo	河瀨康雄(香川)（佐藤ト改姓）	香川縣綾歌郡坂本村
Kumakura-Tadasi	熊倉正(新潟)	東京帽子會社大阪工場
Kurasawa-Tôsirô	倉澤藤四郎(新潟)	長岡市山本町
Makita-Hirosi	槇田浩(愛知)	日本曹達株式會社二本木工場
Matuba-Seiyosi	松葉清義(三重)	昭和肥料株式會社川崎工場
Minagawa-Kô	皆川孝(新潟)	日本ベンベルグ絹糸株式會社延岡工場
Miyosi-Kazuyuki	三好一之(香川)	香川縣善通寺町生野
Nakazawa-Teruaki	中澤照明(長野)	東京市土木局下水課
Nonaka-Mikio	野中三喜夫(北海道)	札幌鐵道局經理課用品試驗所
Odaka-Zyôiti	小高條一(埼玉)	桐生瓦斯株式會社
Oota-Masae	太田政惠(新潟)	日本曹達株式會社二本木工場
Simizu-Seizô	清水清三(新潟)	昭和肥料株式會社川崎工場
Sôma-Eizi	相馬英二(新潟)	新潟電氣工業株式會社
Takano-Keiitirô	高野桂一郎(新潟)	北越製紙株式會社市川工場
Takasu-Matuo	鷹巢松雄(新潟)	理化學興業株式會社柏崎工場
Takinami-Eisuke	瀧波永祐(新潟)	北越製紙株式會社新潟工場
Tatihara-Yosio	立原好雄(茨城)	茨城縣鹿島郡矢田部村
Tatikawa-Saburô	太刀川三郎(新潟)	北越製紙株式會社長岡工場

Tôyama-Akio	遠山秋雄(岡山)	倉敷絹織株式會社
Tutiya-Kadusige	土屋萬成(長野)	東京工業大學應用化學科在學
Usuda-Tôru	臼田達(東京)	同上
Usui-Tomie	臼井富衛(新潟)	日本電氣工業會社廣田工場
Yamazaki-Kyûsi	山崎久四(新潟)	林染工場

第六回卒業者（31名）昭和七年三月

Asobe-Yukio	遊部幸雄(富山)	富山縣礪波郡石動町106
Gotô-Bunya	後藤文彌(靜岡)	東京人造絹糸株式會社
Hagiwara-Yasusaburô	萩原保三郎(奈良)	粟津石鹸製造所
Hasegawa-Harunaga	長谷川治良(東京)	在ブラジル國
Hitani-Kiyosi	永谷清(大阪)	由良精工合資會社
Horiuti-Sigeru	堀内繁(愛知)	日本シリコンセル工業所
Itano-Hiroto	板野公人(岡山)	名古屋税務監督局
Itô-Syunsaku	伊藤俊策(愛媛)	愛媛縣新居郡西條町明屋敷
Kageyama-Kimio	蔭山公雄(福井)	大阪帝國大學工學部在學
Kano-Naohei	加野直平(新潟)	東京工業大學應用化學科在學
Kobayasi-Mataitirô	小林又一郎(新潟)	新潟縣柏崎町廣小路
Koyanagi-Seiti	小柳精一(栃木)	京都瓦斯株式會社
Kurosaki-Tiyokazu	黒崎千代一(新潟)	横濱税關檢査課
Nagata-Yositô	永田良任(鹿兒島)	大阪窯業株式會社
Ogihara-Kôki	荻原甲喜(栃木)	古河電氣工業株式會社
Okamoto-Eisi	岡本英士(廣島)（柳澤ト改姓）	南海紙業株式會社
Oosima-Monya	大島門也(京都)	神戸市電氣局電氣試驗所
Ota-Hideo	太田英夫(和歌山)	大阪造幣局
Osida-Itirô	押田一良(埼玉)	日東製粉株式會社
Sakaguti-Gorô	坂口伍郎(和歌山)	日東硫曹株式會社
Satô-Takehiko	佐藤武彦(新潟)	日本鋼管會社川崎工場
Sawato-Sirô	澤登四朗(山梨)	第一塗料製造所
Sugimoto-Kiyomiti	杉本清道(北海道)	北海道工業試驗所

Takeuti-Kozyûrô	武内小十郎(和歌山)（谷野ト改姓）	南海紙業株式會社
Tanaka-Takeo	田中武夫(廣島)	廣島市己斐町2461
Tomioka-Hirosi	富岡弘(宮城)	六櫻社
Tutida-Seizaburô	土田清三郎(新潟)	東京工業大學染色化學科在學
Warasina-Reisuke	藁科禮介(靜岡)	小林工場
Yamamoto-Asata	山本朝太(和歌山)	三田藥品製煉所
Yasui-Tamao	安井玉男(大阪)	日本製鐵株式會社
Yokoyama-Teruo	横山照雄(大阪)	鐘ヶ濱紡績株式會社

第七回卒業者（25名）昭和八年三月

Ando—Seiiti	安藤盛一(愛知)	慈惠醫院
Hagiwara-Hiroe	萩原大衛(大阪)	ラバテツクス工業研究所
Hano-Norio	羽野規夫(東京)	岩城硝子製造所
Hodaka-Raisaku	帆高雷作(大分)	東京工業大學松井研究室
Itô-Kôzi	伊藤孝次(新潟)	商工省特許局
Katô-Tyôdi	加藤長治(長野)	㊐製油所平澤工場
Komamura-Yazirô	駒村彌次郎(長野)	日本電氣工業株式會社廣田工場
Kozima-Yosinaga	小島芳長(和歌山)	日本染料製造株式會社
Masuzawa-Yûki	増澤勇龜(長野)	昭和アルミナ株式會社
Motizuki-Syôzô	望月祥三(廣島)	松下電器製作所
Murakami-Tuyosi	村上强(長野)	特種塗料合資會社
Murayama-Nobuyuki	村山信行(東京)	本校化學教室
Nakano-Hidezô	中野英三(岐阜)	日本電氣工業株式會社廣田工場
Nisioka-Tetuzi	西岡鐵次(佐賀)	大阪ゴム工業組合
Ogihara-Mituo	荻原光夫(長野)	本校化學教室
Ota-Kôzô	太田甲三(福島)	日本電氣工業株式會社廣田工場
Sigemune-Sin'iti	重宗眞一(山口)	本校化學教室
Taduruhama-Takesi	田鶴濱武(石川)	遞信省電氣試驗所第五部
Takahasi-Sôzirô	高橋惣次郎(新潟)	日本石油株式會社秋田製油所
Takeuti-Kenzi	武内謙二(山口)	内閣資源局調査課
Tanaka-Saburô	田中三郎(福島)	ソーシン石鹸工場

Tomida-Tosiyuki	富田敏行(岐阜)	牧田鍍金合資會社
Yamamoto-Yukihiro	山本行寛(廣島)	陸軍火工廠板橋火藥製造所
Yamauti-Yukio	山内幸雄(大阪)	大日本人造肥料株式會社王子工場
Zyûmi-Syôdi	十見正治(新潟)	本校化學教室

第八回卒業者（34名）昭和九年三月

Hama-Taitirô	濱　多一郎(兵庫)	住友化學工業株式會社
Katagiri-Hirasaburô	片桐弘三郎(新潟)	石崎製油所
Katô-Yasaya	加藤馬左也(大阪)	大阪市港區四條通3-35
Koide-Hirosi	小出弘(群馬)	大日本人造肥料株式會社
Konisi-Kôhei	小西幸平(富山)	東京工業大學窯業科勤務
Kurasima-Ken	倉島健(長野)	大連市兒玉町1
Kuwabara-Eizyun	桑原英順(新潟)	東北帝國大學金屬材料研究所
Matui-Ryôhei	松井量平(新潟)	矢作工業株式會社
Mito-Tiharu	三戸千春(山口)	日本發動機油株式會社
Miura-Gorô	三浦五郎(新潟)	本校化學教室
Miyata-Osamu	宮田修(山口)	海軍航空廠
Miyazaki-Kikuzô	宮崎菊藏(東京)	東京市牛込區拂方町22
Mori-Tyûzô	森忠三(兵庫)	齊藤硫曹製造所
Motiduki-Masana	望月正名(埼玉)	東京電氣株式會社
Nagao-Nobuo	長尾信雄(新潟)	日本曹達株式會社
Nakamura-Hudimasa	中村藤正(新潟)	滿洲石油株式會社
Nisimaki-Makoto	西間木信(福島)	新興人絹株式會社
Okamoto-Nobuya	岡本信也(新潟)	秩父電氣工業株式會社
Oomori-Matuo	大森松夫(長野)	日本夜光塗料製造所
Cosumi-Sinzô	大隅眞三(愛知)	大阪帝國大學工學部在學
Satô-Kiyosi	佐藤清(新潟)	吳海軍工廠砲熕部
Satô-Tatuo	佐藤龍雄(靜岡)	大連市葛浦町34
Simizu-Syôiti	清水正一(三重)	牧田鍍金合資會社
Sirai-Tetuo	白井哲雄(新潟)	丸新製油所平澤工場

Sudô-Tosio	須藤敏男(埼玉)	秩父セメント株式會社
Sugiura-Kiyosi	杉浦清(愛知)	名古屋市第二女子商業學校
Suzuki-Tomoei	鈴木朝榮(新潟)	新潟縣醸造試驗所
Takahasi-Masao	高橋政雄(新潟)	帝國人造絹糸株式會社
Takano-Kunrô	高野勳郎(富山)	東京市芝區金杉町2-30依田方
Tanaka-Syôdi	田中正治(新潟)	海軍火藥廠
Ueno-hirosi	上野博司(栃木)	宇都宮市西原町2898
Utida-Kôhei	内田耕平(長野)	理研ピストンリング株式會社
Yosida-Takeo	吉田武夫(秋田)	神島人造肥料株式會社
Yosida-Zyun'iti	吉田純一(奈良)	倉敷絹織株式會社

3 除籍者氏名 （退學、死亡、其ノ他）

（昭和9.5.1現在）

氏名		入學年及科	除籍年月
Hiramatu-Itirô	平松一郎	13化	13. 12退
Murakami-Nobuo	村上信男	13化	14. 2退
Takinami-Torazô	瀧波虎造	13機	14. 4退
Satô-Yukio	佐藤行雄	13電	14. 4退
Nakamura-Noboru	中村昇	13化	14. 4退
Narumi-Kurô	成見久郎	13電	14. 4退
Kimura-Masayasu	木村正保	13機	14. 6死
Kumata-Sadaaki	熊田貞彰	13化	14. 10退
Wakui-Yosio	涌井義雄	13機	14. 11死
Satô-Syôdirô	佐藤正治郎	14機	15. 2死
Ogawa-tamotu	小川保	14電	15. 3退
Tanaka-Tokuo	田中外久男	13電	15. 3退
Iwasaki-Hirosi	岩崎浩	14機	15. 5退
Yokokawa-Sirô	横川四郎	15化	15. 9退
Siobara-Kazuo	鹽原一夫	13機	15. 11死
Sakurai-Masao	櫻井正男	13電	15. 12退
Nakanisi-Yosio	中西良雄	13電	15. 12退
Kawakami-Humihiko	川上文彦	13機	2. 1死
Satô-Sirô	佐藤四郎	14化	2. 3退
Sibata-Itirô	新發田一郎	15電	2. 3退
Bunazawa-Korenobu	椹澤是暢	14機	2. 4退
Uehara-Kiyozô	上原喜代藏	15機	2. 5退
Hamanaka-Kamezi	濱中龜次	15電	2. 5退
Satô-Tetuzi	佐藤鐵次	15化	2. 6退
Konisi-Eisitirô	小西榮七郎	14電	2. 7死
Tutida-Sigesi	土田繁	14機	2. 10退
Watanabe-Sigetake	渡邊重武	15機	2. 10死
Ikeda-Makoto	池田誠	14電	2. 11死

Cgino-Katunami	荻野勝波	13機	3. 1死
Cowan-Seizin	大灣致仁	2化	3. 3退
Segawa-Hidesato	瀨川英敏	2化	3. 3退
Nagaoka-Bunkiti	長岡文吉	2電	3. 3退
Yonai-Kotarô	米內小太郎	13機	3. 3退
Oyama-Masahiko	尾山正彦	2化	3. 5退
Nagai-Ken'iti	長井健一	14機	3. 5退
Yamamiya-Senrei	山宮梨靈	3電	3. 5退
Tuda-Tadasuke	津田忠助	2機	3. 6退
Hasegawa-Synsuke	長谷川俊亮	2化	3. 9退
Asama-Eisaku	淺間英策	3機	3. 9死
Hokari-Kanzô	穗苅監三	15化	3. 10退
AsaKura-Kiyosi	朝倉潔	13化	3. 10退
Tanaya-Katumi	棚谷勝美	3機	4. 1退
Tamai-Zirô	玉井二郎	3電	4. 2退
Toyosima-Kiiti	豊島毅一	2機	4. 3退
Yosikama-Yosio	吉川吉夫	2電	4. 3退
Sekiguti-Masadi	關口政治	2機	4. 3退
Hirose-Itirô	廣瀨一郎	2機	4. 4退
Ozaki-Tomoo	尾崎友夫	2機	4. 8退
Kozima-Yosinori	兒島義敎	15機	4. 9退
Simakage-Eidi	島影榮治	3化	5. 3退
Kyoda-Zyûsei	許田重清	4化	5. 3退
Naka-Noboru	中登	5化	5. 4退
Watanabe-Keizirô	渡邊惠次郎	4機	5. 5退
Soda-Yosioki	曾田吉興	3電	5. 6死
Inoue-Hideyuki	井上秀幸	4電	5. 9退
Ozaki-Nobuo	尾崎信男	3機	5 10死
Itô-Hisanobu	伊藤久信	5電	5. 12退
Tukada-Kiyosi	塚田清	5電	6. 3退
Ikeno-Masao	池野正夫	5電	6. 3退
Ehara-Minoru	江原實	5機	6. 3退

Azeti-Nobuiti	畦地延一	3化	6. 6	退
Hudii-Masatarô	藤井正太郎	6電	7. 3	退
Takanasi-Susumu	高梨進	4化	7. 3	退
Kadimoto-Eiiti	梶本英一	4機	7. 3	退
Nakazawa-Syônosuke	中澤庄之助	4電	7. 3	退
Terasawa-Minato	寺澤湊	4機	7. 3	退
Mita-Eisaku	見田榮作	5機	7. 5	死
Nodu-Yukie	野津幸衛	5電	7. 6	退
Iwasaki-Tomoaki	岩崎友亮	6化	7. 10	退
Ooisi-Minoru	大石實	6機	7. 10	退
Okuda-Isao	奥田績	5化	8. 2	退
Bessyo-Makoto	別所誠	5機	8. 3	退
Kunieda-Hatirô	國枝八郎	5機	8. 3	退
Hudii-Kozirô	藤井小次郎	5化	8. 3	死
Kido-Akira	城戸晃	5電	8. 3	退
Okada-Masayosi	岡田正義	7電	8. 3	退
Matuki-Tutomu	松木勉	7電	8. 3	退
Iki-Seibun	井城清文	5機	8. 5	退
Nomoto-Sinnosuke	野本信之助	7化	8. 10	退
Tukane-Kazuo	塚根一男	8機	9. 1	退
Motohasi-Kenzô	本橋健三	5機	9. 3	退
Iida-Sirô	飯田士郎	6機	9. 3	退
Hasegawa-Takezi	長谷川武次	6機	9. 3	退
Takahasi-Yosio	高橋義雄	7機	9. 3	退
Simasasi-Yosio	島指嘉夫	8電	9. 3	退
Tanaka-Masahisa	田中雅久	9化	9. 4	退

4. 學級人員一覽表 （昭和9. 5. 1現在）

學年＼科別	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
I	40	40	39	119
II	38	42	37	117
III	35	33	34	102
計	113	115	110	338

（表外） 機械工學科選科生 2名

5. 入學志願者及入學許可者數

年次	科名	入學志願者數	入學許可者數	百分比	入學取消者數	入學決定者數
13年	電氣工學科	134	40	29.9	0	40
	機械工學科	72	37	51.4	4	33
	應用化學科	59	36	61.0	0	36
	計	265	113	42.5	4	109
14年	電氣工學科	115	35	30.4	1	34
	機械工學科	58	35	60.3	4	31
	應用化學科	37	30	81.1	2	28
	計	210	103	47.6	7	93
15年	電氣工學科	153	38	24.8	2	36
	機械工學科	128	39	30.5	5	34
	應用化學科	62	35	56.5	2	33
	計	343	112	32.7	9	103
昭和2年	電氣工學科	256	40	15.6	3	37
	機械工學科	146	38	26.0	2	36
	應用化學科	109	37	33.9	7	30
	計	511	115	22.5	12	103

昭和3年	電氣工學科	219	40	18.3	2	38
	機械工學科	108	39	36.1	0	39
	應用化學科	82	37	45.1	1	36
	計	409	116	23.4	3	113
昭和4年	電氣工學科	337	39	11.6	4	35
	機械工學科	305	39	12.8	3	36
	應用化學科	136	39	28.6	2	37
	計	778	117	15.1	9	103
昭和5年	電氣工學科	156	40	25.6	2	38
	機械工學科	131	37	28.2	1	36
	應用化學科	125	37	29.6	5	32
	計	412	114	27.7	8	106
昭和6年	電氣工學科	215	40	18.6	4	36
	機械工學科	221	42	19.0	5	37
	應用化學科	124	41	33.0	5	36
	計	550	123	22.0	14	109
昭和7年	電氣工學科	185	41	22.2	1	40
	機械工學科	154	40	26.0	3	37
	應用化學科	140	36	25.7	3	33
	計	479	117	24.4	7	110
昭和8年	電氣工學科	166	42	25.3	3	39
	機械工學科	195	43	22.1	3	40
	應用化學科	126	39	31.0	2	37
	計	487	124	25.5	8	116
昭和9年	電氣工學科	193	39	20.2	3	36
	機械工學科	253	41	16.2	3	38
	應用化學科	167	35	21.0	2	33
	計	613	115	18.8	8	107

（表外） 機械工學科選科生入學許可者　2名

中學	同	諏訪中	1	1		2
	同	伊那中		1		1
	同	上田中		1		1
	同	松本第二中			1	1
	同	飯山中			1	1
	岐阜	武義中		1		1
	同	大垣中			1	1
	愛知	成章中	1			1
	同	岡崎中		1		1
	計	（校數）人員			(1)　2	(1)　2
總計		中學校	34	38	30	102
		工業其他	2		3	5
		（校數）人員	(29)　36	(28)　38	(25)　33	(70)107

（表外）　機械工學科選科入學者

出身校	人員
千葉縣　尼崎中	1名
新潟縣　長岡工	1名
計	2名

6. 昭和九年度入學者調

(a) 入學出身校別 ( )內ハ學校數

	府縣別	學校名	電氣科	機械科	化學科	計
縣下中學校		新發田中				1
		新潟中	3	5		8
		村松中	2		1	3
		巻中		1		1
		三條中	1		2	3
		長岡中		5	6	11
		六日町中			1	1
		十日町中	1			1
		柏崎中	1	1		2
		高田中	1	1		2
		糸魚川中			1	1
		計(校數)人員	(7) 10	(5) 13	(5) 11	(11) 34
他府縣中學校	北海道	俱知安中	1			1
	福島	會津中	1			1
	同	喜多方中	1			1
	同	安積中		1		1
	栃木	今市中			1	1
	群馬	富岡中		1		1
	同	前橋中			1	1
	埼玉	粕壁中	1			1
	同	熊谷中		1	1	2
	千葉	成東中	1			1
	同	長狹中	1			1
	同	匝瑳中			1	1
	東京	府立第二中		1		1
	同	府立第三中		2		2
	同	立教中	1		1	2
	同	立正中	1			1
	同	早稻田中		1		1
	同	順天中			1	1
	同	國士館中		1		1
	神奈川	逗子開成中			1	1
	富山	高岡中			1	1
	同	富山中	2		1	3
	石川	金澤第一中			1	1
	長野	長野中	3			3
	同	諏訪中	1	1		2
	同	伊那中		1		1
	同	上田中		1		1
	同	松本第二中			1	1
	同	飯山中			1	1
	岐阜	武義中		1		1
	同	大垣中			1	1
	愛知	成章中	1			1
	同	岡崎中		1		1
	同	豐橋中		1		1
	同	半田中		1		1
	同	小牧中		1		1
	同	熱田中		1		1
	大阪	市岡中	1			1
	同	北野中		1		1
	同	茨木中		1		1
	兵庫	姬路中			1	1
	同	赤穗中	1			1
	奈良	畝傍中	1	1		2
	和歌山	海南中			1	1
	鳥取	鳥取第二中	1			1
	岡山	矢掛中		1		1
	同	津山中			1	1
	同	第二岡山中			1	1
	廣島	府中中	1			1
	山口	山口中	1			1
	愛媛	西條中	1			1
	高知	高知東城中		2		2
	大分	中津中	1		1	2

		糸魚川中					1			1	
		計	(校數)人員	(7)	10	(5)	13	(5)	11	(11)	34
他府縣中學校	北海道	俱知安中		1						1	
	福島	會津中		1						1	
	同	喜多方中		1						1	
	同	安積中				1				1	
	栃木	今市中						1		1	
	群馬	富岡中				1				1	
	同	前橋中						1		1	
	埼玉	粕壁中		1						1	
	同	熊谷中				1		1		2	
	千葉	成東中		1						1	
	同	長狹中		1						1	
	同	匝瑳中						1		1	
	東京	府立第二中				1				1	
	同	府立第三中				2				2	
	同	立教中		1				1		2	
	同	立正中		1						1	
	同	早稻田中				1				1	
	同	順天中						1		1	
	同	國士館中				1				1	
	神奈川	逗子開成中						1		1	
	富山	高岡中						1		1	
	同	富山中		2				1		3	
	石川	金澤第一中						1		1	
	長野	長野中		3						3	
	同	諏訪中		1		1				2	
	同	伊那中				1				1	
	同	上田中				1				1	
	同	松本第二中						1		1	
	同	飯山中						1		1	
	岐阜	武義中				1				1	
	同	大垣中						1		1	
	愛知	成章中		1						1	
	同	岡崎中				1				1	
	同	豐橋中				1				1	
	同	半田中				1				1	
	同	小牧中				1				1	
	同	熱田中				1				1	
	大阪	市岡中		1						1	
	同	北野中				1				1	
	同	茨木中				1				1	
	兵庫	姬路中						1		1	
	同	赤穗中		1						1	
	奈良	畝傍中		1		1				2	
	和歌山	海南中						1		1	
	鳥取	鳥取第二中		1						1	
	岡山	矢掛中				1				1	
	同	津山中						1		1	
	同	第二岡山中						1		1	
	廣島	府中中		1						1	
	山口	山口中		1						1	
	愛媛	西條中		1						1	
	高知	高知城東中				2				2	
	大分	中津中		1				1		2	
	佐賀	佐賀中				1				1	
	宮崎	宮崎中		1						1	
	鹿兒島	出水中				1				1	
	滿洲	大連第二中						1		1	
	計	(校數)人員		(21)	24	(23)	25	(19)	19	(57)	68
縣下工業		長岡工		1						1	
他府縣工業	三重	三重縣工						2		2	
	計	(校數)人員						(1)	2	(1)	2
	總計	中學校		34		38		30		102	
		工業其他		2				3		5	
		(校數)人員		(29)	36	(28)	38	(25)	33	(70)	107

（表外）　機械工學科選科入學者

出身校	人員
千葉縣　尼崎中	1名
新潟縣　長岡工	1名
計	2名

（b）卒業年次別

卒業年次	出身學校	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
昭和5年	中學	1	1		2
	其他				
昭和6年	中學	1			1
	其他				
昭和7年	中學	3	2	6	11
	其他	1			1
昭和8年	中學	14	20	8	42
	其他			1	1
昭和9年	中學	15	15	17	47
	其他	1		1	2
總計		36	38	33	107

（c）入學許可者府縣別

府縣別	電氣科	機械科	化學科	計
宮城			1	1
山形	1			1
福島	3	1	1	5
茨城	1			1
栃木			1	1
群馬		2	1	3
埼玉	1	1	1	3
千葉	2		1	3
東京	1	3	2	6
新潟	12	14	13	39
富山	2		2	4
石川			1	1
長野	4	3	1	8
岐阜		2	1	3
愛知	1	4		5
三重			2	2
大阪	1	2		3

兵庫	1		1	2
奈良		1		1
和歌山			1	1
鳥取	1			1
岡山		1	2	3
廣島	1			1
山口	1			1
愛媛	1			1
高知		2		2
福岡	1			1
佐賀		1		1
大分			1	1
宮崎	1			1
鹿兒島		1		1
計	36	38	33	107

（表外）　機械工學科選科入學者

府縣	人員
千葉	1名
新潟	1名
計	2名

（d）入學者他校受驗調

	電氣科	機械科	應化科	計
他ノ高工ヲ受驗セヌモノ	17	19	17	53
他ノ高工ヲ不合格トナリシモノ	19	19	16	54
他ノ高工ヲ許可セラレシモノ	0	0	0	0
計　實際入學者	36	38	33	107
他校入學ノ爲取消願出ニヨリ取消シタルモノ	2	2	1	5

許可取消者 8−3=5 名ハ他ノ高工入學ノ爲メデナク他ノ都合ニヨル

7. 學生出身校別（昭和 9. 5. 1 現在）

學科	出身校別 / 學年	中學校	工業學校	農業學校	商業學校	船校商學	水產學校	其他	計
電氣工學科	I	38	1					1	40
	II	34	3					1	38
	III	35							35
機械工學科	I	40							40
	II	38	3					1	42
	III	32	1						33
應用化學科	I	35	3					1	39
	II	36	1						37
	III	33	1						34
總計		321	13					4	338

（表外）　機械工學科選科生

出身校	人員
中學校	1名
工業學校	1名
計	2名

8. 學生出身道府縣別　（昭和9.5.1現在）

	電氣工學科				機械工學科				應用化學科				計			
	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計
青森	1	1		2									1	1		2
秋田		1		1			1	1						1	1	2
宮城									1			1	1			1
山形	1	1		2		1	1	2					1	2	1	4
福島	3			3	1	1	1	3	2			2	6	1	1	8
茨城	1	1		2									1	1		2
栃木		1		1					1			1	1	1		2
群馬			1	1	2		1	3		2		2	2	2	2	6
埼玉	1	2		3	1			1	1	1		2	3	3		6
千葉	2	1		3		1		1	1	1		2	3	3		6
東京	1			1	3	4	1	8	2	4	2	8	6	8	3	17
神奈川		1		1		1	1	2						2	1	3
新潟	14	12	20	46	15	16	14	45	14	14	13	41	43	42	47	132
富山	2	1	1	4			1	1	2			2	4	1	2	7
石川			1	1					2		2	4	2		3	5
長野	4			4	3	2	2	7	2	1	5	8	9	3	7	19
岐阜			1	1	2			2	1			1	3		1	4
靜岡		1	1	2			1	1		1		1		2	2	4
愛知	1	1	1	3	4	2		6			1	1	5	3	2	10
三重			2	2		1	1	2	3			3	3	1	3	7
滋賀		1	2	3		1		1		1		1		3	2	5
京都		1		1		1		1		2	2	4		4	2	6
大阪	1	2		3	3	4		7		1	5	6	4	7	5	16
兵庫	1	1		2			4	4	2	2	1	5	3	3	5	11
奈良					1	1	1	3					1	1	1	3
和歌山		1	1	2					1	1		2	1	2	1	4
鳥取	1		1	2						1		1	1	1	1	3
島根						1	2	3		1		1		2	2	4
岡山		3		3	1			1	2	2	1	5	3	5	1	9
廣島	1			1						1		1	1	1		2
山口	2	1		3		1	1	2					2	2	1	5
德島						1		1						1		1
香川		2	2	4										2	2	4
愛媛	1			1		1		1		1		1	1	2		3
高知					2			2					2			2
福岡	1	1		2					1		1	2	2	1	1	4
大分						2		2	1			1	1	2		3
佐賀			1	1	1			1					1		1	2
宮崎	1			1							1	1	1		1	2
鹿兒島					1			1					1			1
臺灣		1		1										1		1
計	40	38	35	113	40	42	33	115	39	37	34	110	119	117	102	338

（表外）　機械工學科選科生

府縣	人員
千葉	1名
新潟	1名
計	2名

9. 學生年齢別 (昭和9.5.1現在)

種別 / 學科	學年	年齢 最高	年齢 最低	年齢 平均	生徒數
電氣工學科	I	22年6月	17年4月	18年4月	40
	II	26－8	18－2	20－0	38
	III	25－10	19－4	20－8	35
機械工學科	I	22－6	17－3	18－7	40
	II	23－7	18－5	20－0	42
	III	22－4	19－3	20－8	33
應用化學科	I	26－7	17－3	18－11	39
	II	23－11	18－3	20－1	37
	III	24－6	19－3	21－1	34

10. 卒業者修業者數 (昭和9.5.1現在)

( )內ハ修業者數

年次 \ 科	電氣工學科	機械工學科	應用化學科	計
昭和2年	34	22	25	81
昭和3年	28	28	33	89
昭和4年	37	28	29	94
昭和5年	33	34	26	93
昭和6年	36	37	35	108
昭和7年	34	33	31	98
昭和8年	(1) 31	27	25	(1) 83
昭和9年	36	36	34	106
計	(1) 269	245	238	(1) 752

11. 卒業者資格

1. 實業學校教員資格

（文部省令公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條第三號參照）

2. 次記學科目ハ師範學校、中學校、女子師範學校、高等女學校、教員無試驗檢定資格アリ

（明治三十六年二月二十八日文部省告示第三十號教員無試驗檢定指定ノ件參照）

電氣工學科	數學（當該學科目成績優等ナル者ニ限ル）
機械工學科	數學（同）
應用化學科	化學（同）

3. 電氣工學科卒業生ハ電氣事業主任技術者資格檢定規則第四條第二項ニ依リ第二種ノ資格ヲ有ス

4. 本校卒業者ニ對シ次記大學ニ於テ所定ノ學校卒業者ヲ入學セシメ其收容豫定人員ヲ超過セス缺員アル場合ハ選拔試驗又ハ學力檢定試驗ヲ行ヒ入學セシム

（a） 東北帝國大學工學部及理學部

（明治四十四年六月文部省學務局通牒參照）

（b） 九州帝國大學工學部

（c） 北海道帝國大學工學部及理學部

5. 外國諸大學

（a） 米國諸大學入學

（大正十五年一月横濱高等工業學校遠藏正直氏通牒希望者ハ便宜内地ニ於テ入學試驗ヲ受クルコトヲ得）

（b） 獨逸國ミユンヘン所在各大學入學

（大正十五年一月二十八日文部省專門學務局長通牒）

6. 高等學校高等科教員檢定受驗資格アリ

7. 高等試驗ノ豫備試驗免除

Ⅸ 關係法令

1. 文部省直轄學校一覽進達方

（明治三十二年五月二十二日文部省訓令號外）

直轄學校

直轄學校一覽ノ儀自今次ノ要目ニ照シテ編纂シ每學年ノ始メ三ケ月以內ニ進達スヘシ

編纂要目

1. 學年曆　學年、學期、授業、試業ノ始終、休業日等ヲ記ス
2. 沿革略　創立以來沿革ノ要略ヲ記ス
3. 法令　學校ノ成立、組織等ニ關スル法令ヲ記ス
4. 諸規則　教則、校則及其他必要ナル規程ヲ記ス
5. 職員　職名、氏名、族籍、教員受持學科、屬員分課等ヲ記ス
6. 學生生徒　（大學ノ外學生ノ二字ヲ除ク）學級及員數等ヲ記ス
7. 卒業生　從來卒業セル者ノ族籍、氏名、卒業ノ年月日並卒業後ノ狀況等ヲ記ス
8. 敷地建物　略圖但シ坪數及所用ノ別等ヲ記ス

以上規則等ニ關スル事項ハ該學年始ノ調査ヲ以テ記シ其他緊要ノ事項ヲ記ス但シ前記項目ノ各項ヲ前後斟酌シテ編纂スルハ妨ケナシ

2. 文部省直轄諸學校官制（抄）

（明治二十六年勅令第八六號）

第一條　文部省直轄諸學校ハ次ノ如シ

東京高等師範學校	廣島高等師範學校
東京女子高等師範學校	奈良女子高等師範學校
盛岡高等農林學校	鹿兒島高等農林學校

東京高等蠶糸學校　上田蠶糸專門學校
鳥取高等農業學校　京都高等蠶糸學校
宇都宮高等農林學校　三重高等農林學校
宮崎高等農林學校　岐阜高等農林學校
長崎高等商業學校　千葉高等園藝學校
小樽高等商業學業　山口高等商業學校
福島高等商業學校　名古屋高等商業學校
彦根高等商業學校　大分高等商業學校
横濱高等商業學校　和歌山高等商業學校
高岡高等商業學校　高松高等商業學校
第二高等學校　第一高等學校
第四高等學校　第三高等學校
第六高等學校　第五高等學校
第八高等學校　第七高等學校造士館
松本高等學校　新潟高等學校
松山高等學校　山口高等學校
山形高等學校　水戸高等學校
弘前高等學校　佐賀高等學校
東京高等學校　松江高等學校
浦和高等學校　大阪高等學校
靜岡高等學校　福岡高等學校
姫路高等學校　高知高等學校
富山藥學專門學校　廣島高等學校
京都高等工藝學校　熊本藥學專門學校
熊本高等工業學校　名古屋高等工業學校
桐生高等工業學校　米澤高等工業學校
廣島高等工業學校　橫濱高等工業學校
仙臺高等工業學校　金澤高等工業學校
東京高等工藝學校　明治專門學校
濱松高等工業學校　神戸高等工業學校

長岡高等工業學校　德島高等工業學校
山梨高等工業學校　福井高等工業學校
東京高等商船學校　秋田鑛山專門學校
東京外國語學校　神戸高等商船學校
東京高等歯科醫學校　大阪外國語學校
東京音樂學校　東京美術學校
東京聾唖學校　東京盲學校

第六條　文部省直轄諸學校ニ次ノ職員ヲ置ク

校長
教授
生徒主事
助教授
生徒主事補
書記

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ助手ヲ置クコトヲ得

第七條　校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條　教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任敎官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス
生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十條ノ二　文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任敎官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス
生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十條ノ三　助手ハ判任トス敎授又ハ助敎授ノ指揮ヲ承ケ授業及

實驗ノ補助ニ從事ス

第十七條　新任敎官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任敎官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ學業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條　文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

3. 文部省直轄學校職員定員令（抄）

（明治三十五年勅令第九十九號）

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員次ノ如シ

	校長	敎授	助敎授	助手	書記
長岡高等工業學校	一人	二十人	八人	一人	六人

4. 文部省直轄諸學校長職務規程

（大正二年六月二十三日文部省訓令）

第一條　校長ハ判任官ノ進退ヲ具狀シ及高等官ノ進退ニ付意見ヲ具ヘテ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得

第二條　校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシム

第三條　次ノ事項ハ校長之ヲ專行スヘシ但シ第六號及第八號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ

1. 敎官ノ學科擔任事務員ノ分課ヲ定ムルコト
2. 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
3. 俸給月額八十五圓以下ノ雇員ノ進退ニ關スルコト
4. 職員以下ノ內國內各地出張ニ關スルコト
5. 職員以下ノ除服出仕請暇ニ關スルコト

6. 講師ノ解囑及其ノ報酬減額ニ關スルコト
7. 經費中ノ目ヲ流用スルコト
8. 三日以內ノ臨時休業ヲナスコト

第四條　前條ニ揭ケタルモノノ外文部大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ施行スヘシ

5. 專門學校令（抄）

（明治三十六年勅令第六十一號）

第一條　高等ノ學術技藝ヲ敎授スル學校ハ專門學校トス專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ敎授スル專門學校ニ就キテハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ニ於テハ豫科研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條　官立專門學校ノ修業年限學科學科目及其ノ程度並ニ豫科研究科及別科ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

6. 實業學校令（抄）

（明治三十二年勅令第二十九號）

第一條　實業學校ハ實業ニ從事スルモノニ必要ナル知識技能ヲ授クルヲ目的トシ兼テ德性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條　實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水產學校其ノ他實業敎育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス獸醫學校ハ農業學校ト看做ス

第二條ノ二　實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

7. 實業學校教員養成規程

（大正四年文部省令第七號）

第一條　東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所、東京商科大學附屬商業教員養成所、東京工業大學附設工業教員養成所及大阪工業大學附設工業教員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徴收セス
前項養成所ノ生徒ニハ一ケ月二十五圓以內ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ
帝國大學官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第二條　前條養成所ノ生徒及前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ次ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス、但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

1. 養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一
2. 養成所ノ生徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間
3. 授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一

第三條　前條ノ義務期間內ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ因リ之ヲ許可スルコトアルヘシ
前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第四條　第二條ノ義務期間內ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ就

職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

第五條　第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者次ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學資又ハ授業料ヲ償還セシム、但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

1. 退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニヨリ退學シタルトキ
2. 實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ
3. 第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若ハ留學シタルトキ

前項授業費ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム

第六條　地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニ其ノ業務期間內ニ轉任退職若ハ休職ヲ命シ又ハ休職期間中復職ヲ命シタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨直チニ文部大臣ニ報告スヘシ
文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニシテ其ノ義務期間內ニ陸海軍現役ニ服シ若ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルカ爲當然休職トナリタルモノアルトキ又ハ休職期間滿了ノ爲退職トナリタルモノアルトキハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ

第七條　各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條　大學及專門學校ノ學生々徒ニテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ一ケ月金二十五圓以內ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ
前項ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受クル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學資ノ補給ヲ止ムルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學資ヲ償還セシム、但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第　九　條　前條ノ規程ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ノ一倍半ニ相當スル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス、但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第三條乃至第六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學資ヲ補給スヘキ學生々徒ニ關シ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前各教員養成所ニ入學シタル者若ハ帝國大學及文部省直轄諸學校ノ學生々徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ニ關シテハ仍從前ノ規程ニ依ル

8. 文部省直轄諸學校外國人特別入學規程

（明治三十四年文部省令第十五號）

第　一　條　外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスルモノハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第　二　條　前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第　三　條　帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限リニアラス

第　四　條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試驗ノ上之ヲ附與スヘシ

第　五　條　本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試驗料入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第　六　條　帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クコトヲ得

9. 臺灣人並朝鮮人ノ特別入學ニ關スル件

（明治四十四年文部省令第十六號）

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

10. 文部省直轄諸學校生徒ノ學校長ノ許可ナクシテ受ケタル他ノ直轄諸學校入學試驗無效ニ關スル件

（明治三十八年文部省令第十八號）

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試驗ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試驗ハ無效トス

11. 文官分限令

（本文省略）文部法令彙纂第七編第一章參照

12. 官吏服務紀律

（本文省略）文部法令彙纂第七編第二章參照

13. 文官懲戒令

（本文省略）文部法令彙纂第七編第三章參照

14. 各官廳執務時間（抄）

（大正十一年閣令第六號）

官廳ノ執務時間ハ休日及休暇日ヲ除キ次ノ通トス

四月一日ヨリ七月二十日迄
午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス
七月二十一日ヨリ八月三十一日迄
午前八時ヨリ午十二時迄
九月一日ヨリ十月三十一日迄
午前八時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス
十一月一日ヨリ三月三十一日迄
午前九時ヨリ午後四時迄但シ土曜日ハ午十二時迄トス

15. 官吏職務外ノ演說及敍述許可並其取締方

(本文省略)文部法令彙纂第七編第二章參照

16. 四大節ニ賀表及言上書奉呈方

(本文省略)文部法令彙纂第七編第二章參照

17. 教員免許令

(本文省略)文部法令彙纂第十七編參照

18. 文部省直轄諸學校修身教育ニ關スル注意

(本文省略)文部法令彙纂第十編參照

19. 文部省直轄諸學校生徒修學旅行ニ關スル手續

(本文省略)文部法令彙纂第十編參照

20. 學生生徒兒童身體檢查規程

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

21. 學校清潔方法

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

22. 學校傳染病豫防規程

(本文省略)文部法令彙纂第十五編參照

23. 學校生徒喫煙禁止

(明治三十三年文部省訓令第五號)

學校生徒ノ喫煙ニ關シテハ小學校ニ在リテハ明治二十七年文部省訓令第六號ヲ以テ生徒ノ喫煙スルコト及煙器ヲ携帶スルコトヲ禁スヘキ旨訓令シ中學校等ニ在リテモ實際喫煙ヲ禁止セルモノ多シ蓋シ學校生徒ノ喫煙ハ衛生上有害ナルノミナラス風紀ニ關スルコト少ナカラス殊ニ此際未成年者喫煙禁止法ノ發布アリタルニ就キテハ小學校、中學校、師範學校、及等位ノ之ニ準スヘキ學校ニ在リテハ取締上其ノ生徒ノ成年以下ナルト以上ナルト學校ノ內外ヲ問ハス喫煙シ又煙草煙器ヲ携帶スルコトヲ禁止スヘシ其ノ他ノ學校ニ在リテモ特ニ注意ヲ加ヘ法律違反ノ者ナカラシムルコトヲ期スヘシ

24. 文部省直轄諸學校學生生徒喫煙取締ニ關スル注意

(明治四十三年七月三十日文部省內訓)

學生生徒ノ喫煙ニ關シテハ明治三十三年文部省訓令第五號ノ訓示ニ基キ各學校ニ於テ適宜取締ノ方法ヲ講シツツアルハ勿論ノ次第ナレトモ尙往々教室內ニ於テ猥リニ喫煙ヲ爲ス者有之其ノ結果或ハ火災ノ原因トナルノ例ナキニ非サルヲ以テ自今火災ノ取締上ヨリモ一層ノ注意ヲ加ヘ成年者ニ對シテモ校舍內ニ於テハ一定ノ場所ニ限リ之ヲ許シ、教室、實驗室、製圖室等ニ在リテハ一切學生生徒ノ喫煙ヲ禁止シ以テ不測ノ禍害ヲ未然ニ豫防スル樣注意セラルヘシ
右內訓ス

25. 學校生徒飲酒取締ニ關スル注意

（明治四十二年 文部省訓令第十二號）

學校生徒ノ飲酒ハ敎育上取締ヲ要スヘキハ言ヲ俟タス從來各學校ニ於テモ常ニ適當ノ方法ヲ講シテ訓戒監督ヲ怠ラサルハ本大臣ノ認ムル所ナリ然レトモ訓育ノ目的ヲ貫徹セント欲セハ學校ト家庭ト常ニ聯絡ヲ保タンコトヲ要ス因テ各學校ニ於テハ自今飲酒ノ取締ニ就キ一層家庭ト聯絡ヲ保ツコトニ注意シ以テ敎育ノ効果ヲ完ウセンコトヲ努ムヘシ

26. 敎育上時弊矯正ニ關スル心得

（明治三十九年 文部省訓令第一號）

學生生徒ノ本分ハ常ニ健全ナル思想ヲ有シ確實ナル目的ヲ持シ刻苦精勤他日ノ大成ヲ期スルニ在ルハ固ヨリ言ヲ俟タス殊ニ戰後ノ國家ハ將來ノ國民ニ期待スル所益々多ク今日ノ學生生徒タル者ハ其ノ責任一層ノ重キヲ加ヘタルヲ以テ各々學業ヲ勵ミ一意專心其ノ目的ヲ完ウスルノ覺悟ナカルヘカラス

然ルニ近來青年子女ノ間ニ往々意氣銷沈シ風紀頽廢セル傾向アルヲ見ルハ本大臣ノ憂慮ニ堪ヘサル所ナリ現ニ修學中ノ者ニシテ或ハ小成ニ安シ奢侈ニ流レ或ハ空想ニ煩悶シテ處世ノ本務ヲ閑却スルモノアリ甚シキハ放縱浮靡ニシテ操行ヲ紊リ恬トシテ恥チサル者ナキニアラス斯ノ如キハ家庭ノ監督其ノ方ヲ誤リ學校ノ規律漸ク弛緩セルノ致ス所ニシテ今ニ於テ嚴ニ戒慎ヲ加フルニアラスンハ禍害ノ及フ所實ニ測リ知ルヘカラス社會一部ノ風潮漸ク輕薄ニ流レムトスルノ兆アルニ際シ青年子女ニ對スル誘惑ハ日ニ益々多キヲ加ヘムトス就中近時發刊ノ文書圖畫ヲ見ルニ或ハ危險ノ言論ヲ揭ケ或ハ厭世ノ思想ヲ說キ或ハ墮劣ノ情態ヲ描キ敎育上有害ニシテ斷シテ取ルヘカラサルモノ勘シトセス故ニ學生生徒ノ閱讀スル圖書ハ其ノ內容ヲ精査シ有益ト認ムルモノハ之ヲ勸奬スルト共ニ苟モ不良ノ結果ヲ生スヘキ處アルモノハ學校ノ內外ヲ問ハス嚴ニ之ヲ禁遏スルノ方法ヲ取ラサルヘカラス

又頃者極端ナル社會主義ヲ鼓吹スルモノ往々各所ニ出沒シ種々ノ手段ニ依リ敎員生徒等ヲ誑惑セムトスル者アリト聞ク若シ夫レ斯ノ如クシテ建國ノ大本ヲ蔑視シ社會ノ秩序ヲ紊亂スルカ如キ危險ノ思想敎育界ニ傳播シ我敎育ノ根底ヲ動カスニ至ルコトアラハ國家將來ノ爲メ最モ寒心スヘキナリ殊ニ敎育ニ當ル者宜シク留意戒心シテ矯激ノ僻見ヲ斥ケ流毒ヲ未然ニ防クノ用意ナカルヘカラス

本大臣ハ國運ニ照シ時勢ニ鑑ミ特ニ茲ニ訓示ス敎育ノ當局者及ヒ學校長敎員等ハ克ク本大臣ノ旨ヲ體シ父兄保護者ト協心戮力シテ風紀ヲ振肅シ元氣ヲ作興スルニ努メ學生生徒ハ自ラ修メ己ニ克チ學業ヲ成就スルニ專ニシテ上下胥ヒ率ヰ以テ敎育ノ効果ヲ完ウセンコトヲ期スヘシ

27. 文部省直轄學校講演會、記念會、運動會等監督方

（明治四十二年一月九日 文部省訓令號外）

直轄學校學生生徒ノ氣風ハ常ニ全國各地ニ於ケル諸學校生徒ノ模範トナリ其ノ言動ハ惹イテ一般ニ影響ヲ及ホスコト勘シトセス故ニ直轄學校學生生徒タルモノハ克ク其ノ本分ヲ守リ規律ヲ重ンシ質素勤勉以テ他ノ生徒ノ爲ニ善良ナル模範ヲ示スヘキハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ然ルニ近來直轄學校ニ於テ催ス所ノ講演會、記念會又ハ運動會等ニ於テ當日ノ興趣ヲ添ヘンカ爲種々ノ工夫ヲ廻ラシ其ノ結果多數ノ時間ヲ空費スルノミナラス動モスレハ學生生徒ニシテ脂粉ヲ施シ假裝ヲ爲シ往々演劇興行ニ近キモノヲ演スルヲ見ル斯ノ如キハ當該學校ノ風紀ヲ弛ウシ浮薄ノ弊風ヲ助長スルノミナラス一般ノ學風ヲ廢頽セシムルノ處ナシトセス故ニ自今右等ノ行爲ナキ樣十分注意ヲ加ヘラルヘク尙講演會等ノ場合ニ於テハ職員協同シテ周密ニ學

生生徒ヲ指導監督シ教育上善良ナル効果ヲ收メンコトヲ期スヘシ
右訓令ス

28. 文部省直轄諸學校學生時弊矯正ニ關スル心得

（大正十年八月二十七日 文部省内訓）

學生生徒ハ言フ迄モナク常ニ堅實ナル思想ト不拔ナル意志トヲ以テ專念學業ニ勵ミ品性ヲ磨キ他日ノ大成ヲ期セネハナラヌ然ルニ近時學生ニシテ或ハ輕躁或ハ弱行爲ニ自己ノ前途ヲ誤ルモノカ尠クナイノハ甚タ遺憾テアル殊ニ結衆妄動シテ校規ヲ紊リ學業ヲ拋チ敢テ意トセヌ風ヲ生セントスルカ如キハ國家將來ノ爲洵ニ寒心ニ堪ヘナイ所テアル

學生タルモノ深ク省慮シ自己ノ本分ヲ守リ教職員タルモノ克ク校規ヲ匡シ善ク學生ヲ導キ兩者心ヲ一ニシテ教育ノ目的ヲ達成センコトヲ望ム
右內訓ス

29. 學校ノ紛擾ニ關係シタル職員及生徒處分方

（明治三十五年 文部省訓令第五號）

近來學校ニ於テ往々紛擾ヲ見ルハ教育上憂慮スヘキ所ナリ地方長官ハ此際一層學校職員ヲ督勵シ苟モ職員ニシテ生徒ヲ使嗾煽動スルカ如キ行爲アル者ニ對シテハ其ノ機ヲ失セス相當措置スヘク又生徒ニシテ其ノ本分ヲ忘レ職員ニ對シテ反抗ヲ試ミ或ハ同盟休校ヲ爲スカ如キ者アラハ嚴重處分セシメ以テ校紀ノ振作ヲ努ムヘシ

30. 陸軍現役將校配屬令

（本文省略）文部法令彙纂第十編參照

31. 兵役法ニ依ル在學徵集延期ニ關スル件

（兵役法第四一條同施行同第一〇一條）
（本文省略）文部法令彙纂第三二編

32. 陸軍補充令ニ依ル幹部候補者ノ資格ニ關スル件

（本文省略）陸軍補充第五十三條
文部法令彙纂第三二編

33. 勤務演習召集演習召集及簡閱點呼ノ免除ニ付餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ニ關スル件

（本文省略）文部法令彙纂第三二編

附　　錄

學校日誌

昭和八年

四月　一　日　吉田順五講師囑託ス

教授伊藤貞治力學及物理學、物理學實驗主任ヲ免セラレ教授松村龍雄同主任ヲ命セラル

四月　三　日　神武天皇祭

四月　四　日　廣島高等工業學校敎授荒井松之助氏見學ニ來校ス

四月　八　日　授業開始、始業式並入學式擧行

國際聯盟脫退ニ關スル詔書奉讀ス

四月十一日　長岡高等女學校長伊藤勉治氏新任挨拶ニ來校

四月十三日　校友會主催新入學生歡迎會ヲ催ス

四月二十四日　大阪帝國大學敎授靑柳榮司氏本校商議員ニ囑託セラル

四月二十六日　靖國神社臨時大祭ニツキ放課後講堂ニ於テ遙拜式ヲ行ヒ後長谷部少佐ヨリ靖國神社ニ關スル講話アリ

四月二十七日　靖國神社臨時大祭ニツキ休業

四月二十八日——五月七日　附設科學工業博物館ニ於テ電氣展覽會ヲ催ス

四月二十九日　天長節拜賀式擧行

五月　一　日　文部大臣官房會計課長河原春作氏視察ノ爲來校ス

高田師範學校長靈田壽雄氏新任挨拶ノ爲來校ス

五月　三　日　陸軍造兵廠長官陸軍中將岸本綾夫氏參觀ノ爲來校ス

五月四日——五日　在學生身体檢査施行

五月十五日　東京女子高等師範學校乙部、黑田兩敎授引卒生徒十八名學校參觀ノ爲來校ス

滿洲產業建設學徒研究團參加募集ノ件通知アリ本校ヨリ生徒三名參加ス

五月二十三日　陸上運動會擧行

雇角田正二依願解雇

東京科學博物館學藝官森金次郎氏參觀ニ來校ス

五月二十四日　臨時休業

六月一日——三日　各科第二、三學年生野外教練實施ス（三島郡飯塚村及脇野町方面ニ於テ）

六月八日——十日　各科第一學年生野外教練實施ス（栃尾町及南蒲原郡今町方面ニ於テ）

六月二十四日　高松高等商業學校長澤田源一氏來校ス

福田校長頸部ニ癰出來切開手術ヲ受ケ市內神谷病院ニ入院ス

七月　一　日　機械學會地方講演會ヲ本校講堂ニ於テ催ス

會長加茂博士、隈部東京帝大助教授、陸軍技術本部總務部長弘岡少將ノ講演アリ

七月　五　日　防火演習ヲ行フ

七月　六　日　仙臺高等工業學校長新保德壽氏來校ス

七月　八　日　物品檢閱委員任命ス

七月　十　日　德島高等工業學校長松本岩太郎氏來校ス

七月十一日　本日ヨリ夏季休業

秋田鑛山專門學校長平岡通也氏來校ス

七月十二日　福田校長市內神谷病院ニ入院加療中ノ處本日退院ス

七月十七日　大阪府學務課長島田牛稚氏來校ス

七月三十一日　熱田兵器製造所長砲兵大佐木造巳之藏氏參觀ノ爲來校ス

八月　八　日　教授岡部欽二文部省ヨリ自然科學研究奬勵費ヲ交付セラル

九月　一　日　夏季休業終ル、授業開始、第一時限講堂ニ於テ槇田教授（校長代理）ヨリ訓話アリ

九月四日——九日　第二、三學年生特別講義開講ス

電氣　電氣機關車　鐵道省技師　橋本新助氏

機械　製紙機械　王子製紙會社參事　村田芳五郎氏

化學　化學機械　東京工業大學教授　內田俊一氏

九月　七　日　神戸高等工業學長校古宇田實氏來校ス

九月　八　日　第二師團長東久邇宮殿下當市御成リニツキ職員學生一同停車場前ニ於テ奉迎ス

九月十六日　教授桐淵勘藏大阪府立今宮職工學校長ニ轉任ノ發令アリ

九月二十三日　秋季皇靈祭

縣下中等學校武道大會ヲ催ス

十月　四　日　米澤高等工業學校長大塲成實氏來校ス

十月　十　日　第十回創立記念式擧行、式後職員學生一同大河津分水見學後寺泊町へ清遊會ヲ催ス

十月十七日　神嘗祭

縣下中等學校籠球大會ヲ催ス

十月二十四日　橫須賀工廠朝永造機大佐卒業生採用銓衡ノ爲來校ス

十月三十日——十一月一日　宮路射擊場ニ於テ實彈射擊ヲ行フ

十一月　三　日　朝香宮允子內親王殿下薨去遊サレシニ付天機並皇后陛下ノ御機嫌ヲ奉伺ス

明治節拜賀式取止メ方文部次官ヨリ通牒アリ

十一月　六　日　午後三時ヨリ講堂ニ於テ大阪帝國大學教授本校商議員靑柳榮司氏ノ講演アリ

十一月　九　日　午後体育デーノ催シヲ行フ

十一月十三日　山梨高等工業學校教授杉山隆二氏見學ニ來校ス

十一月十八日　講堂ニ於テ午後七時ヨリ音樂會ヲ催ス

十一月二十三日　新嘗祭

十一月二十五日　講堂ニ於テ學術講演大會ヲ催ス
十一月二十九日　文部屬青木庄太郎、千代延三男、鹽川秀次郎三氏會計檢査ノ爲來校ス
十一月三十日　雇山宮郁彌依願解雇
十二月　四　月　佐藤義也雇員ニ採用
十二月　七　日　教練査閲實施、査閲官トシテ第二師團司令部附山崎少將、副官宮城中佐來校ス
十二月十三日　雇奥田德次依願解雇
十二月十四日　廣島文理科大學教授岩村寅之助氏見學ニ來校ス
十二月二十二日　秋田鑛山專門學校教授下川履信氏見學ニ來校ス
十二月二十三日　皇太子殿下御降誕遊サレシニ付第二時限職員生徒一同講堂ニ參集祝典ヲ擧ケ且ツ天機並皇后陛下、皇太后陛下ノ御機嫌ヲ奉伺ス
十二月二十五日　大正天皇祭
冬季休業始

昭和九年

一月　八　日　授業開始、第一時限講堂ニ於テ校長ヨリ訓話アリ
一月十三日　第二師團司令部ヨリ二月二日第二師團長東久邇宮稔彦王殿下本校御視察ノ爲御臺臨遊サルヽ旨內報アリ
二月　一　日　入學願書受付開始
二月　二　日　第二師團長東久邇宮稔彦王殿下本校ヘ御臺臨アラセラレ福田校長以下ニ拜謁仰付ケラレ教練及柔劍道御臺覽ノ後校內各科工場、實驗室ニ於ケル生徒ノ作業狀態並博物館ヲ御視察遊サル
二月　二　日　雇荻野福質依願解雇

二月　六　日　岐阜高等農林學校高橋教授見學ニ來校ス
二月　八　日　放課後講堂ニ於テ卒業生豫餞會ヲ催ス
二月　十　日　スキー大會ヲ悠久山ニ於テ催ス
二月十一日　紀元節拜賀式擧行
二月十七日　海軍造兵中佐樺山喜造氏外一名卒業生採用銓衡ノ爲來校ス
二月二十二日　關口政治雇員ニ採用
二月二十三日　海軍技術研究所技師石川半七氏見學ニ來校ス
三月　五　日　配屬將校陸軍步兵少佐長谷部理徹氏步兵第十六聯隊大隊長ニ轉シ後任トシテ步兵第十六聯隊付陸軍步兵少佐渡邊正敏氏來校ス
海軍主計少佐山田壽吉氏見學ニ來校ス
三月十五日　第八回卒業證書授與式擧行
各科第二學年見學旅行ニ出發ス
三月十六日　海軍工機學校長小野中將見學ニ來校ス
三月二十四日——二十六日　本校及東京、大阪ニ於テ入學試驗ヲ施行ス
三月三十一日　入學許可者發表ス
機械工學科岡垣內馨ニ卒業證書ヲ授與ス

設備ノ大要

吾ガ長岡高等工業學校ハ心身共ニ健全デ高等ナル工業的技術ニ通ズル社會須要ノ人材ヲ養成スルヲ以テ目的トシテ居ルガ特ニ玆ニ云フベキハ最モ底力ノアル者ヲ社會ニ送リ出シタイト努力シテ居ルコトデアル。

在學三年間コマコマシタ種々雜多ナコトヲ詰込マレタ卒業生ガ社會ニ出タトキニハ一見如何ニモ博識多才デ役立ツ樣ニ思ハレル然シ社會デ工業學校ノ卒業生ニ求ムルコトハ實ニ數多ク、單ニ機械ノ種類ノミニツイテコレヲ見ルモ千差萬別デ一々コレニ對スル知識ヲ在學僅カ三ケ年ノ短日月デ充分ニ詰込ムコトハ到底不可能ノコトデアル即チ如何ニ學校デ詰込ンダトテ其ノ量ハ知レタモノデアル。故ニ詰込主義デ行クト卒業シタテニ一寸間ニ合フ樣ニ見エルガヤガテ行キ詰リヲ生ジテ來ル、本校デハ行キ詰リヲ生ジナイデ常ニ新ナ進路ヲ自ラ開拓シテ行キ得ル底力ノアル人材ノ養成ニ努メテ居ル。

底力アル者ト云フノハ基礎ノ學問ヲ確實ニタヽキ込ンダ者デアル其等ハ卒業ノ當座ハ或ハ一寸間ニ合ヒ兼ネルカモ知レナイ、然シナガラ力强ク奥底深クタヽキ込ンダ學問ノ力ハ年ト共ニ段々ト其ノ光ヲ放チ止ルコトナク進ミ續ケテ行キ詰リヲ生ズルコトノナイモノデアル。

今日ノ工業ハ實ニ理學ノ應用デアル、理學ハ工業ノ基礎デアル。基礎タル理學ヲ確實ニ修得セズシテ底力アル工業家タルコトハ出來ナイ。其處デ我校デハ此ノ基礎タル理學教育ニ大ニ意ヲ用ヒ數學、物理學等ニ多クノ時間ヲ用ヒルノミナラズ其ノ實驗設備ハモトヨリ各種專門的實驗實習設備ニ關シテモ常ニ此ノ方針ヲ以テ一貫スルニ努メテヲルノデアル。

尙ホ基礎學ト云フコトハ普通在學中ノ工業學科ノ豫備ト考ヘラレル向モアッタガ此ノ如キモノデハ到底眞ニ底力アル基礎學トハナラナイ故ニ本校デハ在學三年中ニ習フ工業學科ノ補助ト云フ意味デナ

ク遠キ將來ヲ目標トシ、卒業後工業家トシテノ一生ヲ通ジテノ基礎デアル學科ト云フ意味ヲ持タシテ學科課程ヲ定メテヲル。

又眞ニ底力アル者ハ單ニ智育ノミデハ得ラレナイ、本校ニ於テハ修身ヲ重要學科目ト見ナシ以テ德育ニ努メ體育ニ於テモ筋肉隆々タル選手形ノ養成ニトラハレズ高等ナル工業教育ヲ受ケテソノ能力ヲ遺憾ナク發揮シ得ル圓滿ニ發育シタル健康ナル身體ノ持主タルベク各種ノ設備ヲナシ指導シ以テ智德體共ニ圓滿ニ發達シタル人格ノ完成ニ努力シテ居ルノデアル。

理科教室

理科教室ニハ數學、物理學ノ兩科ガアリ一〇四名ヲ收容スベキ階段教室、準備室、器械室、生徒實驗室及寫眞室、蓄電池室、工作室等ヲ有スル外更ニ階上ニハ教官室ノ外ニ暗室二ケ所研究室並ニ標本室等ヲモ設ケテアル。

工作室　昭和八年度ニ增築セラレ、コンクリート建二十坪ニシテ物理器械ノ修理又ハ簡單ナ實驗裝置等ノ製作ニ必要ナ木工、鐵工金工諸設備ヲ有シ、尙精密實驗室ニ設ケテアル。

準備室　講義實驗等ノ準備ヲスルニ必要ナ器具器械類例ヘバ實物幻燈、顯微鏡映寫裝置、活動寫眞映寫器、等ノ如キモノヲ備ヘテアル。

器械室　一般的理科ニ關係アル器械類ヲ整頓シテアル其內主要ナモノヲ記セバ次ノ通リデアル。粘度計（數種）、空氣ポンプ類(廻轉式、分子式、水銀用、デイフユージョン等)、自記計器(各種）サーモカツプル、オプテイカルパイロメーター、電氣的精密測定裝置インダクションコイル（30cm放電）電動發電機並ニ配電盤其他デアル。

實驗室　電氣時計ノ親時計ヲ取付ケ生徒ノ實驗ニ要スル器具類ヲ悉ク備ヘテアル。天秤モ精密ノモノ六個ヲ一側ノ基礎臺上ニ列ベ實驗ニ供シテ居ル。**光學器械**　ハ主トシテ階上ノ暗室デ用フル積リ

デ干渉計、スペクトログラフ、スペクトロメーター光度計等ハ皆此ノ室ニ置イテアル。

他ノ暗室　フオトエラステイシテイー試驗裝置ヲ備ヘ又X線ヲ用フル實驗及ビテスラ電流ニ關スル實驗裝置ヲ備ヘテ居ル。

標本室　種々型式ノ計算器、數學敎授用ノ模型類、精密ナ目盛器械及小規模ノラヂオ送受信裝置、クロノメーター等ヲ備ヘテアル時報ハ此室ニテ受ケ以テ本校電氣時計ノ正確ヲ期シテ居ル。

尙校庭ノ芝生ニハ積雪計、雪量計、地中寒暖計、百葉箱等ヲ設ケ更ニ博物館上ニ風力計、風信器ヲ備ヘテ記錄シテ居ル。

更ニヂヤイロコンパスノ模型及四吋半ノ天體望遠鏡アリ今後更ニ益々內容ノ充實ヲ計ルツモリデアル。

電　氣　敎　室

本校ノ一般敎育方針ガ基礎ニ重キヲ置イテヰル故、電氣敎室ノ實驗設備モ亦其方針ニ依ツテヲル、併シ出來得ル限リハ現代ノ實際ニモ觸レ得ル樣ニ施設シテアル。

標本室　此ノ室ニハ電燈、照明器具、電熱器、電話機、架線材料、電線、碍子其他種々ノ標本ガ陳列シテアル。

弱電流研究室　弱電流ノ研究ニ必要ナ抵抗、誘導係數電氣容量等ノ標準器類ヲ初メ精密反照電流計、電位差計、恒溫槽等ガ設備シテアル。

弱電流實驗室　學生ガ實驗スル室デ二室ニ分カレテヲル。

材料室　各般ノ材料ガ置イテアル。

器具室　强電流ノ實驗ニ使用スル學生用ノ計器ガ多數整備シテアル。

蓄電池室　湯淺蓄電池會社製ノ二九〇アムペア時ノ蓄電池ガ六十個据置カレテアル。

强電流實驗室　此室ニハ萬能非同期機其他各製造會社ノ種々ノ

型式ノ發電機、電動機等ガ多數配列シテアル。是等ノ原動力トシテハ屋外ノ變電所ニ四五K.V.Aノ變壓器ガ四臺(內一臺ハ豫備デアル)七五 K.V.A ノ變壓器ガ三臺据付ケラレテアル。直流ノ電源トシテハ實驗室ニ二五キロワツトノ電動發電機ガ据付ケテアル。

工作室　各種ノ修理及多少ノ製作ニ資スルタメ、ノツチングプレス、サークルシーア、スクエアシーア、レース等ガ備ヘテアル。

高壓實驗室　シーメンス社製二十萬ヴオルト、二十K.V.A試驗用變壓器十五萬ヴオルトケノトロン裝置五萬ヴオルト油試驗器ガ裝置シテアル。

試驗室　波形ノ研究、鐵ノ試驗、計器ノ檢查等ノタメ橫河製作所製研究用オツシログラフ、チンスレー社陰極線オツシログラフ、エプスタイン裝置、移相變壓器、ヴキーダー社液體回轉計等ガ置イテアル。

高周波實驗室　日本無線五ワツト無線電話送話機、同受話機、各種ノ短波長及超短波長送信機及受信機、波長計等ガ設備シテアル。

光度計室　日本光學工業會社製ルンマー、ブロドハン對照型光度計、球形光度計、マクベス照度計、ウエーバー光度計、フリツカー光度計ガ備ヘテアル。

機　械　敎　室

機械敎室ハ本校一般敎育方針ニ從ヒ機械工學ノ根底ヲ作ルヲ以テ主眼トシテ居ルノデ徒ニ多種多樣ノ機械ヲ羅列スル事ヲ避ケ機械工學ノ基礎トナルベキ問題ニ就イテ徹底的ノ研究ニ重キヲ置クト同時ニ基礎的研究ニ趣味ヲ持ツ樣指導スル事ヲ重要視シテ居ル、其ノ設備概要ハ次ノ通リデアル。

工務室　工場管理實習ノ道場デ敎室內工場ノ工務事務ヲ執ツテヲル、各種計算器及諸表ガ備ヘテアル。

木工場　鑄物ノ木型製作及ビ其ノ檢查ノ實習ヲ行フ室デ併セテ

木工一般ノ實習モスル。丸鋸機械、帶鋸機械、機械鉋、木工旋盤木工ミシン等ガアル。

鑄物工場　各種鑄型ノ製作並ニ鑄造ノ實驗實習ヲ行フ室デ熔銑爐坩堝、爐電氣、爐乾燥室等ガアル。

鍛工場　鍛冶、熔接、切斷、板金作業ニ關スル實驗實習ヲ行フ室デ火爐、重油爐、電氣熔接機、瓦斯熔接及切斷機、空氣槌等ガアル。

機械工場　機械製作法ノ實驗實習及工作機械ノ檢査ヲ行フ室デ鋸機械、中心穿孔機、各種旋盤、型削盤、平削盤、竪削盤、ミリング機ボール盤、中ボール盤、ホブ歯切盤、傘歯車生製機、中削グラインダー、各種工具、グラインダー、各種精密測定器具類等ガアル。

手仕上組立工場　鑄造品ヤ鍛造品ヲ罫書キシ手仕上シ又ハ組立等ヲスル室デ工作臺及各種ノ手工具一式ヲ備ヘテヲル。

製品檢査室　鑄造品、鍛造品、部分製品及完成品等ノ檢査ヲスル室デ各種ノ標準器並精密測定器ヲ備ヘテヲル。

材料實驗室　金屬材料ノ研究ニ必要ナル各種ノ實驗即チ材料ノ強サ硬サ等ノ機械的試驗ヲ始メトシテ金屬及合金ノ內部組織ヲ知ルタメノ顯微鏡試驗鋼其他ノ材料ノ燒入燒戻シ等ノ如キ處理法ノ研究及化學的成分ノ定量分析等ノ實驗ヲモ此室デ行フ事ニシテ居ル從ツテ此室ニハ

(1)　モール式30噸萬能材料試驗機、井口式捩リ試驗機、シヤルピー式衝撃試驗機、松村式繰返打撃試驗機、小野式疲勞試驗機、及ブリネル、シヨアー、マルテンス引掻式、ハーバート式振子型、本多佐藤式等ノ各種硬度試驗機等ノ如キ各種材料試驗機ヲ始メトシテ

(2)　本多式全熱膨脹計、同磁氣分析裝置、佐藤式燒入試驗機、本多式磨滅試驗機、大小各種電氣爐、ライツ金屬顯微鏡等熱處理並ニ一般物理冶金學的測定裝置及ビ

(3)　各種化學的成分定量分析裝置等ガアル。

水力實驗室　水ニ關スル種々ノ實驗並ニ水力原動機、揚水機等

ノ實驗ヲスル室デ實驗裝置トシテハ開渠ヲ始メポンプ、水力タービン等ガアル。

動力實驗室　水車ヲ除イタ原動機ノ實驗ヲ行フ室デ蒸汽機關、蒸汽タービン、瓦斯機關、石油機關、自動車機關、飛行機々關、ディーゼル重油機關ト云フ樣ナモノガアルガ自動車ガ別ニ自動車庫ニ入レテアル。

汽罐室　動力室デ行フ蒸汽實驗ノタメニ蒸汽ヲツクル汽罐ガアルガ同時ニ本校全體ノ煖房用蒸汽發生ヲモ兼ネテヲル。丸罐ト水管式トノ二臺ガアル。

化　學　敎　室

本邦化學工業界ハ今ヤ深遠ノ學理ノ應用ニマツ高級化學工業發達ノ氣運ニ向ツテヰル此狀勢ニ鑑ミ化學教室ニ於テモ本校教育ノ根本方針ニ基キ專ラ基礎的知識ノ涵養ニ留意シテヲル從テ或特種製品ノ製造ヲ行フガ如キ工場ノ設備ヲ省キ基礎的ノ實驗及研究設備ニ全力ヲ注イデヰル。

標本類及模型　ハ有機物及無機物標本六百餘點外ニ原素標本其他八百餘點右ノ外開校記念トシテ全國約三百ノ著明ナ化學工場カラ寄贈ヲ受ケタ原料、半製品、製品、模型、圖表類ソノ他有益ナ參考品ガ約二千點アツテ敎授上大イニ裨益シテヰル。

實驗室設備　トシテハ各實驗臺ニ直流交流電氣ノ配線ヲシテ實驗ニ便シ乾燥器ノ如キモ温度ノ調節自由ナル電熱式「セルコオーブン」七個ヲ有シ定性定量分析、工業分析等一般的設備ニ就テハ普通ノ實驗實習ヲ修得サセルニ十分デアル。

白金器具　ハ坩堝、皿、電極等價額約一萬圓ヲ投ジ精密天秤類ハ獨逸「サートリユリス」社製三十一臺ヲ備ヘテアル。

物理化學　ノ實驗ニハ特ニ意ヲ用ヒ恒温槽多數ヲ始メトシ傳導度測定裝置、分子量測定裝置等ハ勿論其他各種研究ニ必要ナル適當

ノ設備ヲト、ノヘテアル。

化學的ノ基礎訓練　ヲスルニ適切ナ各種ノ有機物其他ノ合成及試驗ニ關スル設備トシテハ耐壓釜、屈折計、顯微鏡、各種ノ爐、過熱蒸氣發生裝置、眞空乾燥機、減壓蒸留裝置、特種硝子器具裝置等十分意ヲ用ヒテ設備シテアル。

石油工業　ニ就テハ當地方ガ本邦ニ於ケル有名ナ石油工業ノ中心地タル關係上特ニ意ヲ用ヒ最新式ノ屈折計、各種ノ粘度計、引火點試驗器、蒸溜試驗器、各種ノ「カロリメーター」其他此方面ノ實驗研究ニ關スル各種設備ニ留意シテヰル。

電氣化學方面　ニツイテハ本邦ニ於テ最大水量ヲ有スル信濃川水力ノ開發ト共ニ將來電氣化學工業ノ勃興スヘキヲ思ヒ、コレニ關スル設備ニモ留意シテヲル例ヘハ蓄電池ノ設備ニ約五千圓ヲ投シ又特ニ電爐用ノ低壓變壓機ヲ備ヘ各種電氣爐十基ヲ設備シタルナド其他電解及「エレクトロオスモース」ニ關スル實驗研究等ニモ畧遺漏ナキヲ期シテヰル、特ニ最新式設備トシテ注目サレテ居ル「エレクトロオスモース」ニヨル淨水裝置ハ本邦ニ於ケル最初ノ輸入品デアツテソノ成績ニツキテハ各地カラ多數照會ヲ受ケテヰルノデアル。本裝置ハ任意ノ純度ノ水ヲ簡單ニ得ラレ且各種ノ化學實驗ニ差支ナキ純度デ普通ノ蒸溜水ニ比シ遜色ナキ水モ安價ニ且短時間ニ多量ヲ得ラル、コトハ到底在來ノ蒸溜式方法ノ遠ク及ハヌトコロデアル。

其他　目下化學工業界ニ於テ多大ノ興味ヲ以テ期待サレテ居ル人造絹糸ニツキテモ其實驗設備等ニ留意シテヰル。

體育並教練教室

體育ニ於テハ運動競技ノ普及並ニ不斷ノ實行ニ努メ身體ノ健全ソノモノカ幸福ナルコトヲ自覺セシメテ更ニ健康ヲ增進シ精神力ヲ鍛錬シ將來ノ能率增進ニ備ヘシムル爲メニ間口九間奥行十三間、梁下二十尺ノ屋內體操場ニハ矯正並ニ發育體操ノ器具器械即チ肋木、平均臺、鐵棒、吊棒、吊索、吊環、移動吊環、バツク、跳箱、スプリ

ングボールド、バスケツトボールド、ヴアレーネツト等ヲ備ヘ五千坪ヲ有スル屋外運動場ニハ「ア式ノツトボール」「バスケツトボール」「陸上競技」ヲ課シ得ル設備ヲナシ水力實驗並ニ防火用貯水池ヲ水泳練習ニ利用セシメ二〇〇臺ノ「スキー」ヲ有シテ冬期ノ運動ニ便ニシ學生ノ自發的運動ヲ喚起スル樣之ヲ指導シ尙校友會ニハ柔道、劍道、弓道、陸上競技、角力、野球、籠球、庭球、卓球、蹴球スキー、水泳部ノ設アリテ課外運動ヲ奬勵シテヲル。

教練ニ於テハ學校教練ノ目的遂行ノ爲メ五千坪ノ運動場ト一一七坪ノ屋內體操場ヲ使用シ尙ホ狹窄射擊場ヲ校內ニ設クルノ外郊外約一里ノ宮路ニ市內中等學校及軍人分會、青年會ト協同製作ニ依ル實彈射擊場ヲ有シ三八式歩兵銃、劍、二七〇挺ヲハジメ、指揮刀、背嚢、飯盒、携帶天幕、水筒等必要ナ機械器具ヲ整備シテヲル。

科學工業博物館

長岡市ノ寄附ニカヽル、鐵筋コンクリート建、一部二階建トナシ建坪八八坪餘工費三萬五千圓、大正十五年十一月竣工シタ。

蓋本博物館ノ目的トスル所ノ本校學生、長岡市及附近ノ人々ニ對シ科學知識ノ普及ヲ計リ且科學ガ如何ニ工業ニ應用セラルヽカノ實際ヲ理解セシムルニアル。

本館ハ本校ノ東北隅悠久山行キノ道路ニ面シ四個ノ陳列窓ヲ備ヘ道行ク人ガ一見シテ知ラズ知ラズノ間ニ工業ノ何物タルカヲ了解出來ル樣ニ計畫シタガ地震等ニ依リ大窓硝子ノ破損セシタメ模樣換ヲ爲シ現在ニ於テハ外部ヨリ見得ル陳列ハ之ヲ中止シテ居ル。陳列場ハ階下ニ五十坪、其入口ニ本校ノ製作ニ係ル自動人員標示器ヲ設置シ每日ノ觀覽者數ヲ知ルニ便シ尙電燈電力、瓦斯、水道ノ設備ガアリ理化學、電氣工學、機械工學及應用化學ノ各方面ニ亘リ參考品ヲ陳列シ又各種ノ實驗ヲ爲スコトガ出來ル、特ニ化學實驗ノ爲メニハ「ドラフトチエンバー」ヲ備ヘ又機械据付ヲ便ナラシムル爲メニハ床ニ「レール」ヲ沈設シ尙水ヲ使用スル實驗ノ便ヲ計リ一四〇立方

尺ノ堀ヲ設ケテアル。階上ニハ二室ヲ設ケ應接室及講演室ニ當テ小講演會及研究會ヲ開クニ便シ、屋上ハ平坦デ望遠鏡ヲ設備シ天體其他ノ觀測ガ出來ル樣ニナッテ居ル。

館內ノ陳列ハ理科、電氣工學科、機械工學科及應用化學科ノ職員ガ交代デ委員トナツテ其任ニ當ルノデ夫々ノ專門ニツキ科學ガ工業ニ應用サレル實際ヲ示スニ努メテ居ル。陳列品ノ一部ハ博物館專用ノモノモアルガ多クハ各科ニアル設備ヲナルタケ公衆ニ觀覽セシムル主旨ノ下ニ出來ルタケ其備品ヲ交替ニ陳列スル樣ニシテ居ル。

本館ハ整理、準備ニ要スル時日ノ外無休館トシテ開館スルノヲ本則トシテ居ル。又春期ノ好時期ニ於テ理科、電氣、機械及應用化學等ニ關スル展覽會又ハ之等ノ綜合展覽會ヲ催シ特別ノ陳列品ヲ蒐集シテ公衆ノ觀覽ニ供シ且每年六月十日ノ「時ノ記念日」ニハ長岡市ト共同シテ時ニ關スル宣傳事業ヲナシテ居ル。

其ノ他ノ設備

以上ノ外石版、寫眞版、活版等ヲ有スル印刷所ト工費一萬三千四百七十圓ノ鐵筋コンクリート二階建四八坪、收藏能力一萬八千冊ノ書庫ヲ有スル圖書館ガアル。

主ナル機械器具類

理科敎室

	円
マイケルソン氏インターフエロメーター	1,380
X線裝置	2,000
波長計（MN氏 437型）	450
天體望遠鏡（4吋半）	1,050
ケーデ氏分子式ポンプ	600
電氣時計裝置（親時計1個 子時計60個付）	3,257
バールゾーオブチカルベンチ及ビ附屬品	2,039
インダクシヨンコイル（30CM）	630
カセトメーター	494
アクメ活動寫眞映寫機（S.V.E型）	875
ローヤル活動寫眞映寫機	422
晝間映寫幕	305
クロノメーター	950
アツベ氏屈折計	558
マーキユリーポンプ	494
ロータリポンプ	519
ハイランド式空氣液化裝置	1,118
クロノグラフ	410
タイガー計算器	400
バーロース計算器	537
サンドストランド計算器（720—51型）	820
限外顯微鏡裝置	917
クオルツスペクトログラフ	1,655
分光計	1,845
波長分光計	780
オブチカルパイロメーター	637
光度計ベンチ 二臺	1,165

	円
萬能幻燈機械	445
萬能映寫裝置	1,520
電位差計	748
長岡式電磁石	1,856
3K.W電動發電機	695
自働精密線目盛機械	2,640
寫眞機	621
臭化ラヂウム (10.47瓦)	1,015
ジヤイロ、コンパス模型	740
スタンダードスケール	780
コンパレター	994
噪音計	280
分光器	410
萬能ヘリオスタツト	550
自記撮影裝置	398
X線スペクトロメーター	920
自記太陽計	510
ドライアイス製造機	495
ユンケル氏熱量計	670
金屬X線管球	583
ウルトロパーク	225
木工旋盤	400

電氣教室

ウエストン標準直流ミリヴオルト計 (分流器三箇附屬)	763
ウエストン標準交直流電壓計	838
ウエストン標準交直流電流計	838
サンガモ標準テストメーター	360
シーメンス直流自記電壓計	459

	円
エスターライン交流自記電壓計	623
ヴキーダー液體回轉計	823
シーメンス、ユニヴアーサル、ガルヴアノメーター	619
ケンブリツヂ、サーモガルヴアノメーター	717
ヴアイブレーシヨン、ガルヴアノメーター	300
シーメンス、バリスチツク、ガルヴアノメーター	360
シーメンス、ミラーガルヴアノメーター	275
ハルトマン、デイフエレンシアル、ガルヴアノメーター	437
カールツアイス、シユライフエン、ガルヴアノメーター	655
理研、反照ガルバノメーター及同上除振架臺	265
シーメンス、デケード、ブリツヂ	630
ケンブリツヂ、ケルビン、ダブルブリツヂ	729
ケンブリツヂ、コールラウシ、ブリツヂ	832
リーヅ、ノースラツプ、キヤパシチー、ブリツヂ	218
シーメーメンス、インダクタンス、ブリツヂ	342
ブルツクス型相互誘導器	250
シーメース、フオールトロケーチング、ブリツヂ	450
シーメンス、ラツプ氏ポテンシオメーター	835
リーヅ、ノースラツプ、ポテンシオメーター	700
リーヅ、ノースラツプ、T型テスチングセツト	342
セコメーター	320
グラソツト、フラツクスメーター (サーチコイル五箇付)	609
ルムマーブロドハン光度計一式	1,500
ウエバー光度計	896
フリツカー光度計	210
球形光度計	405
マクベス、イルミノメーター	567
ペンテーン燈	557
水銀燈	455
電光ニユース	100

	圓
据置蓄電池290アンペアーアワー六十箇	2,692
直流發電機　六臺	1,446
直流電動機　六臺	1,101
交流發電機　一臺	278
萬能非同期機	1,234
誘導電動機　八臺	1,201
正弦波交流發電機　一臺	2,350
電動發電機　十一臺	11,628
同期誘導電動機　一臺	430
三相交流整流子電動機　二臺	1,593
單相直捲電動機	540
單相反發電動機	475
豆電動機　五臺	422
電氣動力計　四臺	4,200
渦流制動機	850
屋外受電變壓器45KVA　四臺	1,724
同　　75KVA　三臺	1,611
單相變壓器　九臺	558
誘導調整器　二臺	1,000
三相移相變壓器	445
水銀整流器　（三相、二キロワット）	385
廻轉變流機	2,010
15,000ヴオルト可搬式試驗變壓器	350
シーメンス、200,000ヴオルト試驗變壓器	10,880
芝浦　　50,000ヴオルト試驗變壓器	1,370
100,000ヴオルト火花間隙計	260
150,000ヴオルトケノトロン裝置	457
直流高壓發電機500ヴオルト15ミリアンペア	1980
眞空ポンプ　二種	610
無線受信機及送信機	2,773

	圓
旋　　盤　二臺	1,770
圓形切斷機	720
方形切斷機	690
グラインダー	365
ドリル　三臺	590
ノツチング、プレス	968
五十回線用自動電話交換機及電鈴機	5,880
配電盤　四組	6,960
學生用オツシログラフ	1,000
教授用オツシログラフ	78,125
研究用オツシログラフ	2,940
カソードレイオツシログラフ	1,690
エムブソン、オイルピユーリフアイヤ	396
オイル、フイルター、プレス	570
ダイエレクトリツクメーター	585
スリツプ、ストロボ、スコープ	862
エプスタイン鐵試驗裝置	440
バロー氏鐵試驗裝置	270
繼電器試驗裝置	348
ヂスタンスリレー	410
光繼電器及同上用光源裝置	305
G.Eシンクロナス、タイマー	348
眞空管發振器	836
眞空管電壓計	205
水晶發振器	165
ヘテロダイン波長計	800
短波長計	300
超短波計	337
ラヂオ試驗器	217
低周波變壓器試驗器	360

	圓
高聲裝置	193
ローラーRCA型高聲器 二個	225

機械教室

木工場

丸鋸機械	380
同上 目立機械	270
帶鋸機械	435
同上 目立機械	300
木工旋盤 四臺	1,140
木工小口切盤	250
角鑿機械	350
自動送鉋機	580
糸鋸機械	170

鑄物工場

16吋熔銑爐	1,200
炭素粒抵抗電氣爐	850

鍛工場

火爐 六個	1,182
高壓式送風機	467
中壓式送風機	978
十分ノ一噸空氣槌	4,380
重油加熱爐	680
電氣熔接切斷裝置	2,610
酸素アセチレン熔接裁斷裝置	253
點熔接機	445

機械工場

各種旋盤 二臺	13,340
齒車製作裝置 (傘型6吋)	720

	圓
氣筒研磨機	2,900
複式工具研磨機	660
ホブ齒切盤	3,180
ZM型萬能フライス盤(ミリングマシン)	5,580
萬能研磨機	2,200
K.R.V萬能電動研磨機	355
16吋形削リ盤 (シエーパー)	1,500
VM型萬能工作機械	4,783
ラビツド15KH型傘齒車生製機	5,225
Q.R.S電動摩擦錐	330
6呎平削リ盤 (プレーナー)	1,250
21″中ぐり盤	2,000
20吋ボール盤	275
センターリングマシン心立て機械	325
12″竪削リ盤 (スロツチングマシン)	850
高速度金切鋸機械	280
半噸ラヂアルクレーン	460
軸線測定裝置	1,140

材料實驗室

モール材料試驗 (スケール型3000KG)檢定裝置附	12,430
井口式金屬捻力試驗機 (5000C.M.K.G)	2,900
松村式繰返打擊試驗器	1,500
シヤルピー式打擊試驗機	1,390
小野式繰返シ彎曲試驗機	2,370
試驗棒目盛機械	546
ブリネル式硬度計	1,600
ショア式硬度計	851
本多佐藤氏高温衝擊硬度計	445